

50BDL3050Q
V1.00



www.philips.com/welcome
ユーザーマニュアル(日本語)

PHILIPS
SignageSolutions

安全上の注意

安全のための注意事項とメンテナンス



警告：本書で指定していない制御、調整または手順を使用すると、感電、電氣的障害、機械的災害につながる可能性があります。

ディスプレイを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。

操作時：

- ・ ディスプレイを直射日光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。
- ・ 十分に換気された場所にディスプレイを設置してください。
- ・ 屋外で動作させる場合は、紫外線フィルターが必要です。
- ・ 温度が高い、湿度が高い、表示頻度が高い、動作時間が長いなど、過度な条件下でディスプレイを使用する場合 Philips に連絡して、アプリケーションエンジニアによる助言を受けてください。そうしないと、ディスプレイの信頼性と機能を保証できません。過度な条件は、通常、空港、乗換駅、銀行、株式市場、制御システムに存在します。
- ・ 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、ディスプレイの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- ・ キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ・ ディスプレイの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- ・ 電源コードを取り外すことでディスプレイの電源をオフにする場合、6秒待ってから電源コードを再び取り付けて通常操作を行ってください。
- ・ Philips が提供する認可された電源コードを使用してください。電源コードが不足している場合、最寄りのサービスセンターにご連絡ください。
- ・ 操作中、ディスプレイを強い振動や高い衝撃条件にさらさないでください。
- ・ 操作または輸送中、ディスプレイを強く打ったり落としたりしないでください。
- ・ アイボルトはメンテナンスや設置の際に短時間使用するためのものです。1時間以上にわたりアイボルトを使用し続けなことを推奨します。長期にわたる使用は禁止されています。アイボルトの使用中は、ディスプレイの下に障害物のない安全領域を確保してください。

メンテナンス：

- ・ ディスプレイを損傷の可能性から保護するために、LCD パネルに過剰な圧力をかけないでください。ディスプレイを動かすときは、フレームをつかんで持ち上げてください。また LCD パネルに手や指を置いてディスプレイを持ち上げないでください。
- ・ 長時間使用する予定がない場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。
- ・ 清掃時にはディスプレイのプラグを抜き、汚れのふき取りには柔らかい布をご使用ください。落ちにくい場合は少量の水をしめらせた布でふき取ってください。ただし、アルコール、アンモニアベースの液体などの有機溶剤を使用してディスプレイを洗浄することは絶対におやめください。
- ・ 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを埃、雨、水、湿気の多い環境にさらさないでください。
- ・ ディスプレイが濡れたら、できるだけ速やかに乾いた布で拭いてください。
- ・ ディスプレイに異物や水が入ったら、直ちに電源をオフにし、電源コードを抜いてください。それから、異物や水を取り除き、メンテナンスセンターに送ってください。
- ・ 熱、直射日光、極端な低温にさらされる場所でディスプレイを保管したり、使用したりしないでください。
- ・ ディスプレイ最高のパフォーマンスを維持し長く使用するために、次の温度および湿度範囲に入る場所でディスプレイを使用することを強くお勧めします。

環境的絶対定格

項目	最小	最大	単位
保管温度	-20	65	°C
動作温度	0	40	°C
ガラス面温度（動作時）	0	65	°C
保管湿度	5	90	% RH
動作湿度	20	80	% RH

- ・ 輝度の性能を向上させるため、LCD パネルの温度は常に摂氏 25 度に保つ必要があります。
- ・ ディスプレイを適切な動作条件で使用する場合のみ、本仕様に記載するディスプレイの寿命が保証されます。

重要:ディスプレイの前を離れるときは、常にスクリーンセーバーをオンにしてください。装置が変化しない静止コンテンツを表示している場合、常に定期的に画面更新アプリケーションを起動してください。長時間静止画像を表示すると、画面に「後イメージ」または「ゴースト像」として知

られる「焼き付き」が表示される原因となります。これは LCD パネル技術ではよく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」は時間とともに徐々に消えます。

警告: 「焼き付き」、「後イメージ」、「ゴースト像」症状はひどくなり、消えることも修理することもできなくなります。これは、保証には含まれません。

サービス:

- ・ ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- ・ 修理または統合が必要な場合、最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。
- ・ ディスプレイを直射日光にさらさないでください。



本書で設定した指示に従ってもディスプレイが正常に動作しない場合、修理スタッフまたは最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。

安定性に関する危険。

ディスプレイが落下すると、重傷または死亡を引き起こす可能性があります。怪我を防止するため、設置に関する指示事項に従って、床 / 壁にディスプレイをしっかりと固定してください。

ディスプレイを接続し使用しているときは、これらの指示を読んで従ってください。



- ・ アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。
- ・ 長時間使用する予定がない場合、ディスプレイのプラグを抜いてください。
- ・ 清掃時にはディスプレイのプラグを抜き、汚れのふき取りには柔らかい布をご使用ください。電源をオフにしているとき、画面を乾いた布で拭くことができます。ただし、アルコール、溶剤、またはアンモニアベースの液体は絶対に使用しないでください。
- ・ 本書の指示に従っているときにディスプレイが正常に作動しない場合、修理スタッフにお問い合わせください。
- ・ ケースカバーは専門の修理技術者以外は絶対に開けないでください。
- ・ ディスプレイを直射日光にさらしたりせず、他の熱源から離れた位置に設置してください。
- ・ 通気口に落下する可能性のある物体を取り除き、ディスプレイの電子機器の適切な冷却を妨げないようにしてください。
- ・ キャビネットの通気口を塞がないでください。
- ・ ディスプレイは乾燥した状態を保つようにしてください。感電の原因となるため、雨や過度の湿気にさらさないでください。
- ・ 電源ケーブルや DC 電源コードを取り外すことでディスプレイの電源をオフにする場合、6 秒待ってから電源ケーブルや DC 電源コードを取り付けて通常操作を行ってください。
- ・ 感電や装置の永久的な損傷の原因となるため、ディスプレイを雨や過度の湿気にさらさないでください。
- ・ ディスプレイの位置を定めているとき、電源プラグとコンセントに容易に手が届くことを確認してください。
- ・ **重要:** ディスプレイを使用しない場合、スクリーンセーバープログラムを常に有効にしておいてください。コントラストの高い静止画像が長期間画面に表示されていると、画面の前面に「後イメージ」または「ゴースト像」が残ることがあります。これは、LCD 技術に特有の欠点に起因する、よく知られた現象です。ほとんどの場合、電源をオフにすると後イメージは時間と共に徐々に消えます。後イメージ症状は修理できず、保証に含まれないことにご注意ください。
- ・ 電源コードに 3 ピン取り付けプラグが付属している場合は、接地 (アース) された 3 ピンコンセントにコードを接続してください。たとえば、2 ピンアダプターを取り付けて、電源コードの接地ピンを無効にしないでください。接地ピンは重要な安全機能です。

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

目次

1. 開梱と設置.....	1	6.11. About (製品について).....	35
1.1. 開梱.....	1	6.12. Supplementary (補足).....	36
1.2. パッケージに含まれるもの.....	1	7. OSDメニュー.....	38
1.3. 設置に関する注意事項.....	1	7.1. OSDメニューをナビゲートする.....	38
1.4. 壁に取り付ける.....	2	7.2. OSDメニューの概要.....	38
2. 各部の機能.....	3	8. 対応するメディア形式.....	44
2.1. コントロールパネル.....	3	9. 入力モード.....	46
2.2. 入力 / 出力端子.....	4	10. 画素欠陥ポリシー.....	47
2.3. リモコン.....	6	10.1. 画素とサブ画素.....	47
3. 外部機器を接続する.....	10	10.2. 画素欠陥の種類 + ドット定義.....	47
3.1. 外部機器 (DVD/VCR/VCD) の接続.....	10	10.3. 明るいドット欠陥.....	47
3.2. PC の接続.....	10	10.4. 暗いドット欠陥.....	48
3.3. オーディオ機器の接続.....	11	10.5. 画素欠陥の近接.....	48
3.4. デイジーチェーン構成で複数のディスプレイを 接続する.....	11	10.6. 画素欠陥の許容範囲.....	48
3.5. IR 接続.....	12	10.7. MURA.....	48
3.6. IR パススルー接続.....	13	11. 清掃とトラブルシューティング.....	49
4. 取り扱い.....	14	11.1. 清掃.....	49
4.1. 接続されたビデオソースから鑑賞する.....	14	11.2. トラブルシューティング.....	50
4.2. 画像フォーマットを変更する.....	14	12. 技術仕様.....	52
4.3. 概要.....	14		
4.4. メディアプレーヤーのご紹介.....	15		
4.5. ブラウザーマニュアル.....	18		
4.6. PDF Reader による再生.....	20		
4.7. CMND & Play.....	23		
4.8. Custom App (カスタムアプリ).....	23		
5. サイネージディスプレイ.....	25		
5.1. Setting (設定).....	25		
5.2. Wi-Fi.....	25		
6. Wi-Fiモジュールには特定のモデルが必要になります。 アドバイスの必要な場合は、販売店またはサービス技 術者にご相談ください。.....	25		
6.1. Ethernet (イーサネット).....	25		
6.2. Proxy (プロキシ).....	26		
6.3. Signage Display (サイネージディスプレイ).....	26		
6.4. System tools (システムツール).....	33		
6.5. Clone Media File (メディアファイルのクロー ン).....	34		
6.6. Display (ディスプレイ).....	34		
6.7. Apps (アプリケーション).....	34		
6.8. Security (セキュリティ).....	34		
6.9. Date & time (日付 / 時間).....	35		
6.10. Developer options (デベロッパパーオプション).....	35		

1. 開梱と設置

1.1. 開梱

- ・ 本製品は、標準アクセサリと共に1つの段ボールにこん包されています。
- ・ 他のオプションのアクセサリは、個別にこん包されます。
- ・ 本ディスプレイのサイズと重量により、2人で動かすことをお勧めします。
- ・ 段ボールを開けた後、内容物に足りないものがなく、良好な状態であることを確認してください。

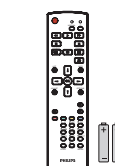
1.2. パッケージに含まれるもの

パッケージに次の品目が揃っていることを確認してください。

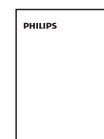
- ・ LCD ディスプレイ
- ・ クイックスタートガイド
- ・ 保証書
- ・ リモコン(単4乾電池を含む)
- ・ 電源コード
- ・ RS232 ケーブル
- ・ RS232 デイジーチェーンケーブル
- ・ IR センサーケーブル
- ・ D-sub ケーブル
- ・ USB カバーおよびネジ x1
- ・ Philips ロゴ



* 付属電源コードは目的地によって異なります。



リモコンとリモコン用単4乾電池



保証書



クイックスタートガイド



電源ケーブル



RS232 ケーブル



RS232 デイジーチェーンケーブル



IR センサーケーブル



D-sub ケーブル



USBカバー



ネジ x1



Philips ロゴ

* 地域によって異なります。

ディスプレイデザインとアクセサリは、イラストと異なる場合があります。

メモ：

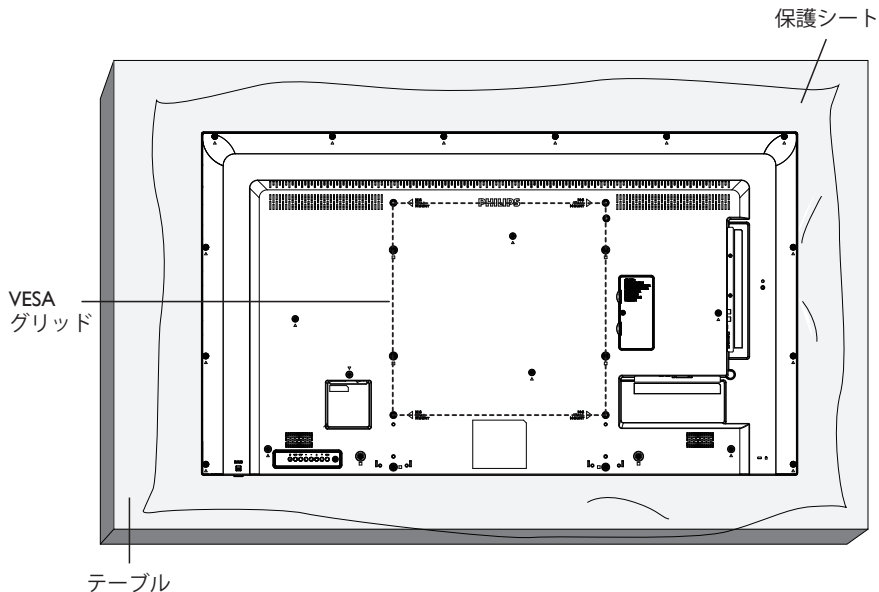
- ・ 他のすべての地域の場合、コンセントの AC 電圧に一致し、当該する国の安全規制に承認された、適合する電源コードを利用してください (H05W-F タイプ、2G または 3G、0.75 または 1 mm² を使用します)。
- ・ ディスプレイを発送するために、段ボール箱と梱包材料を捨てずに保管するようにお勧めします。

1.3. 設置に関する注意事項

- ・ 消費電力が高いため、本製品向けに特別に設計されたプラグを常に使用してください。延長コードが必要な場合、代理店にお問い合わせください。
- ・ 製品は、転倒を避けるために平らな面に設置する必要があります。製品の後部と壁の距離は、適切な換気が保たれるように決める必要があります。電子部品の寿命が短くならないように、製品を台所、浴室または湿度の高い他の場所に設置するのは避けてください。
- ・ 製品は通常は3000m以下の高度でのみ操作されます。3000m以上の高度に設置する場合、何らかの異常な状態が発生することがあります。

1.4. 壁に取り付ける

壁に本製品を取り付けるには、標準の壁取り付けキット（市販品）を購入する必要があります。北米では TUV-GS または UL1678 規格に準拠した取り付けインターフェースを使用することを推奨します。



- 梱包時に本製品を覆っていた保護シートをテーブル上に敷き、画面表面に傷が付かないように画面表面を下にします。
- 本製品を取り付けるため（壁掛け、天上取り付け、テーブルスタンドなど）のすべての付属品があることを確認してください。
- 台取り付けキットに同梱の説明書に従ってください。正しい取り付け手順に従わない場合、装置の損傷、またはユーザーや取り付け作業者の怪我につながります。不適切な取り付けが原因の破損は、本ディスプレイの保証範囲に含まれません。
- 壁取り付けキットには、M6 取り付けねじ（取り付けブラケットの厚さより 10mm 以上長いもの）を使用し、しっかりと締め付けてください。
- 装置の重量（ベースなし）=12.8 kg。テスト中、装置とその取り付け手段は固定されたままです。UL に記載された壁取り付けブラケット（最小重量 / 荷重:12.8 kg）のみ使用。
- 縦向きは許可されていません。

1.4.1. VESA グリッド

50BDL3050Q	400 (横) x 400 (縦) mm
------------	----------------------

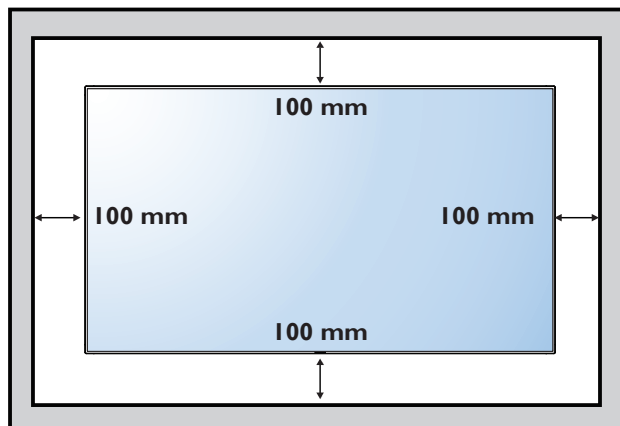
注意：

本ディスプレイの落下を防止するために：

- 本製品を壁または天井へ設置する場合は、市販の金属製ブラケットを使用して設置することを推奨します。設置の詳細説明については、それぞれのブラケットに付属のガイドを参照してください。
- 地震やその他天災が起きた際に、本製品の落下による怪我や破損の可能性を下げるため、設置場所については必ずブラケットメーカーに相談してください。

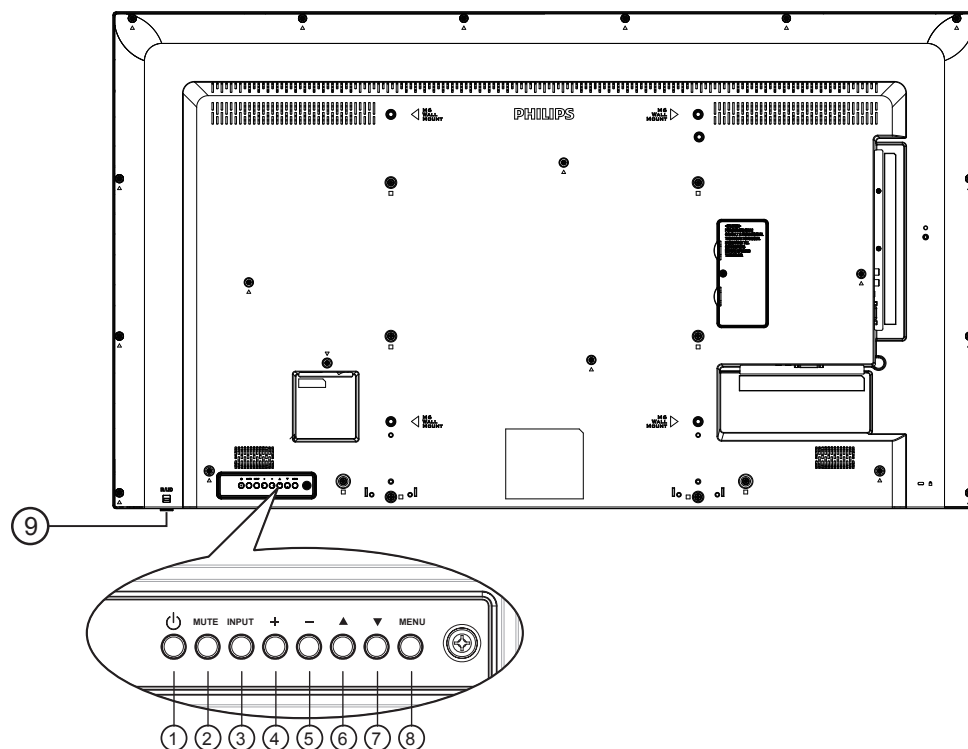
筐体の位置を決める際の換気要件

熱を消散できるように、以下の図に示すように、周囲の各物体の間にスペースを置いてください。



2. 各部の機能

2.1. コントロールパネル



① [⏻] ボタン

ディスプレイの電源を入れたり、スタンバイにするときに使用します。

② [消音] ボタン

音声の消音オン / オフを切り替えます。

③ [入力] ボタン

入力ソースを選択します。

④ [+] ボタン

- ・ 音量を大きくします。
- ・ OSD メニューがオンのとき、サブメニューに入ります。

⑤ [-] ボタン

- ・ 音量を小さくします。
- ・ OSD メニューがオンのとき、前のメニューに戻ります。

⑥ [▲] ボタン

- ・ OSD メニューがオンの時に選択したアイテムを調整するには、ハイライトバーを上げます。
- ・ 値を調整しているとき、値を増やします。

⑦ [▼] ボタン

- ・ OSD メニューがオンのときに選択した項目を調整するには、ハイライトバーを下げます。
- ・ 値を調整しているとき、値を減らします。

⑧ [メニュー] ボタン

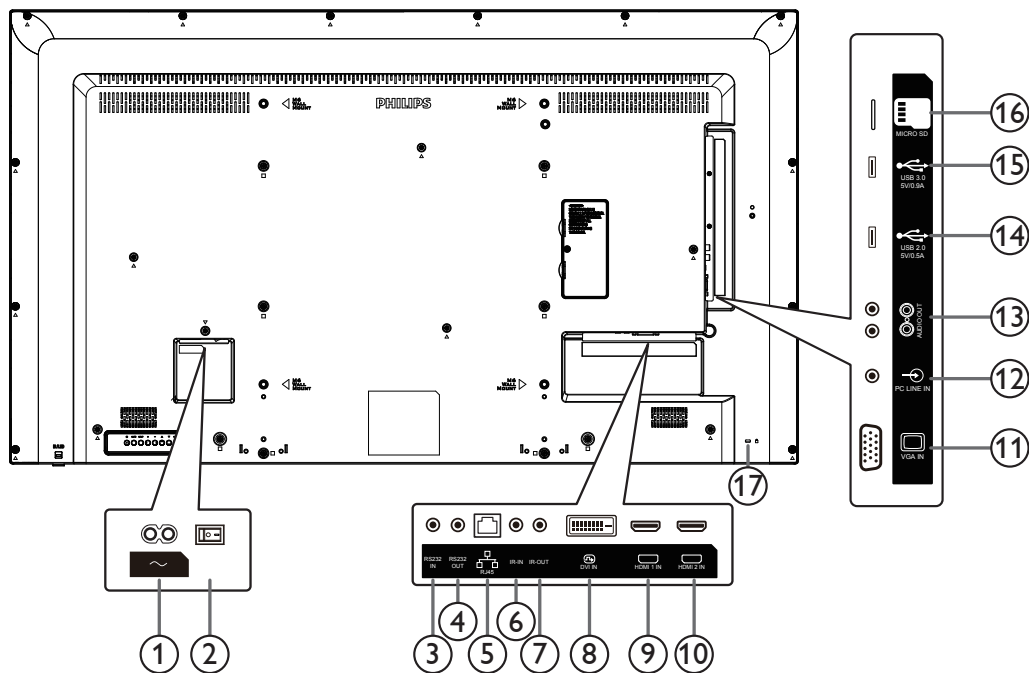
OSD メニューがオンになっている間に前のメニューに戻るか、OSD メニューがオフになったら OSD メニューを有効にします。

⑨ リモコンセンサーと電源ステータスインジケータ

- ・ リモコンからの指令信号を受信します。
- ・ OPS のない本ディスプレイの動作ステータスを表示します：
 - 本ディスプレイの電源がオンのとき緑色点灯する
 - 本ディスプレイがスタンバイモードのとき赤色点灯する
 - {スケジュール} が有効の場合は緑と赤色に点滅する
 - 赤色点滅の場合は故障の検出を示す
 - 本ディスプレイの主電源がオフの場合消灯する

* リモコンの性能を向上させるため、IR センサーケーブルを使用してください(3.5 の説明を参照)。

2.2. 入力 / 出力端子



① AC 入力

壁コンセントからの AC 電源入力。

② 主電源スイッチ

主電源のオン / オフを切り替える。

③ RS232C 入力 / ④ RS232C 出力

ループスルー機能向けの RS232C ネットワーク入力 / 出力。

⑤ RJ-45

コントロールセンターからリモコン信号を使用するための LAN 制御機能です。

⑥ IR 出力 / ⑦ IR 入力

ループスルー機能向けの IR 信号入力 / 出力。

メモ:

- ・ ジャック [IR 入力] が接続されている場合、本ディスプレイのリモコンセンサーは機能を停止します。
- ・ 本製品を使ってお持ちの AV 機器をリモート操作するには、ページ 14 または IR パススルー接続を参照してください。

⑧ DVI 入力

DVI ビデオ入力。

⑨ HDMI1 入力 / ⑩ HDMI2 入力

HDMI ビデオ / 音声入力。

⑪ VGA 入力 (D-Sub)

VGA ビデオ入力。

⑫ 音声入力

VGA ソース用の音声入力 (3.5mm ステレオ電話)。

⑬ 音声出力

外部 AV デバイスへの音声出力。

⑭ USB 2.0 / ⑮ USB 3.0 ポート

USB ストレージデバイスを接続します。

⑯ MICRO SD カード

MICRO SD カードを接続します。

⑰ セキュリティロック

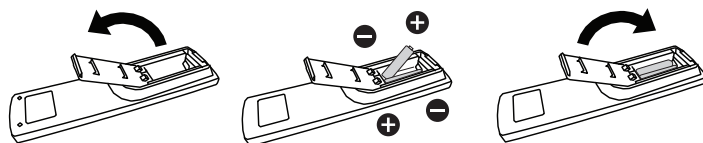
安全および盗難防止用に使用します。

2.2.1. リモコンに乾電池を挿入する

リモコンは 2 本の 1.5V 単 4 乾電池で作動します。

乾電池を取り付ける、または交換する：

1. カバーを押してスライドさせ、開いてください。
2. 電池ケース内の「+」と「-」に合わせて、乾電池を入れてください。
3. カバーを閉じてください。



注意：

乾電池を間違っていると、液漏れまたは破裂することがあります。以下の指示に必ず従ってください：

- ・ 単 4 乾電池の各乾電池の (+) と (-) 記号が、バッテリー収納部の (+) と (-) 記号に合うようにしてセットします。
- ・ 違う種類の乾電池を一緒にして使用しないでください。
- ・ 新しい乾電池と中古乾電池を一緒で使用しないでください。乾電池の寿命が短くなったり、液漏れの原因となります。
- ・ 切れた乾電池は乾電池収納部に液漏れする原因となるため、直ちに取り出してください。肌にダメージを与えることがあるため、乾電池の漏れた酸に触れないでください。

注記： 長期間リモコンを使用する予定がない場合、乾電池を取り出してください。

2.2.2. リモコンの取り扱い

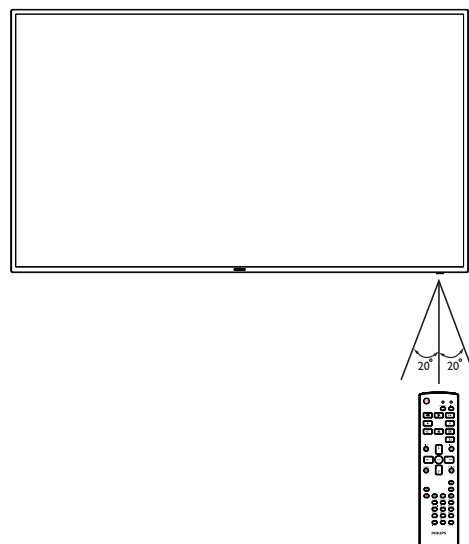
- ・ 強い衝撃を与えないでください。
- ・ 水などの液体をリモコンにかけないでください。リモコンがぬれたときには、直ちに拭いて乾かしてください。
- ・ 熱と蒸気を避けてください。
- ・ 乾電池を入れるとき以外は、リモコンを開けないでください。

2.2.3. リモコンの動作範囲

ボタンを押すとき、リモコンの上部をディスプレイのコントロールセンサーに向けてください。

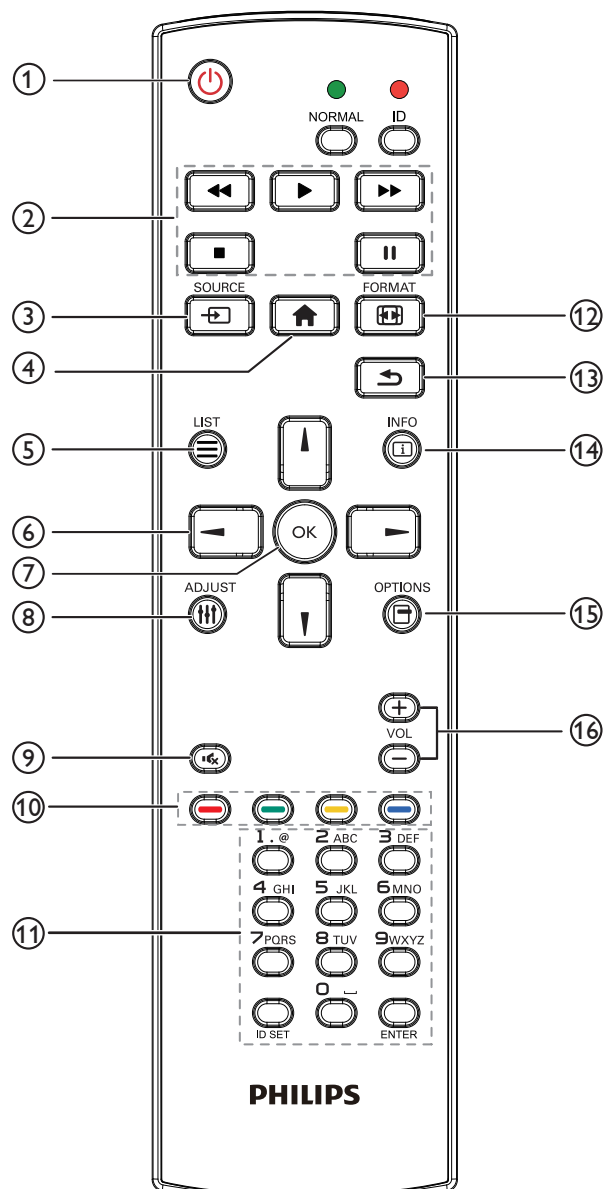
ディスプレイのセンサーから 6 メートル (19 フィート) より近い距離で、水平方向と垂直方向 30 度未満の範囲内でリモコンを使用してください。

注記： ディスプレイのリモコンセンサーが直射日光や強い照明浴びていたり、または信号の経路に障害物がある場合には、リモコンが適切に作動しないことがあります。



2.3. リモコン

2.3.1. 一般の機能



① [] 電源ボタン

電源オン / オフ。

② [] ボタン

メディアファイルの再生を操作します(メディア入力専用)。
 フリーズ機能
 一時停止:全入力コンテンツのホットキーをフリーズします。
 再生:全入力コンテンツのホットキーのフリーズを解除します。

③ [] ソースボタン

ルートメニュー:ビデオソース OSD に移動します。

④ [] ホームボタン

ルートメニュー:親画面メニュー OSD に移動します。
 その他:OSD を終了します。

⑤ [] リストボタン

機能しません。

⑥ ナビゲーションボタン



ルートメニュー:スマートピクチャー OSD に移動します。
 親画面メニュー:選択したアイテムを調整するにはハイライトバーを上げます。
 IR デイジーチェーンメニュー:操作するグループ ID 番号を増やします。



ルートメニュー:オーディオソース OSD に移動します。
 親画面メニュー:選択したアイテムを調整するにはハイライトバーを下げます。
 IR デイジーチェーンメニュー:操作するグループ ID 番号を減らします。



親画面メニュー:前のレベルのメニューに戻ります。
 ソースメニュー:ソースメニューを閉じます。
 音量メニュー:音量を小さくします。



親画面メニュー:次のレベルのメニューに移動するか、選択したオプションを設定します。
 ソースメニュー:選択したソースに移動します。
 音量メニュー:音量を大きくします。

⑦ [OK] ボタン

ルートメニュー:Primary/Secondary モードの IR デイジーチェーンに移動します。
 親画面メニュー:入力または選択を確定します。

⑧ [] 調整ボタン

VGA 専用のオートアジャスト OSD に移動します。

⑨ [] 消音ボタン

音声の消音 / 消音解除を切り替えます。

⑩ [] [] [] [] 色ボタン

タスクまたはオプションを選択します(メディア入力専用)。
 [] ウィンドウ選択機能用のホットキー。

⑪ [] [] [] [] 番号 / ID SET / ENTER] ボタン

ネットワーク設定の際にテキストを入力します。
 ここを押して、ID を設定します。詳細については 2.3.2. リモコン ID を参照してください。

⑫ [] 形式ボタン

画像ズームモードを [フル] [4:3] [リアル] [21:9] [カスタム] に変更します。

⑬ [] 戻るボタン

以前に選択したメニューに戻る、または以前の機能を終了します。

⑭ [] 情報ボタン

インフォメーション OSD を表示します

⑮ [] オプションボタン

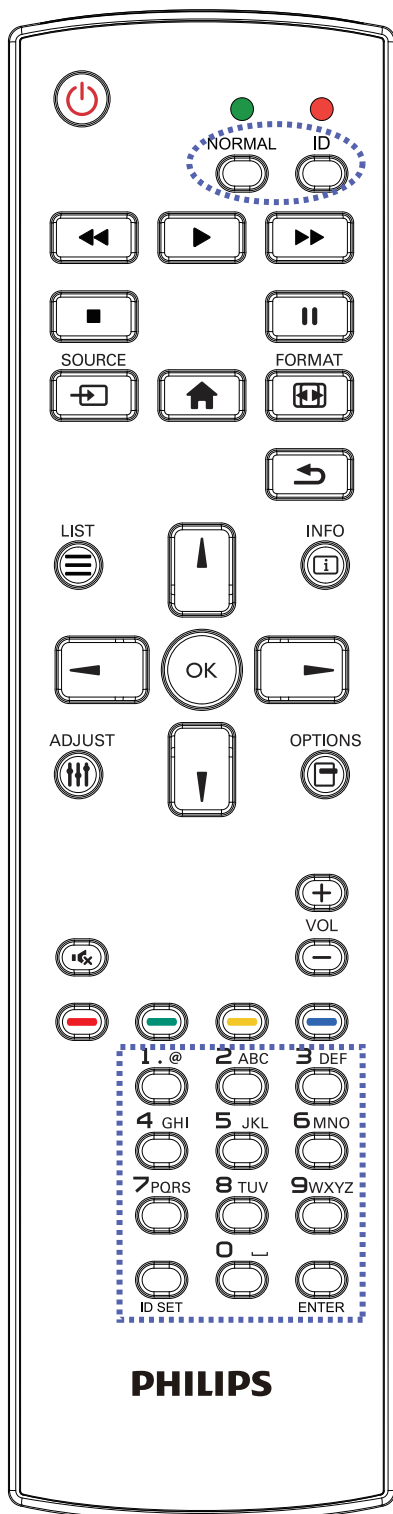
機能しません。

⑯ [] [] 音量ボタン

音量を調節します。

2.3.2. リモコン ID

複数のディスプレイの中の1つでこのリモコンを使用する場合には、リモコン用 ID を設定できます。



[ID] ボタンを押してください。赤い LED が 2 回点滅します。

1. ID モードに移行するためには、[ID 設定] ボタンを 1 秒以上押してください。赤い LED が点灯します。
[ID 設定] ボタンを再度押すと、ID モードを離れます。赤い LED が消えます。

[0] ~ [9] の数字を押して、コントロールしたいディスプレイを選択します。

例：ディスプレイ番号 1 では [0] と [1]、ディスプレイ番号 11 では [1] と [1] を押してください。

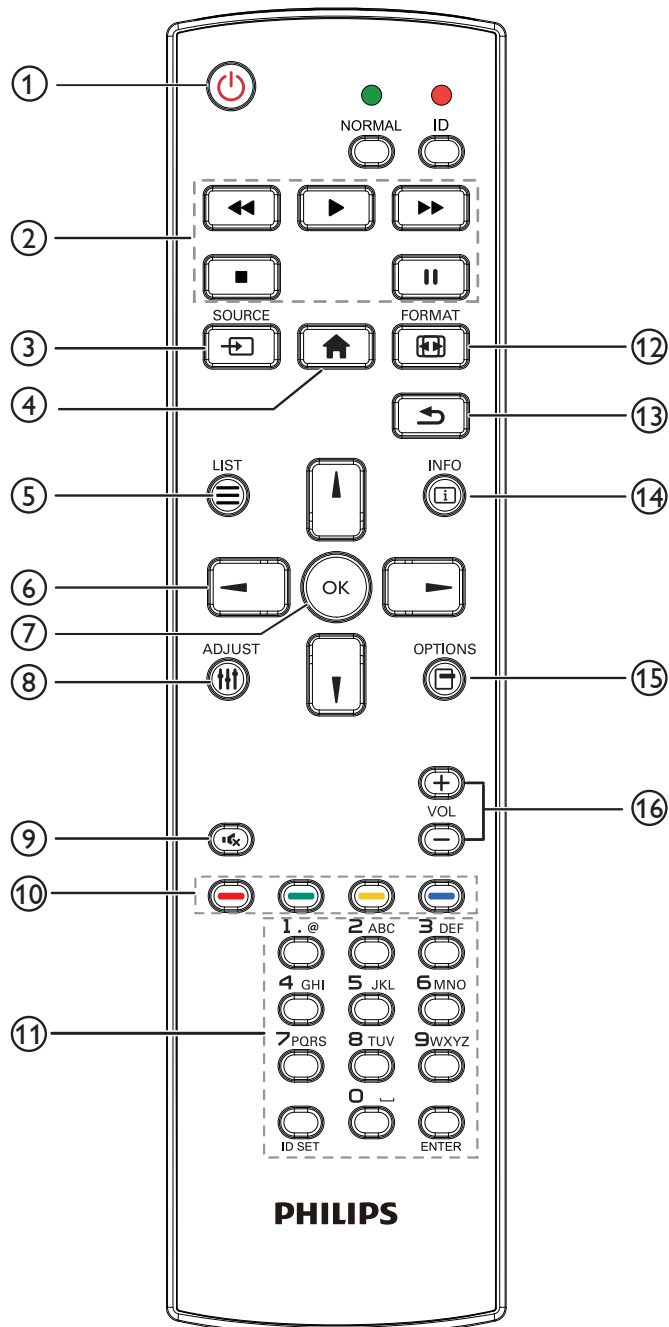
使用できる番号は [01] ~ [255] です。

2. 10 秒以内にどれかのボタンを押さないと、ID モードを終了します。
3. 数字以外のボタンを押してエラーが生じた場合には、赤い LED が消えて再度点灯してから 1 秒間待って、正しい数字を押してください。
4. [ENTER] ボタンを押して、承認してください。赤い LED が 2 回点滅して、消えます。

注記：

- [NORMAL (ノーマル)] ボタンを押してください。緑の LED が 2 回点滅して、ディスプレイが正常に作動していることを示します。
- ID 番号を選択する前に、それぞれのディスプレイで ID 番号を設定する必要があります。

2.3.3. Android ソース用のリモコンボタン



① [電源] 電源ボタン

ディスプレイをオンにしたり、スタンバイモードにします。
このボタンは Scalar のみが操作します。

② [プレー] ボタン

- メディア (動画 / 音声 / 画像) ファイルの再生を操作します。
メディアファイルの再生する方法には 4 通りあります。
 - ファイルマネージャー
ファイルマネージャーでメディアファイルを検索し、選択して再生します。
 - メディアプレーヤー → 構成 → プレイリストの編集または新規追加 → 任意のメディアファイルを選択 → [▶] を押し、メディアファイルを直接再生します。

3) メディアプレーヤー → 再生 → 空でないプレイリストを選択 → [OK] を押してプレイリスト内のすべてのメディアファイルを再生します。

4) OSD メニューで、メディアプレイリストをソース起動またはスケジュールに設定します。

2.PDF ファイルの再生

メディアファイルの再生する方法には 3 通りあります。

1) ファイルマネージャー

ファイルマネージャーで PDF ファイルを検索し、選択して再生します。

2) PDF プレーヤー → 再生 → 空でないプレイリストを選択 → [OK] を押してプレイリスト内のすべての PDF ファイルを再生します。

3) OSD メニューで、PDF プレイリストをソース起動またはスケジュールに設定します。

3.PDF、動画または音楽を再生中に [■] を押すと再生が停止します。その後もう一度 [▶] を押すと、そのファイルの始めから再生が開始します。

4.PDF、動画または音楽を再生中に [⏸] を押すと再生が一時停止されます。

5. すべてのメディアまたは PDF ファイルはサブフォルダのある「philips」という名のフォルダに入れ、指定したストレージ (内部 / USB / SD カード) のルートディレクトリに置く必要があります。すべてのサブフォルダ (video/photo/music/pdf) は、メディアタイプに従って名前が付いているため変更しないでください。

動画: {ストレージのルートディレクトリ}/philips/video/
写真: {ストレージのルートディレクトリ}/philips/photo/
音楽: {ストレージのルートディレクトリ}/philips/music/
pdfs: {ストレージのルートディレクトリ}/philips/pdf/

3 種類のストレージのルートディレクトリは以下のとおりです。

内部ストレージ: /sdcard

USB ストレージ: /mnt/usb_storage

SD カード: /mnt/external_sd

③ [⇄] ソースボタン

入力ソースを選択します。
このボタンは Scalar のみが操作します。

④ [🏠] ホームボタン

OSD メニューにアクセスします。
このボタンは Scalar のみが操作します。

⑤ [☰] リストボタン

- ウェブページのコンテンツでは、上にある次にクリックできる項目にフォーカスを移動します。
- 上にある次のコントロールまたはウィジェットに (ボタンなど) フォーカスが移動します。

⑥ ナビゲーションボタン


- メニューを移動して項目を選択します。
- ウェブページのコンテンツでは、このボタンは画面のスクロールバーを操作するために使います。[↑] または [↓] は垂直スクロールバーを上下に動かします。[←] または [→] は水平スクロールバーを左右に動かします。


3.PDF ファイルの場合、

» ズームイン / アウトを実行している時は、

、、、 を押して画面の位置を調整します。

» ズームイン / アウトを実行していない時は、

 で次のページに移動します。

 で前のページに移動します。

⑦ [OK] ボタン

入力または選択を確定します。

⑧ [≡] 調整ボタン

1. ウェブページのコンテンツでは、下にある次にクリックできる項目にフォーカスを移動します。



2. 下にある次のコントロールまたはウィジェットに(ボタンなど)フォーカスが移動します。

⑨ [🔇] 消音ボタン

消音機能をオン / オフで切り換えます。

このボタンは Scalar のみが操作します。


⑩ [🔴][🟢][🟡][🟠] 色ボタン

1.   : Android ソースでは機能しません。これらの 2 つのボタンは Scalar のみが操作します。

2.PDF ファイルの場合、


 を押してズームインします。

 を押してズームアウトします。

ズームインまたはズームアウトを実行した後に  ボタンを押すと、PDF が元のサイズに戻ります。

⑪ [番号 / ID SET / ENTER] ボタン

1.Android ソースでは、ID 設定  および入力  は機能しません。これらのボタンは Scalar のみが操作します。

2.PDF ファイルの場合、番号ボタンを押してページ番号を入力し、 を押すとそのページに移動します。

⑫ [🔄] 形式ボタン


画像フォーマットを変更します。このボタンは Scalar のみが操作します。

⑬ [🏠] 戻るボタン

前のページまたは以前の機能に戻ります。

⑭ [i] 情報ボタン


1. 現在の入力信号に関する情報を表示します。Scalar がこの情報を表示します。


2. メディアプレーヤー -> 構成 -> プレイリストの編集または新規追加 -> 任意のメディアファイルを選択 ->  を押すと、選択したメディアファイルの情報が表示されます。

⑮ [☰] オプションボタン

メディアプレーヤーまたは PDF プレーヤーでツールボックスを開きます。

1. メディアプレーヤー -> 構成 -> プレイリストの編集または新規追加 ->

 を押して、ツールボックスを開きます。画面の左側からツールボックスがスライド表示されます。

2.PDF プレーヤー -> 構成 -> プレイリストの編集または新規追加 ->  を押して、ツールボックスを開きます。画面の左側からツールボックスがスライド表示されます。

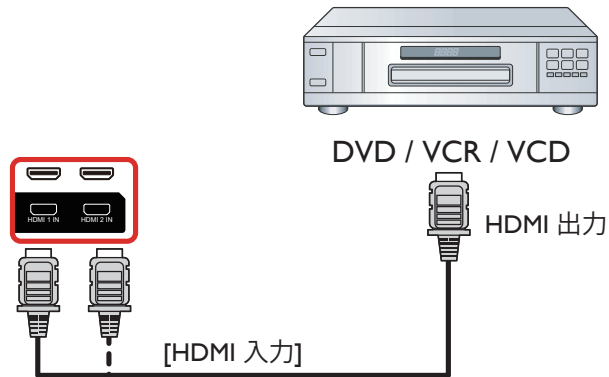
⑯ [−][+] 音量ボタン

音量を調節します。ボタンは Scalar のみが操作します。

3. 外部機器を接続する

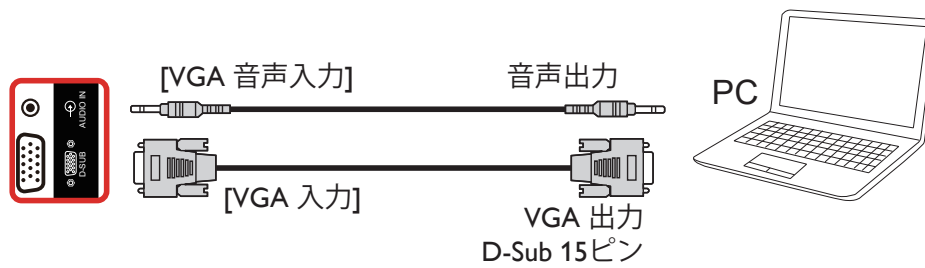
3.1. 外部機器 (DVD/VCR/VCD) の接続

3.1.1. HDMI ビデオ入力の使用

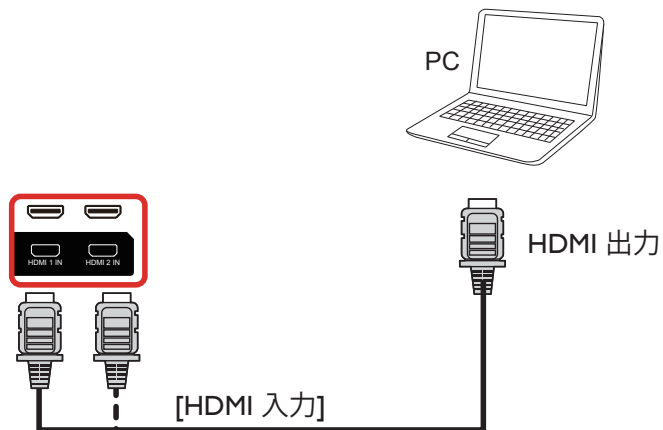


3.2. PC の接続

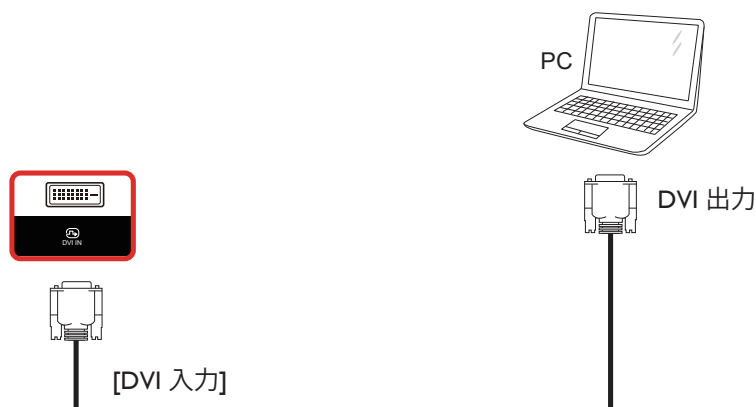
3.2.1. VGA 入力の使用



3.2.2. HDMI 入力の使用

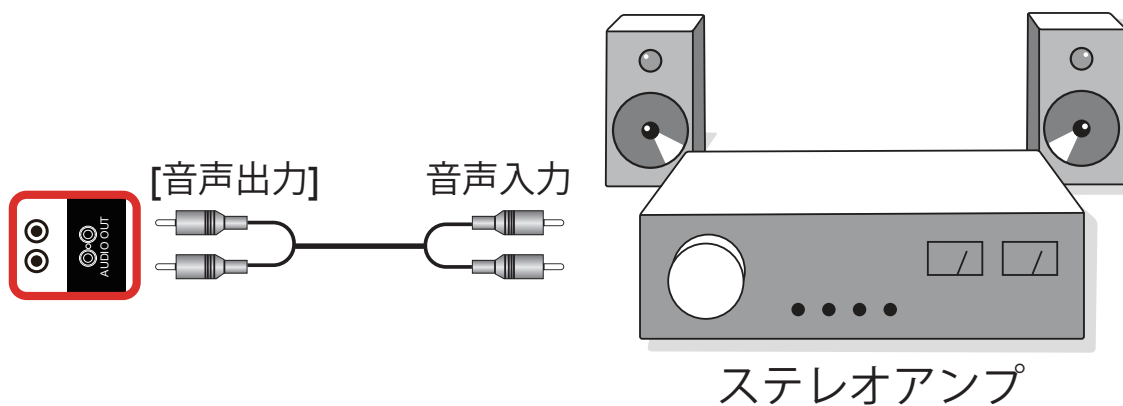


3.2.3. DVI 入力の使用



3.3. オーディオ機器の接続

3.3.1. 外部オーディオ装置の接続

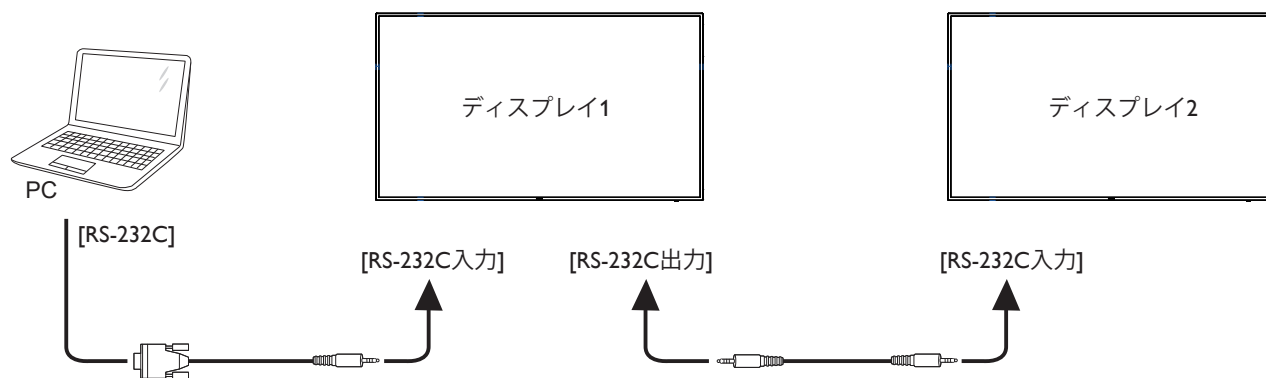


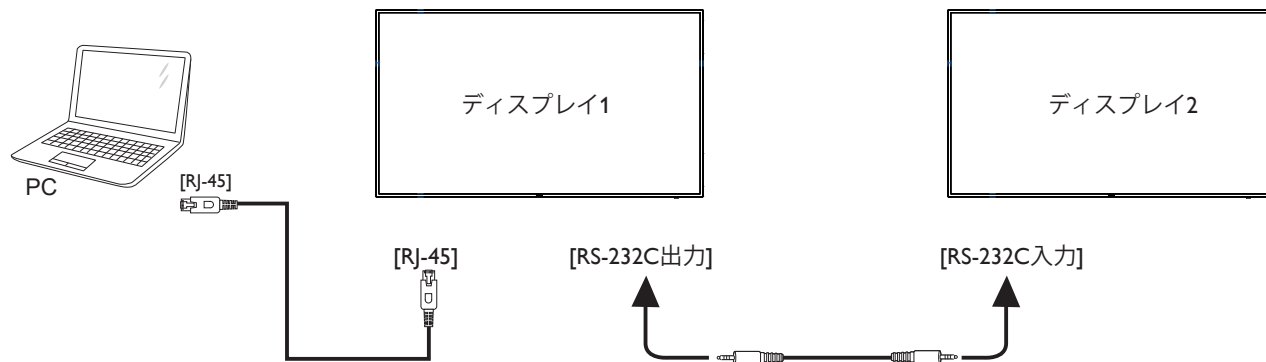
3.4. デイジーチェーン構成で複数のディスプレイを接続する

複数のディスプレイを相互接続し、メニューボードなどの用途向けに、デイジーチェーン構成を作成することが可能です。

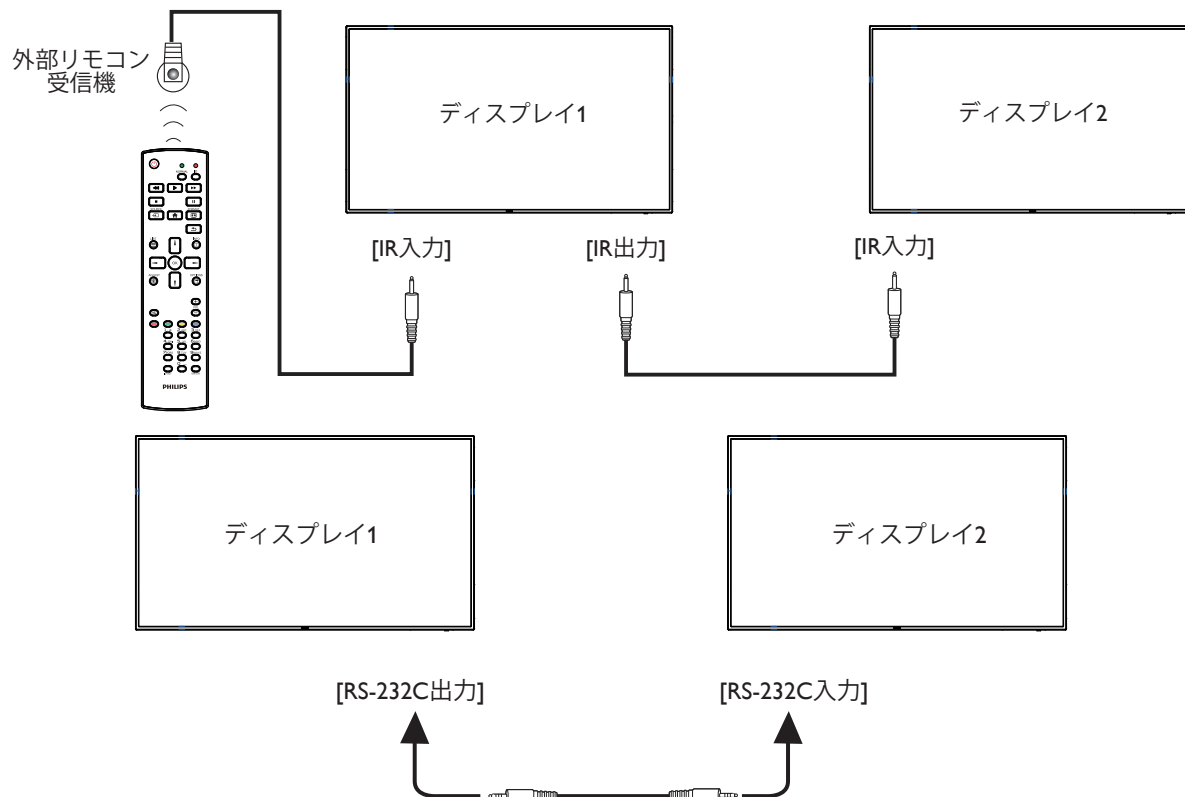
3.4.1. ディスプレイコントロール接続

ディスプレイ1の [RS232C 出力] コネクタを、ディスプレイ2の [RS232C 入力] コネクタに接続します。





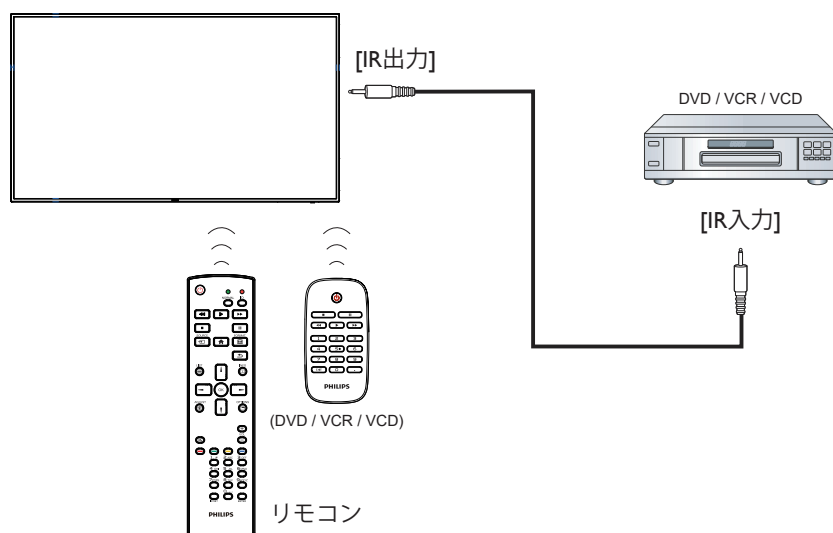
3.5. IR 接続



注記:

1. [IR 入力] が接続されている場合、本ディスプレイのリモコンセンサーは動作を停止します。
2. IR ループスルー接続では、最大 9 台のディスプレイに対応できます。
3. RS232 を通してデイジーチェーン接続した IR では、最大 9 台のディスプレイに対応できます。





3.6. IR パススルー接続



4. 取り扱い

注記：この章で説明されている操作ボタンは、特に記述のない限りリモコン上にあるボタンを指します。


4.1. 接続されたビデオソースから鑑賞する

1. [] ソースボタンを押します。
2. [] または [] ボタンを押してデバイスを選択し、[] ボタンを押します。

4.2. 画像フォーマットを変更する

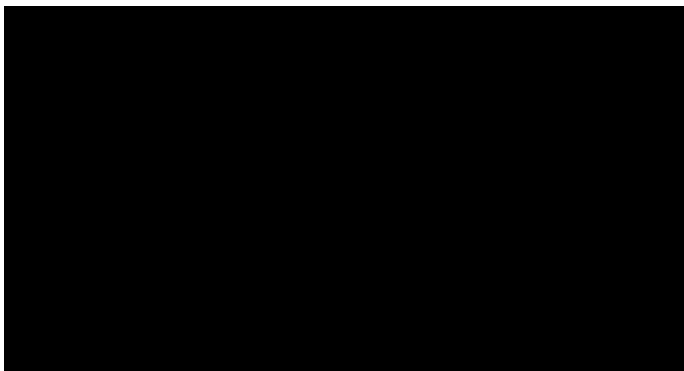
ビデオソースに合わせて画像フォーマットを変更することができます。それぞれのビデオソースに対して、使用可能な画像フォーマットがあります。

使用可能な画像フォーマットはビデオソースによって異なります。

1. [] 形式ボタンを押して画像フォーマットを選択します。
 - ・ PC モード：{フル} / {4:3} / {リアル} / {21:9} / {カスタム}。
 - ・ ビデオモード：{フル} / {4:3} / {リアル} / {21:9} / {カスタム}。

4.3. 概要

1. Android PD 起動画面：
 - ・ Android PD 起動画面は黒い画面になります (以下参照)：



- ・ すべてのアプリにおいて、終了する時には戻るキーを押します。画面は Android PD 起動画面に移動します。
- ・ Android PD 起動画面に戻った時、ヒント画像が画面に表示されます。ヒント画像 (以下参照) は 5 秒間だけ表示されます。
- ・ ヒント画像は、ソースキーを押せばソースを変更できることを通知します。



2. Admin mode (管理モード)：
 - ・ 「Home + 1888」を押すと管理モードに入ります。「ホーム」を押した時にホーム OSD メニューが表示されることを確

認してから、その次に 1888 と押してください。「ホーム」キーを 2 回押すと有効なホットキーになりません。

- ・ 管理モードでは 5 つのアイコンが表示されます：「Settings (設定)」、「APPs (アプリ)」、「Network (ネットワーク)」、「Storage (ストレージ)」、「Help (ヘルプ)」があります。
- ・ 管理モードを終了すると、システムは前回選択していたソースに戻ります。

1) 管理モードのホームページです。このページには 5 つの項目：「Settings (設定)」、「APPs (アプリ)」、「Network (ネットワーク)」、「Storage (ストレージ)」、「Help (ヘルプ)」があります。

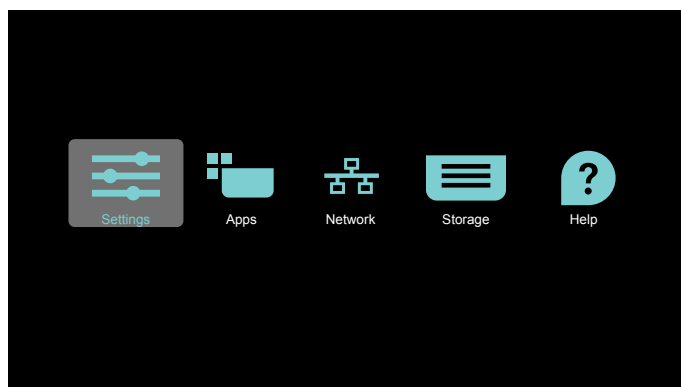
Settings (設定)：設定アプリに移動します。

Applications (アプリケーション)：すべてのアプリを表示します。

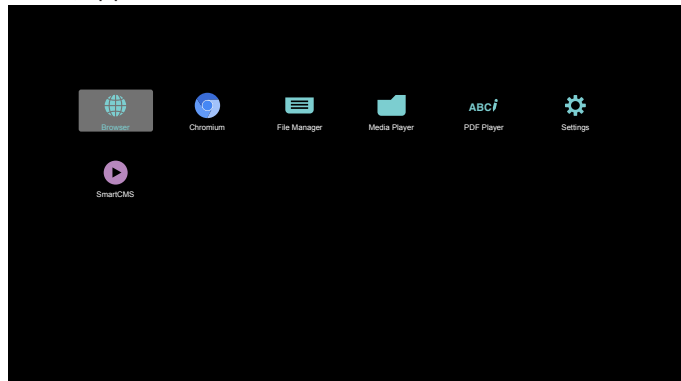
Network (ネットワーク)：Wi-Fi、イーサネットを設定します

Storage (ストレージ)：現在の PD Android ストレージ情報を表示します。

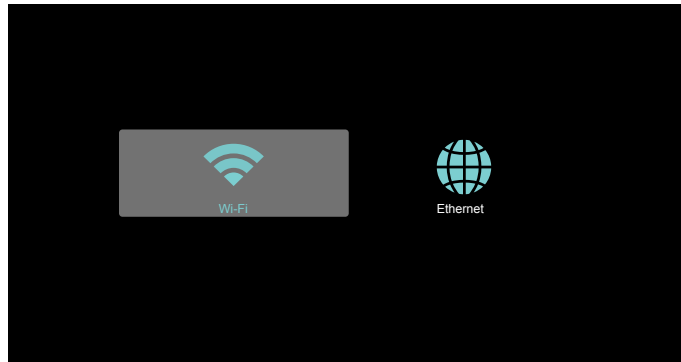
Help (ヘルプ)：QRcode を表示します。



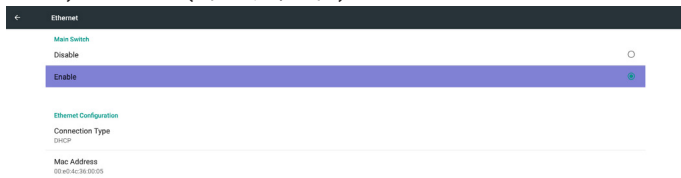
2.) Application (アプリケーション) ページ：



3) Network (ネットワーク) ページ



4) Ethernet (イーサネット) ページ



5) Wi-Fi (オプション)



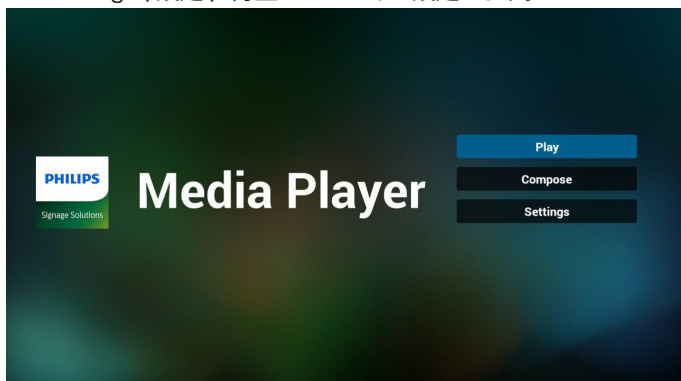
6) Help (ヘルプ) ページ:

QRcode ページを表示します。

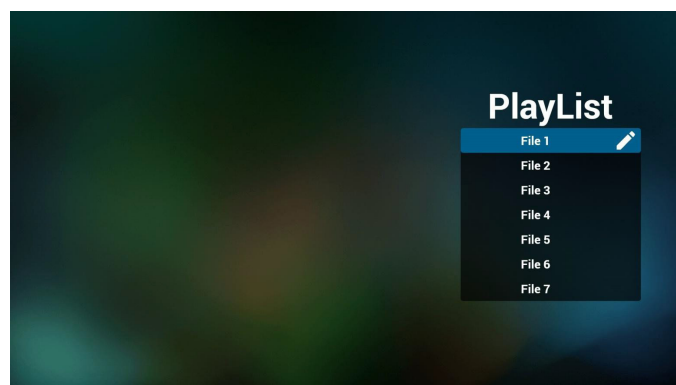


4.4. メディアプレーヤーのご紹介

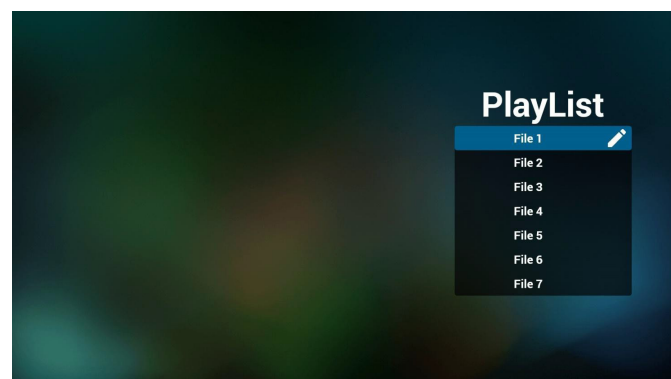
1. メディアプレーヤーのホームページです。このページには3つの項目:「Play (再生)」、「Compose (構成)」および「Settings (設定)」が表示されます。
 Play (再生):再生するプレイリストを選択します。
 Compose (構成):プレイリストを編集します。
 Settings (設定):再生プロパティを設定します。



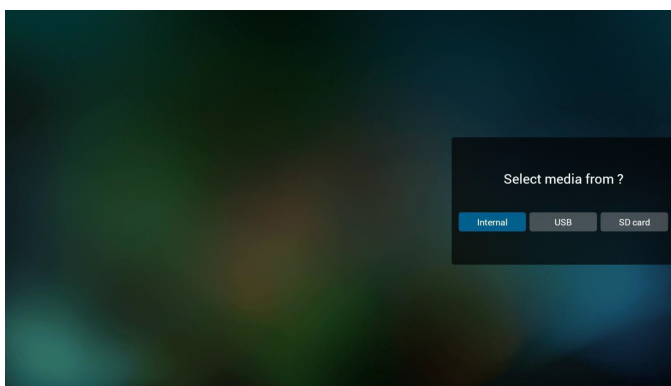
2. ホームページで「Play (再生)」を選択します。最初に、ファイル1～ファイル7の中から再生するプレイリストを選びます。ペンシルアイコンはプレイリストが空でないことを示しています。



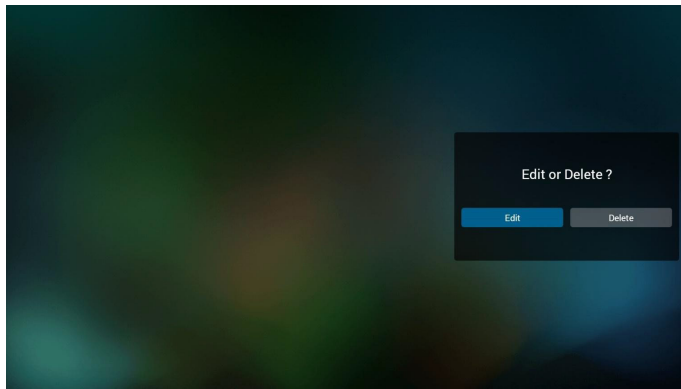
3. ホームページで「Compose (構成)」を選択します。最初に、ファイル1～ファイル7の間から編集するプレイリストを選びます。ペンシルアイコンはプレイリストが空でないことを示しています。



4. 空のプレイリストを選択した場合、アプリからメディアソースを選択するように求められます。すべてのメディアファイルは、ルートディレクトリにある / philips/ に入れてください。
 例:
 動画: {ストレージのルートディレクトリ}/philips/video/
 写真: {ストレージのルートディレクトリ}/philips/photo/
 音楽: {ストレージのルートディレクトリ}/philips/music/



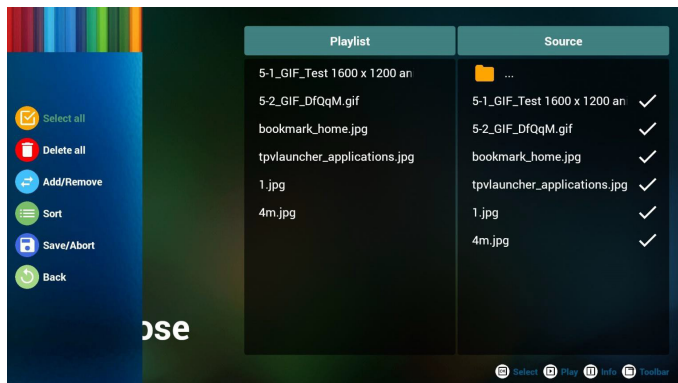
5. 空のプレイリストは編集または削除することができます。ペンシルアイコンの付いた必要なプレイリストを選択してください。



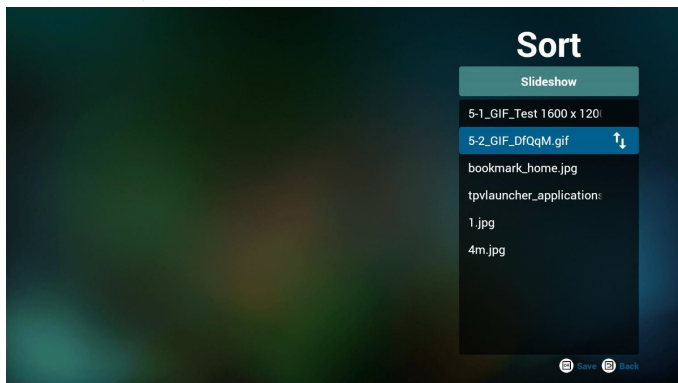
6. プレイリストを編集し始めると、以下の画面が表示されます。
 ソース – ストレージ内のファイル。
 プレイリスト – プレイリスト内のファイル。
 リモコンのキーにマッピングされているアイコンが 4 つあります。
 オプションキー – スライダーを表示します
 再生キー – メディアファイルを再生します。
 情報キー – メディア情報を表示します。
 OK キー – ファイルを選択 / 非選択します。

6-1 スライダーでは、以下を実行できます：

- select all (すべて選択) : すべてのストレージファイルを選択します。
- delete all (すべて削除) : すべてのプレイリストファイルを削除します。
- add/remove (追加 / 削除) : ソースからのプレイリストを更新します。
- sort (並び替え) : プレイリストを並び替えます。
- save/abort (保存 / 破棄) : プレイリストを保存または破棄します。
- back (戻る) : 戻ります。



7. スライダーで「Sort (並び替え)」を選択すると、ファイルの順番を1つずつ変更することができます。



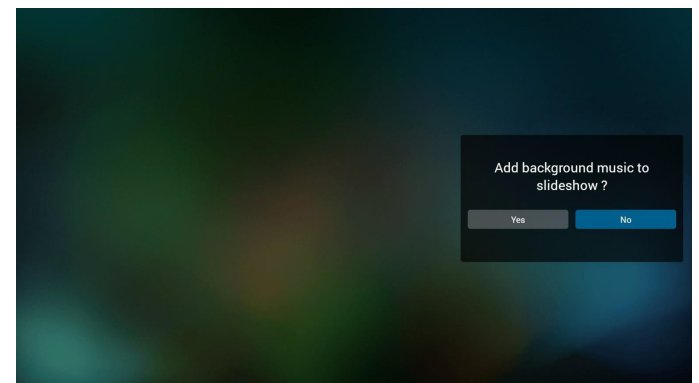
8. 必要なファイルを選択した後に情報キーを押すと、詳細が表示されます。



9. 必要なファイルを選択した後に再生キーを押すと、直接メディアファイルが再生されます。



10. すべてが画像ファイルから成るプレイリストを作成すると、保存する前にスライドショーの再生中にバックグラウンドミュージックを付けるかどうかを尋ねるメッセージが表示されます。



11. ホームページで「Settings (設定)」を選択すると、このページは「Repeat Mode (繰り返しモード)」、「Slideshow Effect (スライドショー効果)」、「Effect Duration (効果時間)」の3つのパーツに別れています。

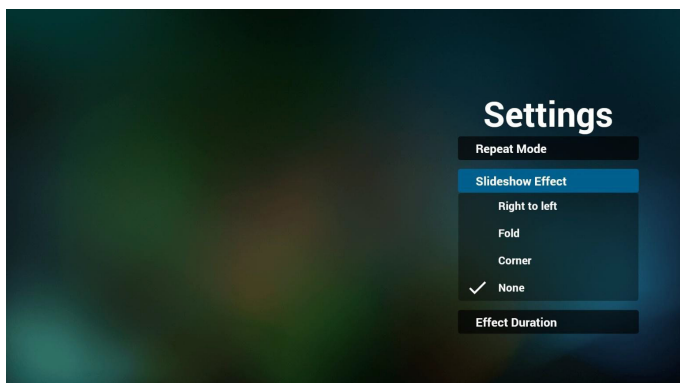
Repeat Mode (繰り返しモード) : 再生モード。

Slideshow Effect (スライドショー効果) : 写真スライドショーの効果。

Effect Duration (効果時間) : 写真効果が続く長さ。

ステップ 4、メディアプレーヤーアプリを開始すると、メディアプレーヤーテキストファイルが自動的にインポートされます。

補足: プレイリストファイル(テキスト)をインポートした後に、リモコンを使ってユーザーがプレイリストを変更した場合、この変更はプレイリストテキストファイルには書き込まれません。



12. メディアホットキー

Play (再生): ファイルを再生します。
 Pause (一時停止): ファイルを一時停止します。
 Fast forward (早送り): 10 秒早送りします。
 Rewind (巻き戻し): 10 秒戻します。
 Stop (停止): ファイルを停止して開始点に戻ります。GIF ファイルの場合、一時停止のようになります。

13. メディア形式については対応するメディア形式を参照してください。

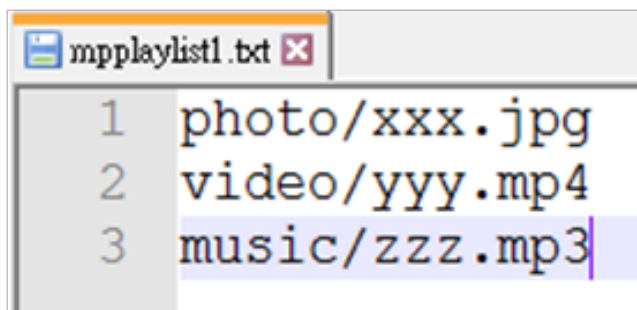
14. FTP を通してプレイリストを編集する方法。

ステップ 1、メディアプレーヤーテキストファイルを作成します。

- ファイル名: mpplaylistX.txt。「X」がプレイリストの番号です(1、2、3、4、5、6、7)。

例: mpplaylist1.txt、mpplaylist2.txt

- 内容:



注記: プレイリストに動画や音楽が含まれている場合、音楽ファイルの再生中は画面が黒くなります。

ステップ 2、mpplaylistX.txt を内部ストレージにある「philips」フォルダにコピーします。この際、FTP を利用することができます。

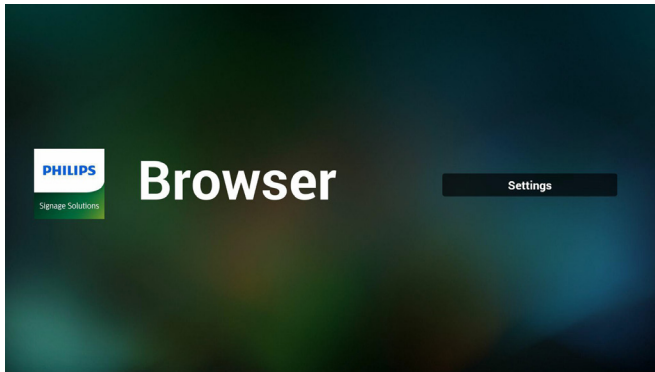
- ファイルパス: /storage/emulated/legacy/philips
- 例: /storage/emulated/legacy/philips/mpplaylist1.txt

ステップ 3、「philips」フォルダ内の「photo」、「video」、「music」フォルダにメディアファイルを準備します(内部ストレージのみ)。

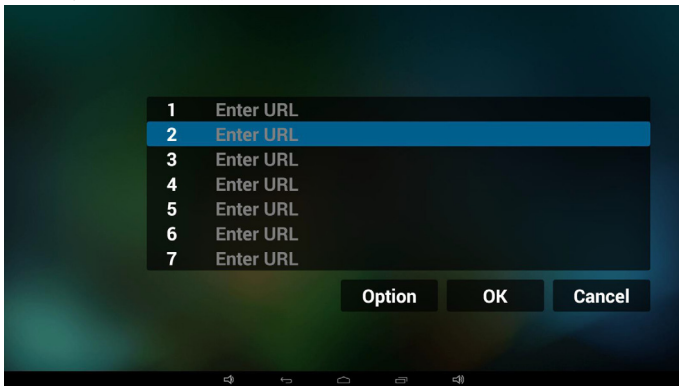
- 例: /storage/emulated/legacy/philips/photo/xxx.jpg
 /storage/emulated/legacy/philips/video/yyy.mp4
 /storage/emulated/legacy/philips/photo/zzz.mp3

4.5. ブラウザーマニュアル

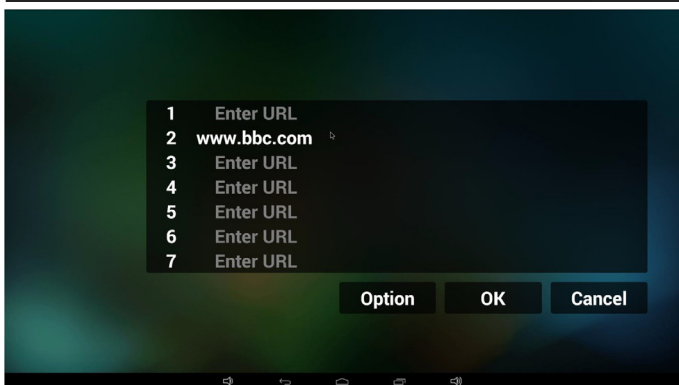
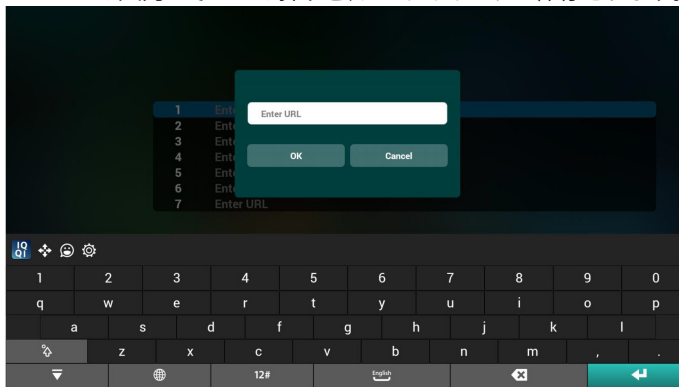
1. ブラウザーアプリのホームページです。このページには1つの項目:「Settings (設定)」があります。設定を押して次のページに入ります。



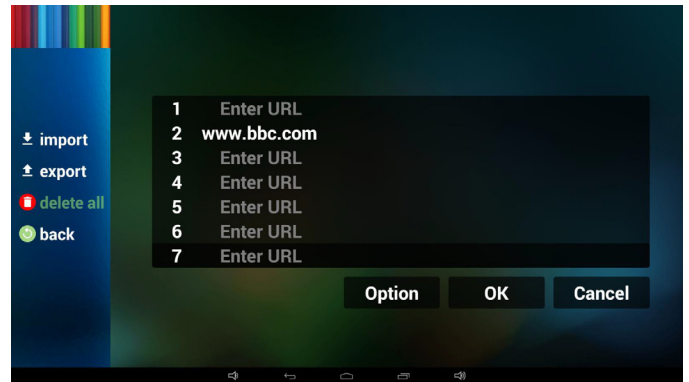
2. 1～7を選択できます。いずれか1つを押すとダイアログが表示されます。



3. URLを入力してOKを押すと、データがリストに保存されます。

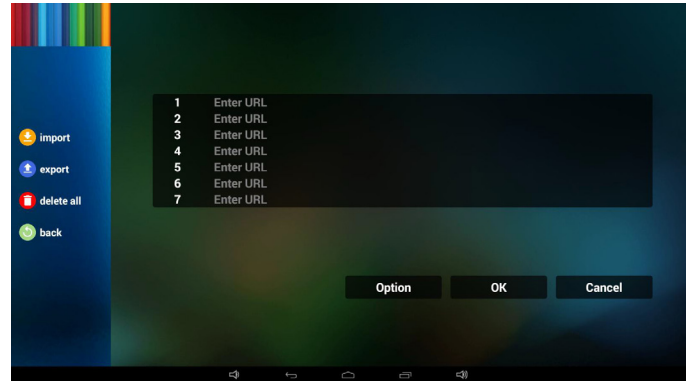


4. 「Option (オプション)」を押すと左側にポップアップリストが表示されます。
 Import (インポート): URL リストファイルをインポートします。
 Export (エクスポート): URL リストファイルをエクスポートします。
 Delete all (すべて削除): 右側にあるすべての URL 記録を削除します。
 Back (戻る): 左側のリストは閉じられます。

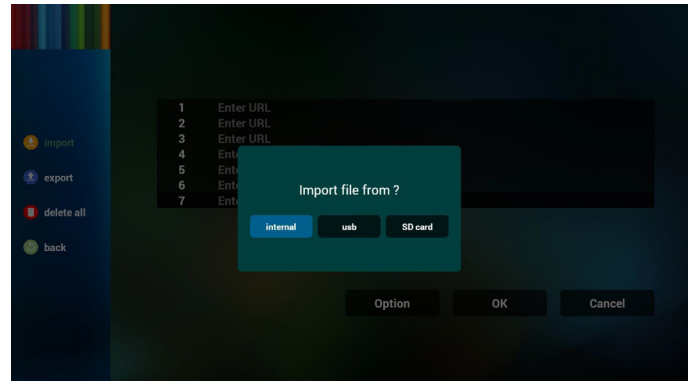


4.1 インポート

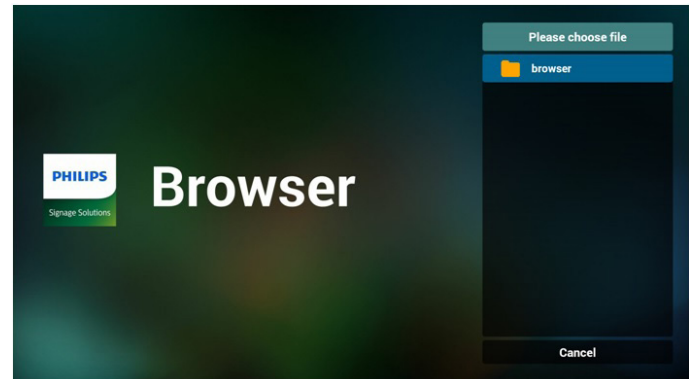
- ・ インポートをクリックします。



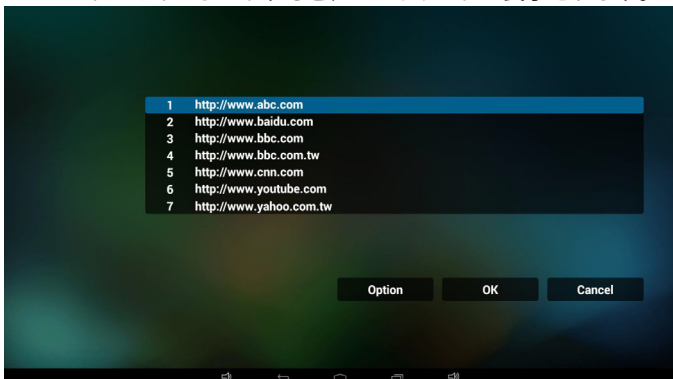
- ・ ストレージを選択します。



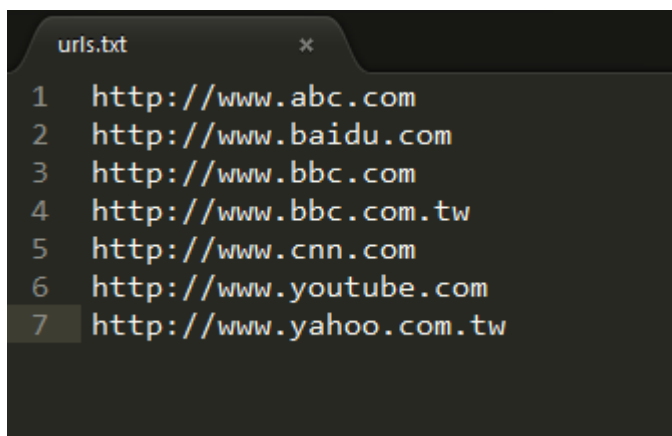
- ・ URL を含むファイルを選択します。



- ファイルをインポートすると、URL がリストに表示されます。

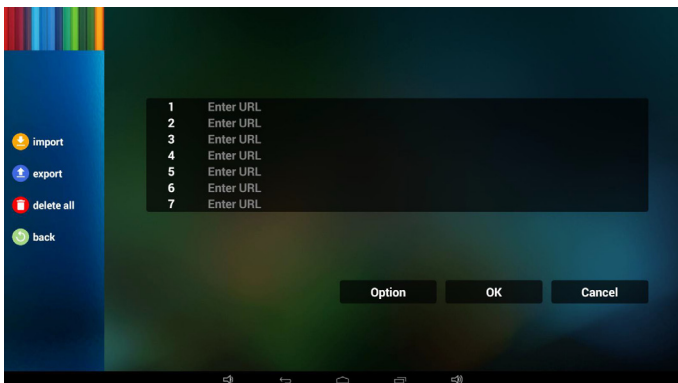


- インポートのファイル形式
形式は、ファイル拡張子が「txt」の以下のようにする必要があります

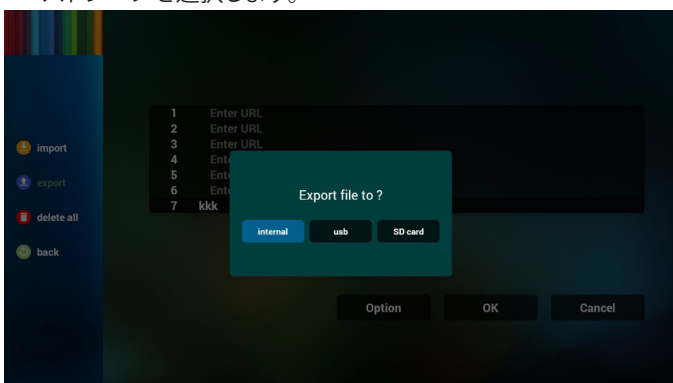


4.2 エクスポート:

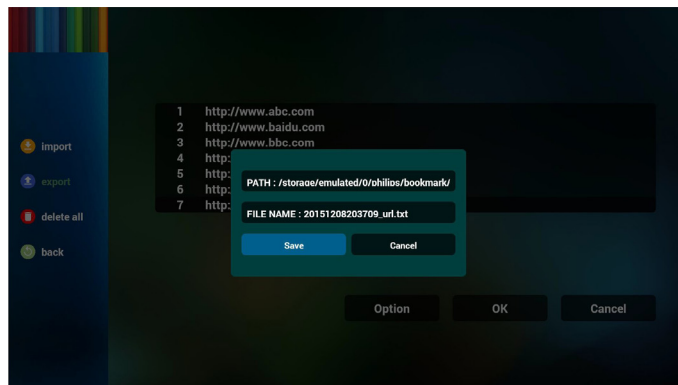
- エクスポートをクリックします。



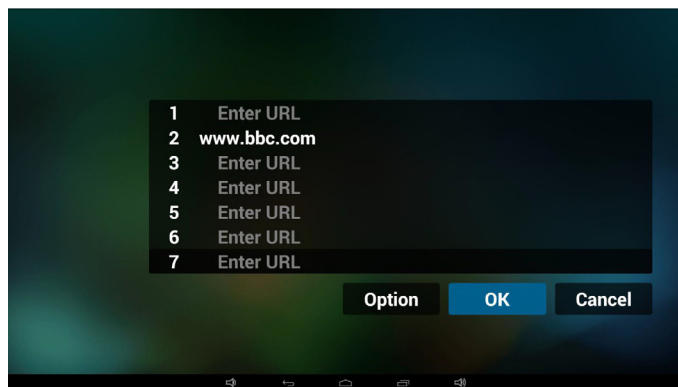
- ストレージを選択します。



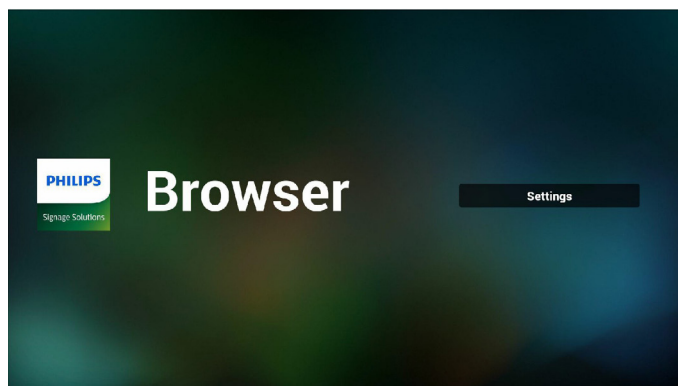
- ファイルが保存されるパスとファイル名が表示されます。「Save (保存)」ボタンを押すと、リストにある URL が保存されます。



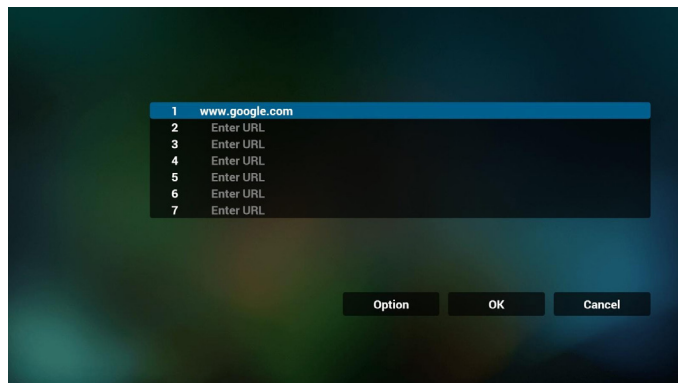
- OK を押すと、URL 記録が保存されます。

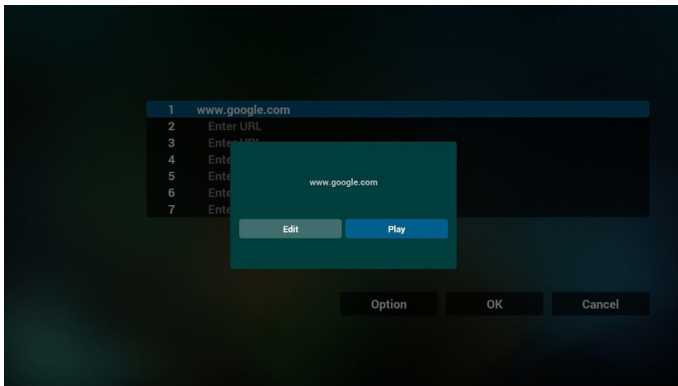


o



- URL リストページで空になっていない項目を選択すると、URL を編集するのか、それとも再生するのかを尋ねるメッセージが表示されます。「Edit (編集)」を押すと URL 編集ダイアログが表示され、「Play (再生)」を押すとその項目の URL にあるウェブページが表示されます。





7. OSDメニューでのブラウザの操作

7.1 ソース起動

- OSDメニュー => 詳細設定 1 => ソース起動 => 入力 ブラザー再生リストを 1 に設定します。再起動後にブラウザが表示されます。
- OSDメニュー => 詳細設定 1 => ソース起動 => 入力 ブラザー再生リストを 1 に設定します。ブラウザアプリに最初の URL にあるウェブページが表示されます。

7.2 スケジュール

OSDメニュー => Advanced option => スケジュール => オンタイム 1、オフタイム 2、入力はブラウザ、週の任意の日、およびプレイリストです。

最後に右のボックスにチェックを入れます。
time1 にブラウザアプリに URL のウェブページが表示され、time2 に終了します。

8. FTP を通して URL リストを編集する方法

ステップ 1、メディアプレーヤーテキストファイルを作成します。

- ファイル名: bookmarklist.txt。
- 内容:



ステップ 2、bookmarklist.txt を内部ストレージにある「philips」フォルダにコピーします。この際、FTP を利用することができます。

- ファイルパス: /storage/emulated/legacy/philips (DL、PL の場合)

例: /storage/emulated/legacy/philips/bookmarklist.txt

ステップ 3、ブラウザアプリを開始すると、ブラウザテキストファイルが自動的にインポートされます。

補足: プレイリストファイル(テキスト)をインポートした後に、リモコンを使ってユーザーがプレイリストを変更した場合、この変更はプレイリストテキストファイルには書き込まれません。

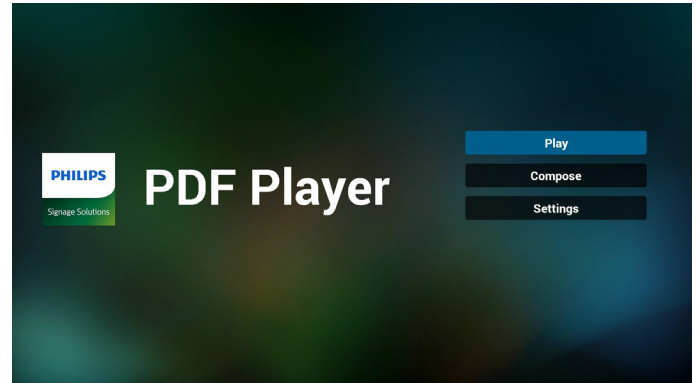
4.6. PDF Reader による再生

- PDF プレーヤーのホームページです。このページには 3 つの項目: 「Play (再生)」、「Compose (構成)」および「Settings (設定)」が表示されます。

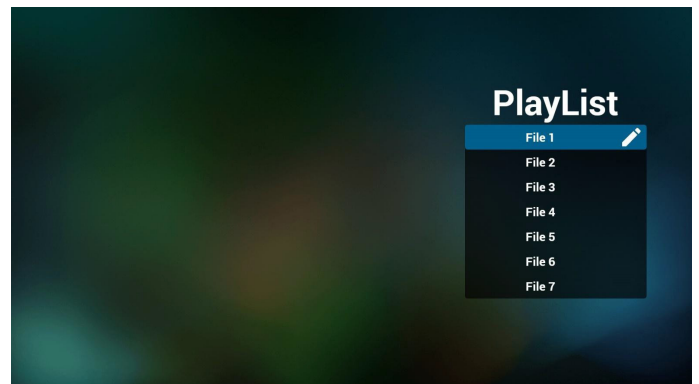
Play (再生): 再生するプレイリストを選択します。

Compose (構成): プレイリストを編集します。

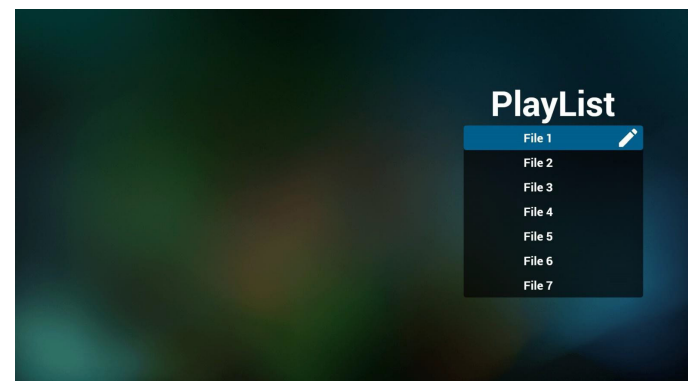
Settings (設定): 再生プロパティを設定します。



- ホームページで「Play (再生)」を選択します。最初に、ファイル 1 ~ ファイル 7 の中から再生するプレイリストを選びます。ペンシルアイコンはプレイリストが空でないことを示しています。



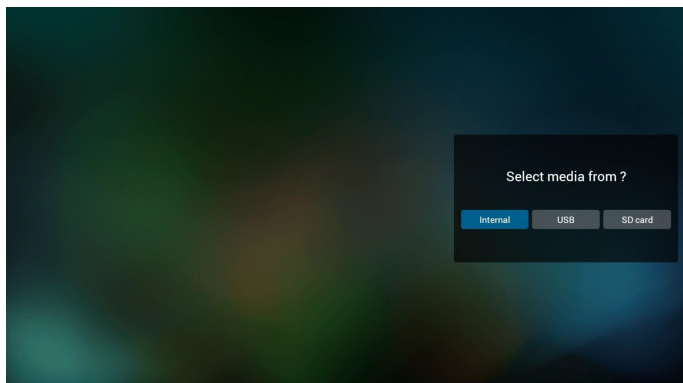
- ホームページで「Compose (構成)」を選択します。最初に、ファイル 1 ~ ファイル 7 の間から編集するプレイリストを選びます。ペンシルアイコンはプレイリストが空でないことを示しています。



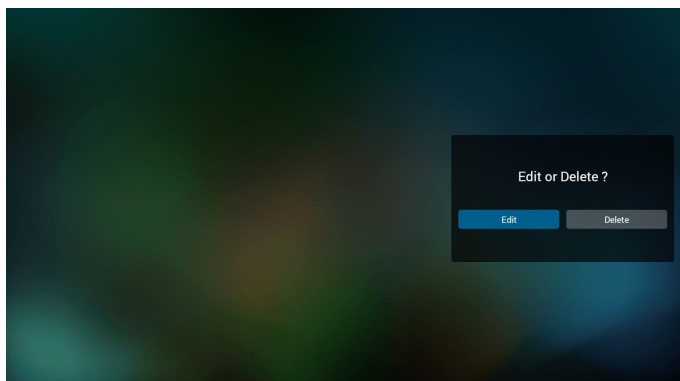
- 空のプレイリストを選択した場合、アプリからメディアソースを選択するように求められます。

すべてのメディアファイルは、ルートディレクトリにある / philips/ に入れてください。例:

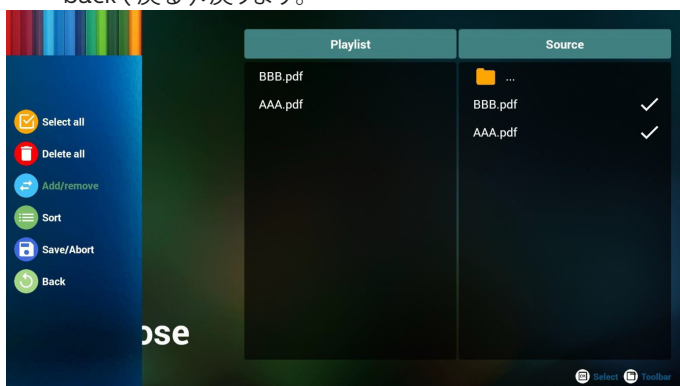
pdfs: { ストレージのルートディレクトリ }/philips/pdf/



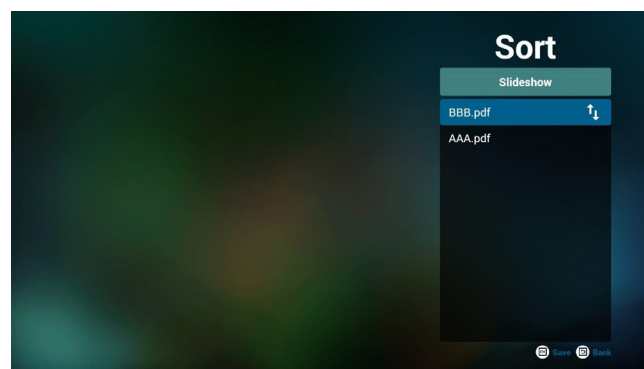
5. 空のプレイリストは編集または削除することができます。ペンシルアイコンの付いた必要なプレイリストを選択してください。



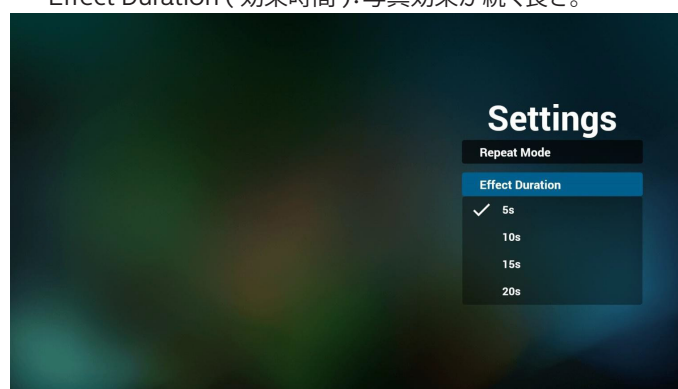
6. プレイリストを編集し始めると、以下の画面が表示されます。
- ソース – ストレージ内のファイル。
 - プレイリスト – プレイリスト内のファイル。
 - リモコンのキーにマッピングされているアイコンが 4 つあります。オプションキー – スライドバーを表示します。
 - 再生キー – メディアファイルを再生します。
 - 情報キー – メディア情報を表示します。
 - OK キー – ファイルを選択 / 非選択します。
 - 6-1. スライドバーでは、以下を実行できます：
 - select all (すべて選択): すべてのストレージファイルを選択します。
 - delete all (すべて削除): すべてのプレイリストファイルを削除します。
 - add/remove (追加 / 削除): ソースからのプレイリストを更新します。
 - sort (並び替え): プレイリストを並び替えます。
 - save/abort (保存 / 破棄): プレイリストを保存または破棄します。
 - back (戻る): 戻ります。



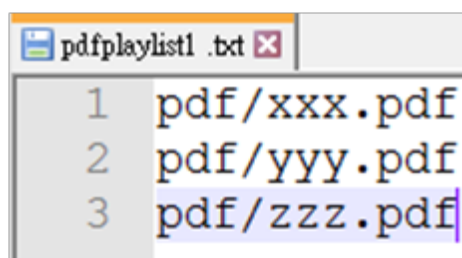
7. スライドバーで「Sort (並び替え)」を選択すると、ファイルの順番を1つずつ変更することができます。



8. ホームページで「Settings (設定)」を選択すると、このページは「Repeat Mode (繰り返しモード)」、「Effect Duration (効果時間)」の2つのパーツに別れています。
- Repeat Mode (繰り返しモード): 再生モード。
- Effect Duration (効果時間): 写真効果が続く長さ。



9. FTP を通じて PDF リストを編集する方法。
- ステップ 1、PDF プレーヤーテキストファイルを作成します。
- ファイル名: pdfplaylistX.txt。「X」がプレイリストの番号です (1、2、3、4、5、6、7)。
 - 例: pdfplaylist1.txt、pdfplaylist2.txt
 - 内容:



ステップ 2、pdfplaylistX.txt を内部ストレージにある「philips」フォルダにコピーします。この際、FTP を利用することができます。

- ファイルパス: /storage/emulated/legacy/philips (DL、PL の場合)
- 例: /storage/emulated/legacy/philips/pdfplaylist1.txt

ステップ 3、「philips」フォルダ内の「pdf」フォルダに PDF ファイルを準備します (内部ストレージのみ)。

- 例: /storage/emulated/legacy/philips/pdf/xxx.pdf
/storage/emulated/legacy/philips/pdf/yyy.pdf
/storage/emulated/legacy/philips/pdf/zzz.pdf

ステップ 4、PDF プレーヤーアプリを開始すると、PDF プレーヤーテキストファイルが自動的にインポートされます。

補足: プレイリストファイル (テキスト) をインポートした後に、リモコンを使ってユーザーがプレイリストを変更した場合、この変更はプレイリストテキストファイルには書き込まれません。

メディアホットキー:

再生: ファイルを再生します。

一時停止: ページを一時停止します。

早送り: 次のページに移動します。ファイルの最後のページの場合は、次のファイルに移動します。

巻き戻し: 前のページに戻ります。ファイルの最初のページの場合は、前のファイルに移動します。

停止: ファイルの最初のページに戻ります。

カラーホットキー:

青: ズームイン。(+10%)

黄: ズームアウト。(-10%)

OK: ズームを元に戻します

矢印キー:

上 / 下 / 左 / 右: ページを調節します。(ページにズームイン / アウトしている場合)

左: 前のページ。(ページにズームイン / アウトしていない場合)

右: 次のページ。(ページにズームイン / アウトしていない場合)

組み合わせキー:

数字キー + OK キー: 特定のページを選択して OK を押すと、ページが変更されます。

- 数字キーを押します。

- OK キーを押します。ページの下部にページ番号が表示されます。合計ページ数よりもページ番号が大きい場合、ページは変更されず、ページの下部に現在のページ番号が表示されます。

4.7. CMND & Play

1) Server (サーバー)

CMND & Play サーバーアドレスを設定します。

2) Account (アカウント)

CMND & Play アカウントを設定します。

3) PIN Code (PIN コード)

CMND & Play の PIN コードを設定します。

(4) Version (バージョン)

バージョン2およびバージョン3の2つのオプションがあります。

バージョン 2

2.0/2.2 同意書を使用

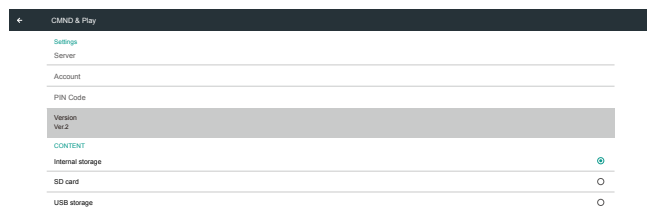
バージョン 3

3.0/3.1 同意書を使用

(5) Content (内容)

内部ストレージ /SD カード /USB ストレージの 3 つのオプションから選びます。

バージョン2の場合、Server (サーバー)/Account (アカウント)/PIN code (PIN コード) はグレー表示になり利用できません。



バージョン3の場合、Server (サーバー)/Account (アカウント)/PIN code (PIN コード) を利用できます。



4.8. Custom App (カスタムアプリ)

顧客ソース用のアプリケーションを設定できます。

注記:

- (1) ユーザーがインストールしたアプリのみが表示されます。
- (2) システムにプリインストールされたアプリは表示されません。

4.8.1. OSD メニューの操作:

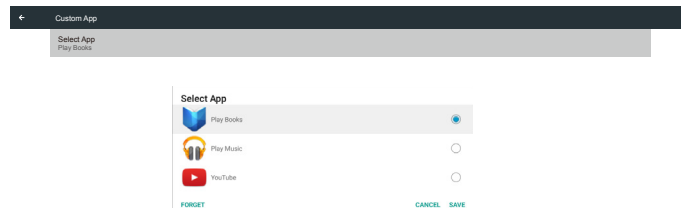
RCU: ソース -> カスタム

顧客 APK を設定した場合、ソースを顧客ソースに切り替えた時に顧客アプリが表示されます。

顧客 APK が設定されていない場合、ソースを顧客ソースに切り替えた時に黒い画面が表示されます。



4.8.2. 機能の説明



Save (保存)

アプリを選択して保存をクリックすると、保存機能が実行されます。

Forget (無視)

無視を押した後、以前に保存した情報を削除できます。

Cancel (キャンセル)

変更を行わずに直接ウィンドウが閉じられます。

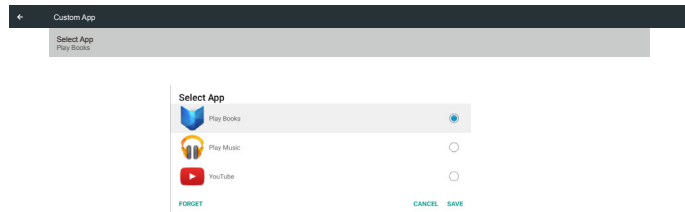
顧客が APK をインストールしていなければ、リストは空白になります。

リストは空白になり、「Save (保存)」「Forget (無視)」はグレー表示になり利用できません。



顧客が APK をインストールしていれば、リストから顧客がインストールした APK を選択できます。

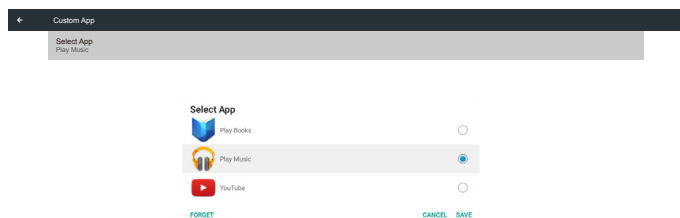
- ケース 1: カスタムアプリをセットアップしていないケース。
顧客アプリが表示され、最初の項目に自動的にフォーカスが当たります。



セットアップ後は、設定画面にアプリ名が表示されます。



- ケース 2: カスタムアプリをセットアップしているケース (アイコンの右側にラジオボタンがある場合)。

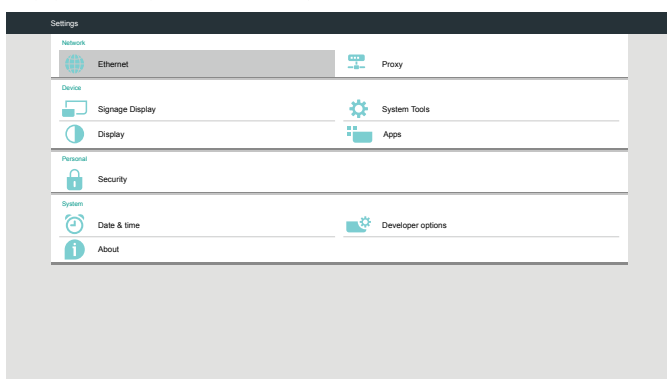


5. サイネージディスプレイ

5.1. Setting (設定)

メイン項目:

- (1) Wi-Fi (Wi-Fi ドングルを挿入した時に表示されます)
- (2) Ethernet (イーサネット)
- (3) Proxy (プロキシ)
- (4) Signage Display (サイネージディスプレイ)
- (5) System Tools (システムツール)
- (6) Display (ディスプレイ)
- (7) Apps (アプリ)
- (8) Security (セキュリティ)
- (9) Date & time (日付 / 時間)
- (10) Developer options (デベロッパーオプション)
- (11) About (製品について)



5.2. Wi-Fi

有効 / 無効を通して Wi-Fi のオン / オフを操作します。有効にすると、画面に利用可能なすべての Wi-Fi アクセスポイントが一覧で表示されます。

注記:

1. Wi-Fi がオンになっておりネットワークに繋がっている場合、イーサネットは自動的に無効になります。

6. Wi-Fi モジュールには特定のモデルが必要になります。アドバイスが必要な場合は、販売店またはサービス技術者にご相談ください。

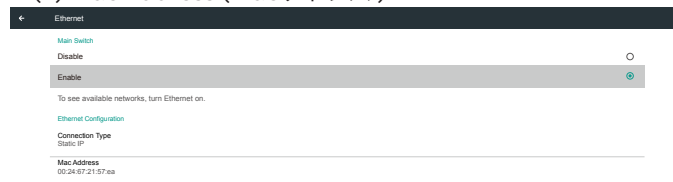


6.1. Ethernet (イーサネット)

有効 / 無効にして、イーサネットのオン / オフを切り替えます。

イーサネットを有効にすると、設定にいかがが表示されます:

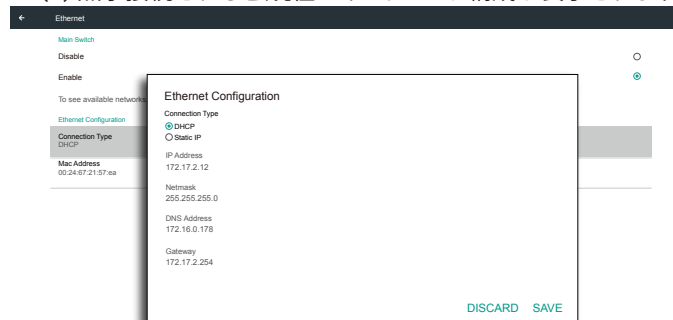
- (1) Connection Type (接続タイプ) (利用可能な接続タイプ: DHCP / 静的 IP)
 - A. DHCP
 - B. Static IP (静的 IP)
 - C. IP Address (IP アドレス)
 - D. Netmask (ネットマスク)
 - E. DNS Address (DNS アドレス)
 - F. Gateway (ゲートウェイ)
- (2) Mac Address (Mac アドレス)



6.1.1. DHCP

DHCP モード:

- (1) IP アドレス、ネットマスク、DNS アドレス、ゲートウェイは変更できません。
- (2) 無事接続されると、現在のネットワーク構成が表示されます。



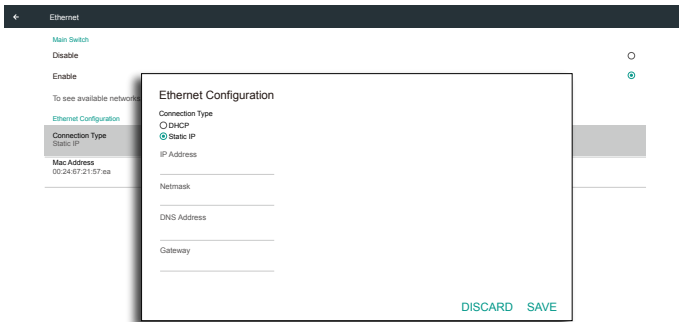
6.1.2. Static IP (静的 IP)

静的 IP モードでは、IP アドレス、ネットマスク、DNS アドレス、ゲートウェイを入力することができます。

注記:

IP アドレス、ネットマスク、DNS アドレス、ゲートウェイアドレスにおける入力制限

- (1) 形式:
 - I. 数字 0-9
 - II. 小数点の「.」



6.2. Proxy (プロキシ)

ブラウザがプロキシサーバーに接続し、プロキシサーバーにインターネット上の Web サイトに接続するように要求します。有効 / 無効にして、プロキシサーバーのオン / オフを切り替えます。

- 「Enable (有効)」をクリックしてプロキシ機能を「ON (オン)」に切り替えます
- 「Proxy hostname (プロキシホスト名)」を入力します。(プロキシサーバーの IP アドレス)
- 「Proxy port (プロキシポート)」を入力します。(プロキシサーバーのポート番号)
- 「Type (タイプ)」を選択します。(プロキシサーバーのタイプ。)
- 完了です。
 - プロキシサーバーに接続するための認証が必要な場合は、認証を「オン」にして、ユーザー名とパスワードを入力してください。
 - プロキシサーバーが接続に認証を必要としない場合。



注記:

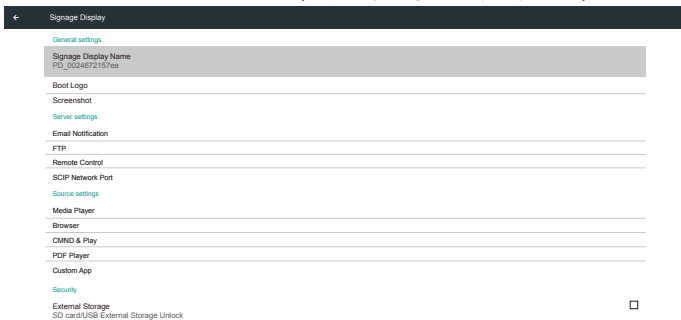
- HTTP、HTTPS、SOCKS4、SOCKS5 のプロキシタイプがサポートされています。
- TCP ポート 80,443 および 5228 を使用したプロキシサーバー経由の接続のみをサポートします。
- Windows Server Series での認証付きプロキシサーバーはサポートされていません。

6.3. Signage Display (サイネージディスプレイ)

4 つのグループに分かれています: General Settings (一般設定) / Server Settings (サーバー設定) / Source Settings (ソース設定) / Security (セキュリティ)

- (1) General Settings (一般設定)
 - A. Signage Display Name (サイネージディスプレイ名)
 - B. Boot Logo (ブートロゴ表示)
 - C. Screenshot (スクリーンショット)
- (2) Server Settings (サーバー設定)
 - A. Email Notification (電子メール通知)
 - B. FTP
 - C. Remote Control (リモコン)
 - D. SICP Network Port (SICP ネットワークポート)
- (3) Source Settings (ソース設定)
 - A. Media Player (メディアプレーヤー)
 - B. Browser (ブラウザ)
 - C. CMND & Play
 - D. PDF Player (PDF プレーヤー)
 - E. Custom app (カスタムアプリ)
- (4) Security (セキュリティ)
 - A. External Storage (外部ストレージ)
- (5) Other (その他)

- A. TeamViewer Support (TeamViewer への対応)
 B. Platform Web API (プラットフォームウェブ API)



6.3.1. General Settings (一般設定)

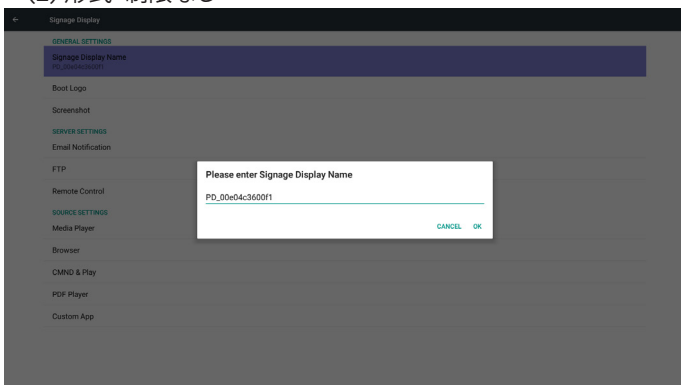
1. Signage Display Name (サインページディスプレイ名)

PD 名を設定します「PD_」+ イーサネット Mac アドレス。

注記:

入力制限:

- (1) 長さ: 最大 36 文字
- (2) 形式: 制限なし



2. Boot Logo (ブートロゴ表示)

- 1) Scalar OSD メニューが Android ブートロゴ表示の有効 / 無効を操作します。

Scalar OSD メニューの操作

RCU: ホーム -> 詳細設定 2 -> ログ表示 -> オン / オフ / ユーザー

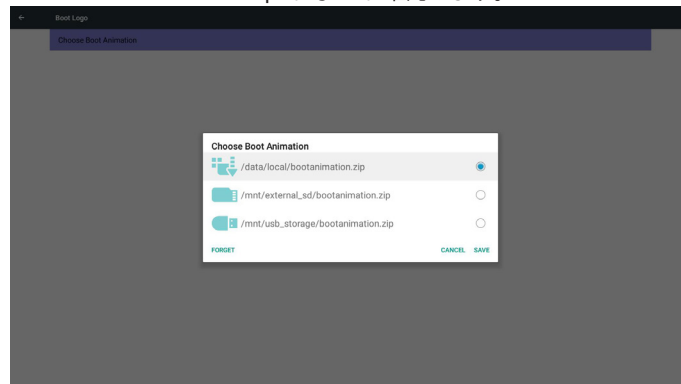
ユーザーモードでは、オリジナルのブートロゴ表示用アニメーションファイルを選択できます。

注記:

- (1) ブートアニメーションファイル名: bootanimation.zip
- (2) USB と SD カードを選択できるウィンドウが表示されます。優先上の問題はありません。



- 2) ブートロゴ表示を選択すると、PD は USB および SD カードに bootanimation.zip がないか確認します。



機能の説明:

- a. Option description (オプションの説明)

/data/local

SD カードまたは USB からコピーされた、カスタマイズされたブートアニメーションファイルを使用します

/mnt/external_sd

SD カードのブートアニメーションファイルを使用します。

/mnt/usb_storage

USB のブートアニメーションファイルを使用します。

- b. Save (保存)

保存キーを押すと SD カードまたは USB にある bootanimzation.zip ファイルが /data/local に保存され、ブートロゴ表示として設定されます。

- c. Forget (無視)

無視キーを押すと /data/local にある bootanimation.zip が削除され、ブートロゴが表示されません。

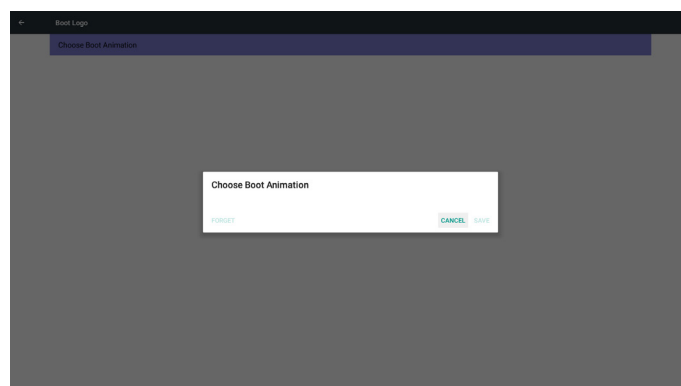
- d. Cancel (キャンセル)

変更せずにダイアログを閉じます。

シナリオ説明:

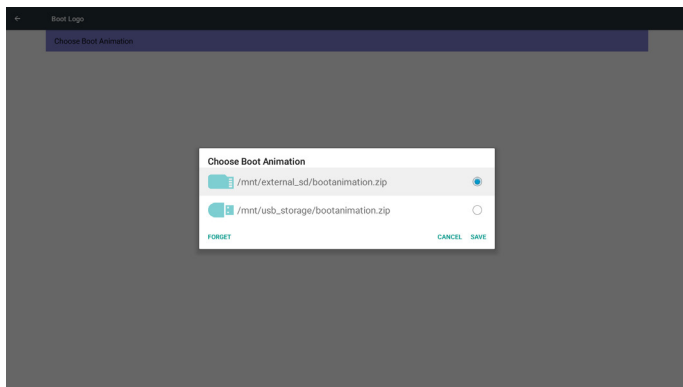
ケース 1

ユーザーがカスタマイズされたブートロゴ表示を選択しない場合、SD および USB で bootanimation.zip ファイルが見つかりません。リストは空白になります。保存および無視ボタンはグレー表示になり利用できません。



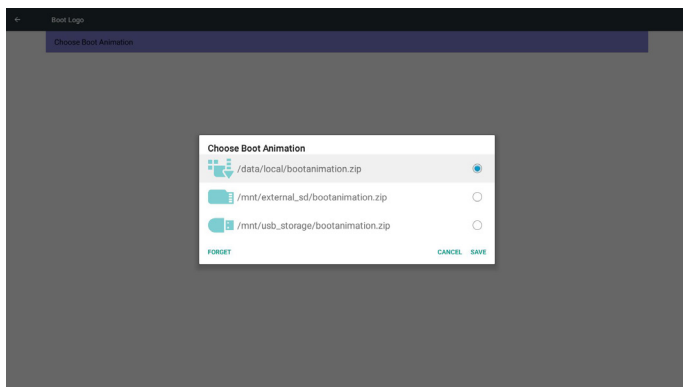
ケース 2

ユーザーがカスタマイズされたブートロゴ表示を選択しない場合、SD および USB で bootanimation.zip ファイルが見つかりました。画面に bootanimation.zip が表示され、最初のファイルが自動的に選択されます。



ケース 3

ユーザーがカスタマイズされたブートロゴ表示を選択し、画面に /data/local/bootanimation.zip が表示される場合。



3) OSD メニューロゴ項目がオンまたはオフになっている場合、Android 設定でブートアニメーションを選択することはできません。



3. Screenshot (スクリーンショット)

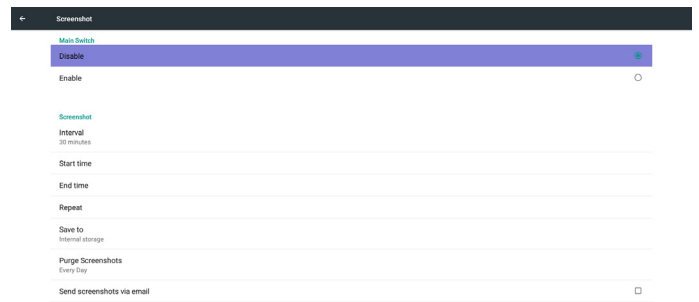
有効 / 無効を通してスクリーンショットのオン / オフを操作します。有効にした後は、スクリーンショットのタイムスロットと保存パスを設定できます。

注記：

削除のタイムスロットとスクリーンショット：

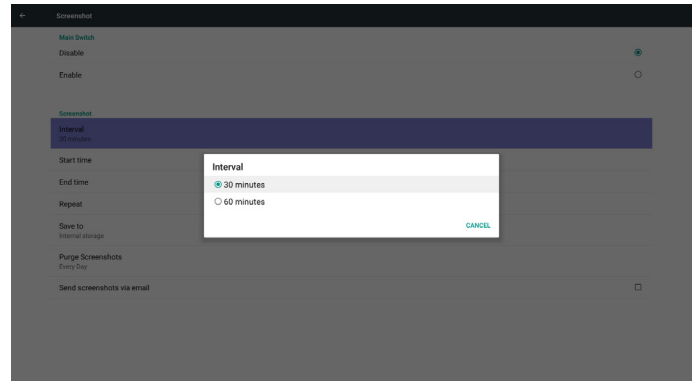
- (1) 最初の時間 0 秒で、画像が削除されます。
- (2) 最初の 40 秒でスクリーンショットを撮ります。
- (3) メディアプレーヤー、ブラウザー、CMND & Play、PDF Reader、カスタムソースがサポートされます。

(4) スクリーンショットにはビデオコンテンツは含まれません



1) Interval (間隔)

間隔の長さを設定します。30 分または 60 分。

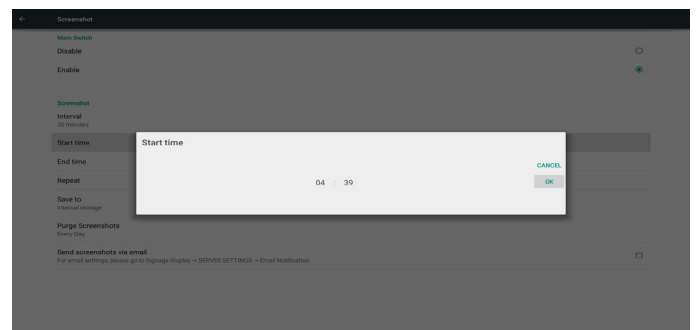


2) Start Time (開始時刻)

スクリーンショットの開始時間を設定します。

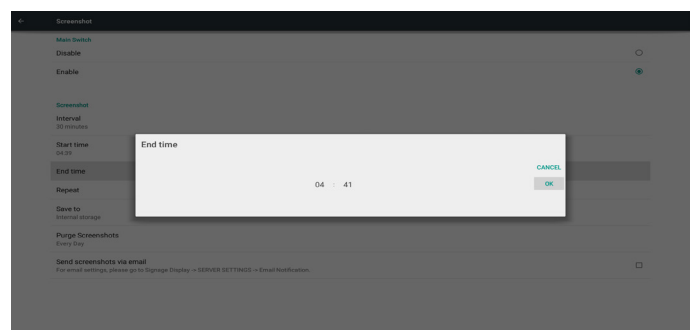
注記：

- (1) 開始時間が設定されていない場合、画面には自動的に現在の時刻が表示されます。
- (2) 戻るキーを押して、セットアップ用ダイアログを終了します
- (3) 開始時間を終了時間よりも遅くすることはできません。エラーが表示されます。



3) End Time (終了時間)

スクリーンショットの終了時間を設定します。

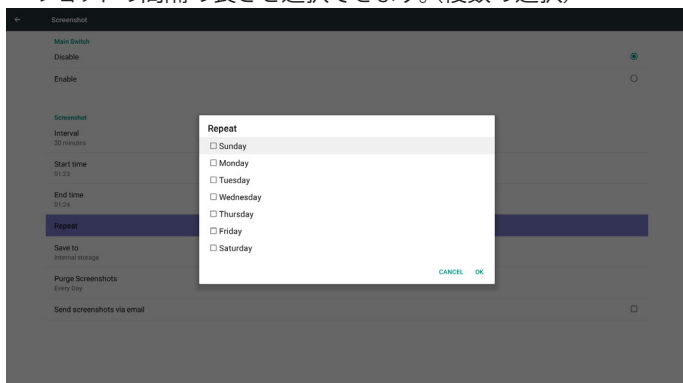


注記：

- (1) 終了時間が設定されていない場合、画面には自動的に現在の時刻が表示されます。
- (2) 開始時間を終了時間よりも遅くすることはできません。エラーが表示されます。

4) Repeat (リピート)

スクリーンショットのリピートサイクルを設定します。スクリーンショットの間隔の長さを選択できます。(複数の選択)



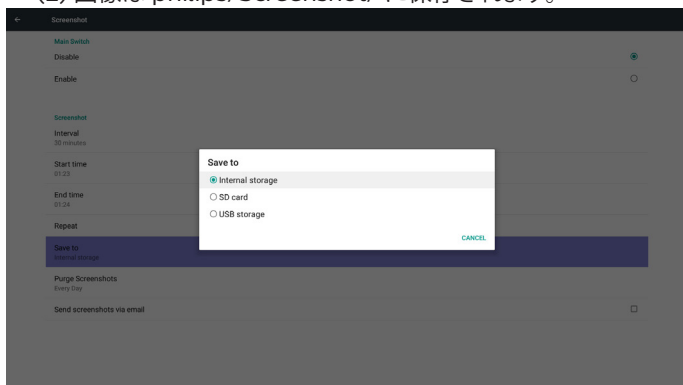
5) Save to (保存先)

スクリーンショットの保存パスを設定します。内部ストレージ、SDカードまたはUSBストレージ)

注記：

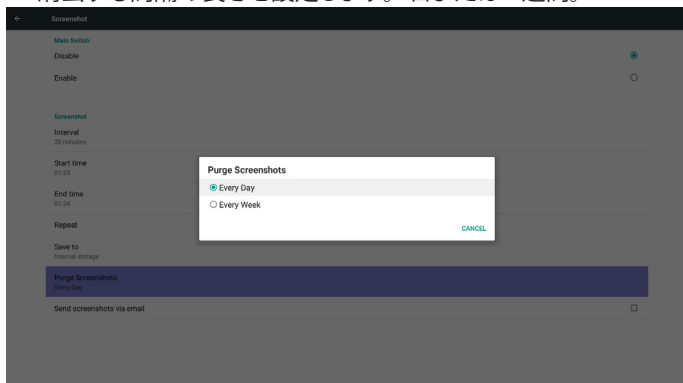
画像保存パス

- (1) 内部ストレージ / USBストレージ / SDカードのルートで、PDは自動的にフォルダを作成します。
- (2) 画像は philips/Screenshot/ に保存されます。



6) Purge Screenshots (スクリーンショットの消去)

消去する間隔の長さを設定します。1日または1週間。



(7) Send screenshots via email (スクリーンショットを電子メールで送信します。)

この項目にチェックを入れると、管理者の電子メールにスクリーンショットが送信されます。

電子メール通知を参照してください。

注記：

メール設定が完了していることを確認してください。

6.3.2. Server Settings (サーバー設定)

1. Email Notification (電子メール通知)

有効 / 無効を通して電子メールのオン / オフを操作します。有効にすると、電子メール通知を設定することができます。



1) SMTP

SMTP構成を設定します。

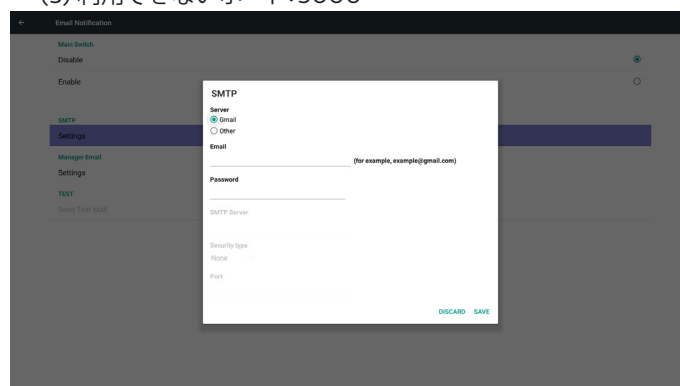
Gmailアカウントまたはその他のメールアカウントを設定できます。

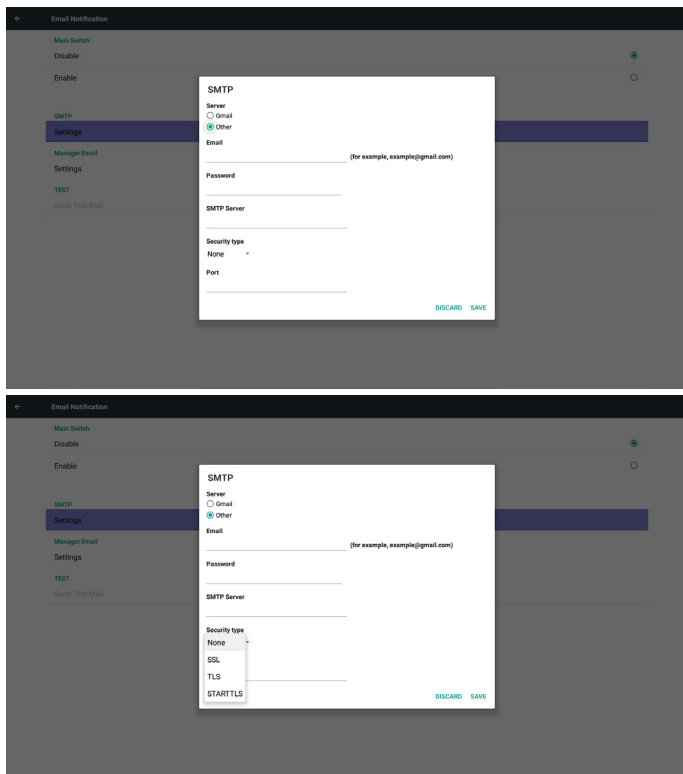
他のメールアカウントを選択して、SMTPサーバー、セキュリティタイプ、およびポート項目を設定できます。

注記

パスワードの入力制限

- (1) 長さ: 6-20文字
- (2) 形式: 制限なし
- (3) 利用できないポート: 5000



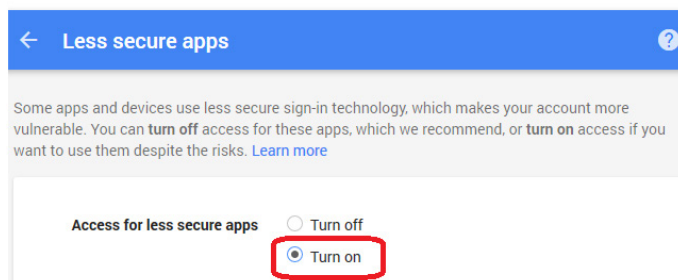


Gmail の安全設定

設定を完了した後に Gmail が動作しない場合、PC から次のリンクにアクセスし、Gmail アカウントをテストしてください。

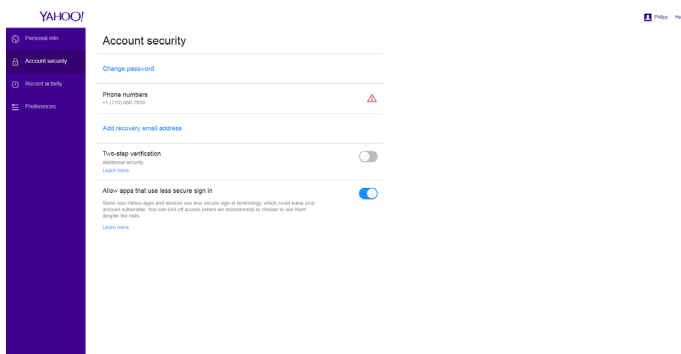
<https://www.google.com/settings/security/lesssecureapps>

「Access for less secure apps (安全性の低いアプリの許可)」を「Turn on (オンにする)」項目が選択されているか確認してください。

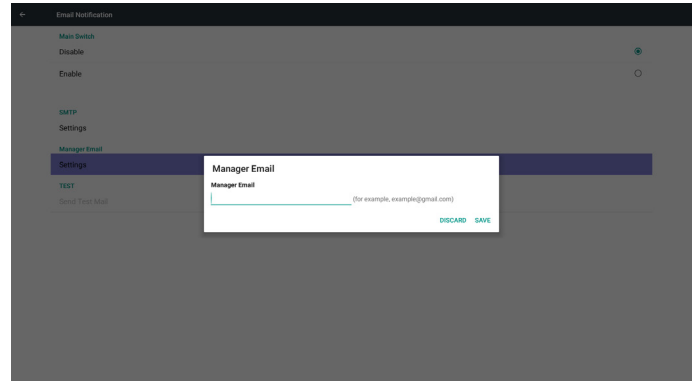


Yahoo メールのセキュリティ設定

設定を完了した後に Yahoo メールが動作しない場合、「Allow apps that use less secure sign in (安全性の低いアプリの許可)」項目が有効になっているか確認してください。



2) Manager Email (マネージャーの電子メール) Email (電子メール) 受信する側のメールアカウントを設定します。



3) Test (テスト)

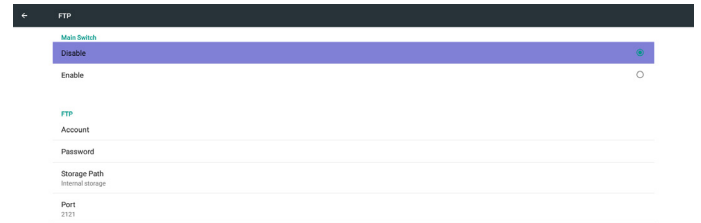
テストメールを送信します。

Gmail アカウントの受送信機能をテストするためのものです。注記

(1) 電子メールが無効になっている場合、「テストメール送信ボタン」ボタンはグレー表示になります。

2. FTP

有効 / 無効を通して FTP のオン / オフを操作します。設定後、FTP ファイルを共有できるようになります。



1) Account (アカウント)

FTP アカウントを設定します。

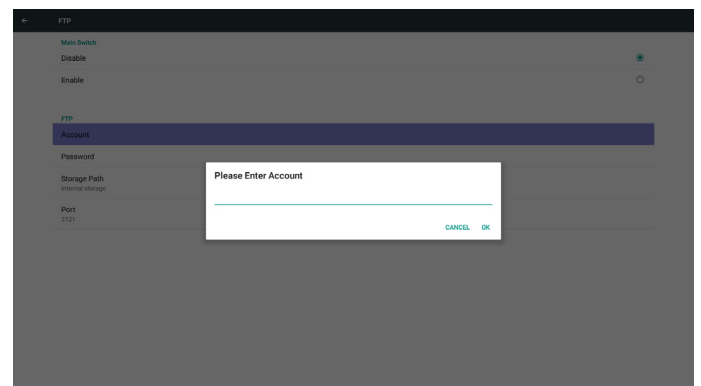
注記:

入力制限

(1) 長さ: 4-20 文字

(2) 形式:

- I. 英字 a-z および A-Z
- II. 数字 0-9



2) Password (パスワード)

FTP のパスワードを設定します。

注記:

入力制限

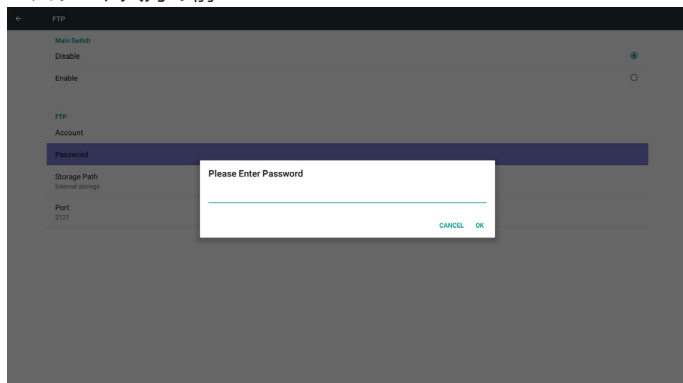
- (1) 長さ:6-20 文字
- (2) 形式:
 - I. 英字 a-z および A-Z
 - II. 数字 0-9

FTP パスワードの表示

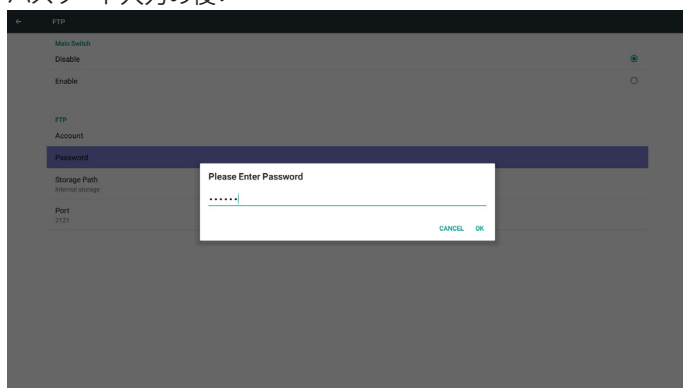
(1) リモコンを通してパスワードを設定する場合、パスワードの代わりに「*」記号が表示されます。

(2) 設定後は、パスワードは「*」記号で表示されます。

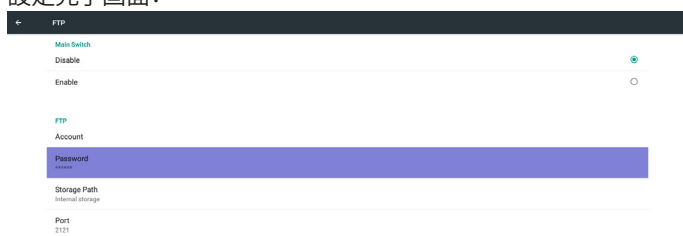
パスワード入力の前:



パスワード入力の後:



設定完了画面:

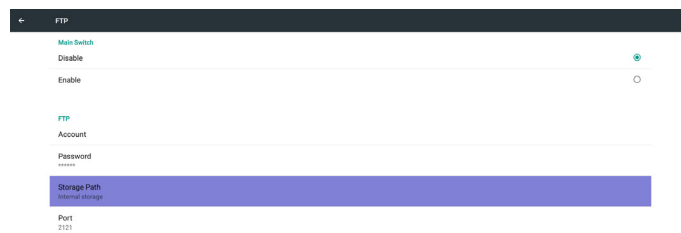


3) Storage Path (ストレージパス)

デフォルトパス:内部ストレージが表示されます。

注記:

内部ストレージが表示されるのみで変更はできません(パスを表示するのみ)。



4) リモコンサーバーから非バインドステータスがフィードバックされた場合、サーバーがバインドされていないと表示されます。

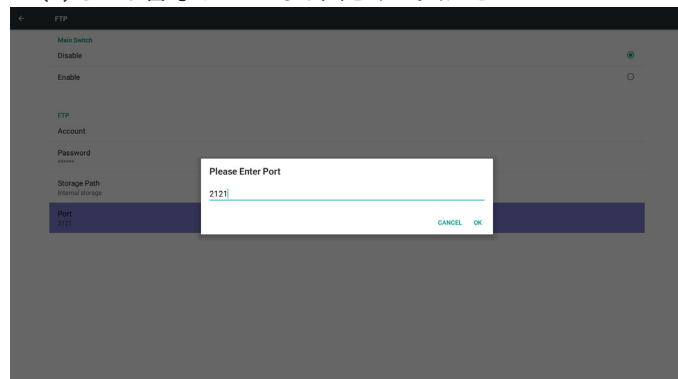
5) ポート

FTP のポート番号を設定します。デフォルト:2121

注記:

入力制限

- (1) 長さ:最大 5 文字
- (2) 範囲:1024 - 65535
- (3) 形式:数字 0-9
- (4) 利用できないポート:5000
- (5) ポート番号は 1024 より大きくしてください



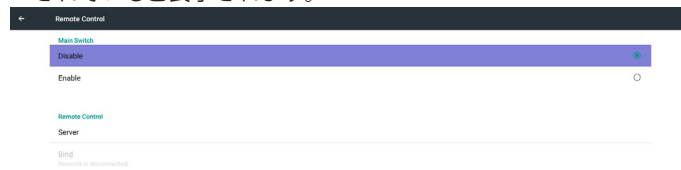
3. Remote Control (リモコン)

有効 / 無効を通してリモコンのオン / オフを操作します。

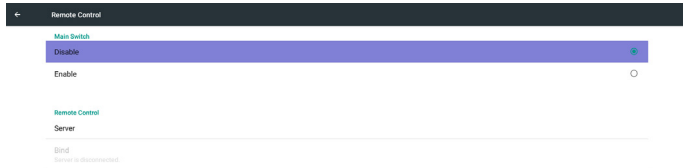
サーバーアドレスを入力できます。サーバーが登録されていない場合、PIN コードの入力を求められます。

バインドステータス:

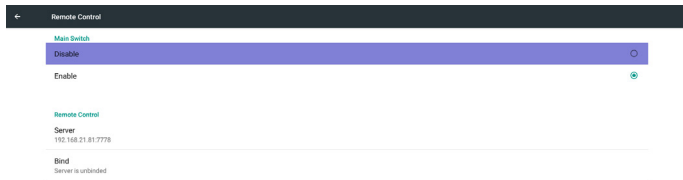
- (1) ネットワークにまだ接続していない場合、ネットワークが切断されていると表示されます。



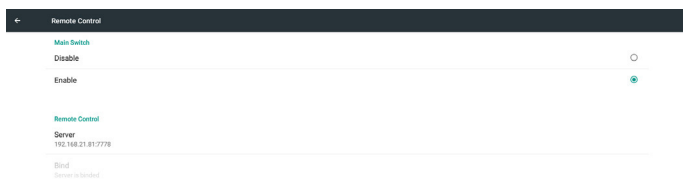
(2) ネットワークに接続されているが、リモコンサーバーが切断されている場合、サーバーが切断されていると表示されます。



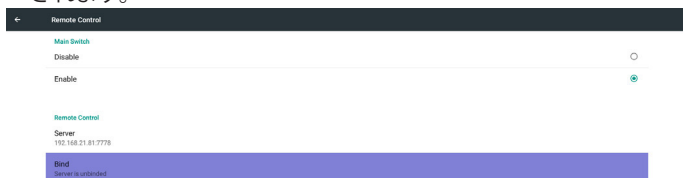
(3) リモコンサーバーから非バインドステータスがフィードバックされた場合、サーバーがバインドされていないと表示されます。



(4) サーバーがバインドすると、サーバーがバインドされていると表示されます。



(5) 無効な PIN コードを入力した場合、エラー PIN コードと表示されます。



Enter PIN code

4.SICP Network Port (SICP ネットワークポート)

SICP ネットワークポートを変更します。

注記:

1. 範囲:1025-65535
2. 利用できないポート:8000 / 9988 / 15220 / 28123 / 28124

6.3.3. Source Settings (ソース設定)

6.3.4. Source Settings (ソース設定)

1. メディアプレーヤー (4.4. メディアプレーヤーのご紹介の説明を参照してください)
2. ブラウザー(4.5. ブラウザーマニュアルの説明を参照してください)
3. CMND & Play(4.7. CMND & Play の説明を参照してください)
4. PDF プレーヤー(4.6. PDF Reader による再生の説明を参照してください)

カスタムアプリ (4.8. Custom App (カスタムアプリ) の説明を参照してください)

6.3.5. Security (セキュリティ)

1. External Storage (外部ストレージ)

Enable (有効): SD カード /USB 外部ストレージ ロック。

Disable (無効): SD カード /USB 外部ストレージ ロック解除。

注記:

外部ストレージのロックを解除した後、SD カード /USB 外部ストレージをもう一度挿入する必要があります。

6.3.6. Other (その他)

- (1) TeamViewer Support (TeamViewer への対応)

TeamViewer への対応を有効 / 無効にします。

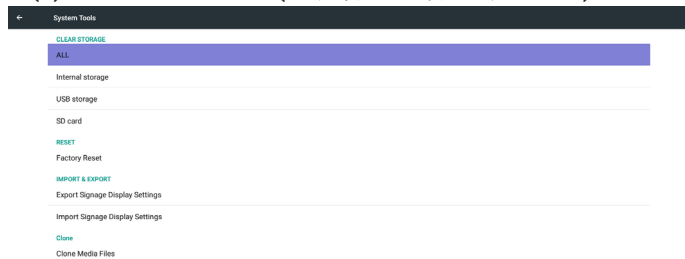
- (2) Platform Web API (プラットフォームウェブ API)

プラットフォームウェブ API を有効 / 無効にします。

6.4. System tools (システムツール)

システムツールの主な 4 つの機能:

- (1) Clear Storage (ストレージの消去)
- (2) Factory Reset (オールリセット)
- (3) Import & Export (インポートおよびエクスポート)
- (4) Clone Media Files (メディアファイルのクローン)



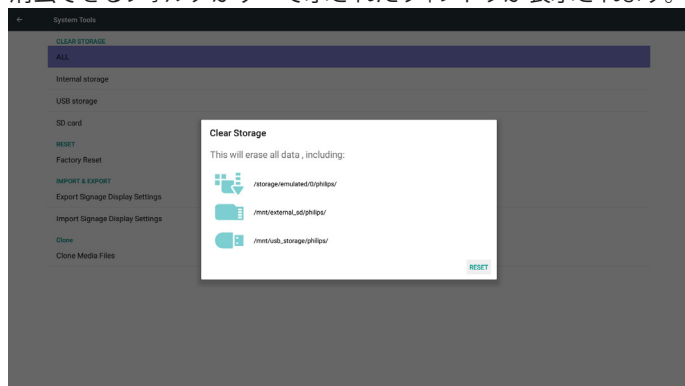
6.4.1. Clear Storage (ストレージの消去)

Philips フォルダ内のすべてのデータを消去するためのものです。

4 つのモードに分かれています:

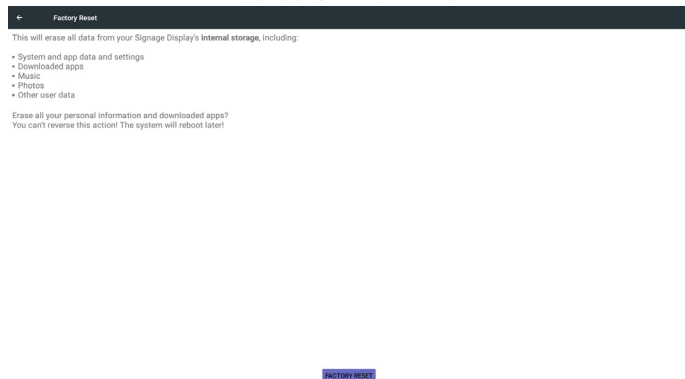
- (1) すべての Philips フォルダを消去。
- (2) 内部ストレージにある Philips フォルダを消去。
- (3) USB ストレージにある Philips フォルダを消去。
- (4) SD カードにある Philips フォルダを消去。

消去できるフォルダがすべて示されたウィンドウが表示されます。

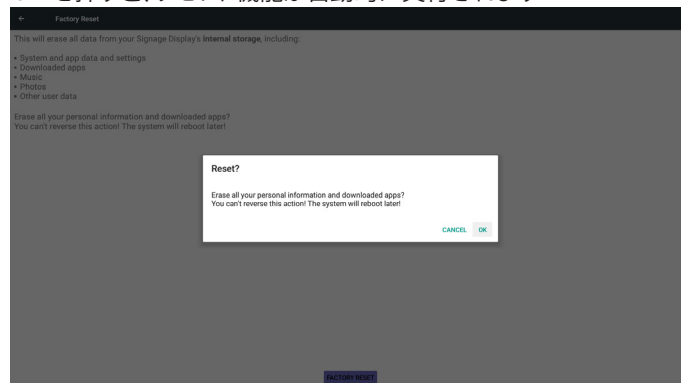


6.4.2. Factory Reset (オールリセット)

オールリセットでは工場出荷時の設定を回復できます。



OK を押すと、リセット機能が自動的に実行されます。



6.4.3. Import & Export (インポートおよびエクスポート)

PD のインポートおよびエクスポート機能の設定。

注記:

- (1) Settings.db (保存されるファイル名: settings.db)
- (2) ストレージの Philips フォルダに保存されます。

6.4.3.1. サイネージディスプレイ設定のエクスポート

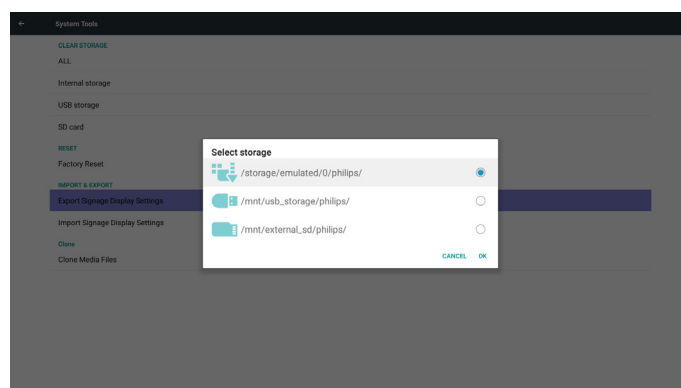
USB または SD カードにある Philips フォルダにエクスポートします

- (1) settings.db. のエクスポート OSD 設定、Android 設定を含みますが、「Signage Display Name(サイネージディスプレイ名)」と「Boot Logo(ブートロゴ表示)」を含みません
- (2) サードパーティ APK を Philips/app/ にエクスポート

注記:

USB または SD カードに Philips フォルダが存在しない場合は自動的に作成します。

利用可能なすべてのストレージを表示します (内部 /SD/USB)。

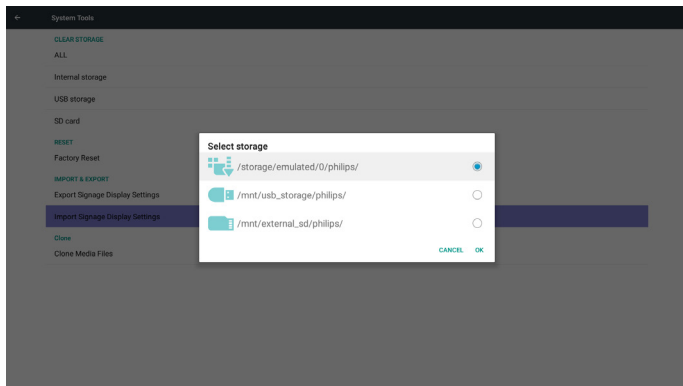


6.4.3.2. サイネージディスプレイ設定のインポート

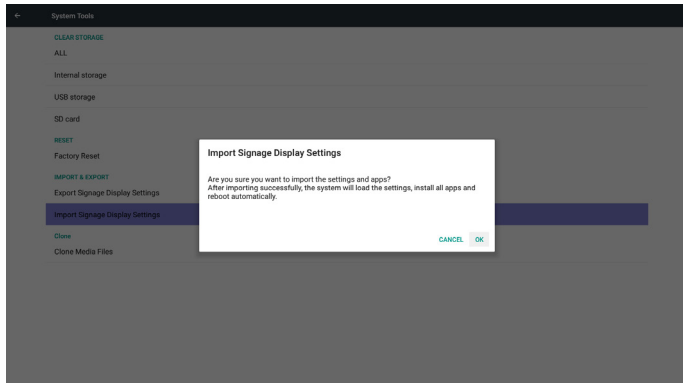
USB または SD カードにある Philips フォルダから settings.db をインポートします。

- (1) settings.db. のインポート OSD 設定、Android 設定を含みますが、「Signage Display Name(サイネージディスプレイ名)」と「Boot Logo(ブートロゴ表示)」を含みません
- (2) Philips/app/ から サードパーティ APK を自動的にインストール

利用可能なすべてのストレージを表示します (内部 /SD/USB)。



データベースをインポートする前に、通知ダイアログが表示されません。



6.5. Clone Media File (メディアファイルのクローン)

内部、SD または USB にある Philips フォルダからメディアファイルをクローンします。

1. Philips フォルダ内にあるクローンされるフォルダ名

- (1) philips/photo
- (2) philips/music
- (3) philips/video
- (4) philips/cms
- (5) philips/pdf
- (6) philips/browser

2. クローンされたファイルの拡張子は「.cms」です)

クローン元

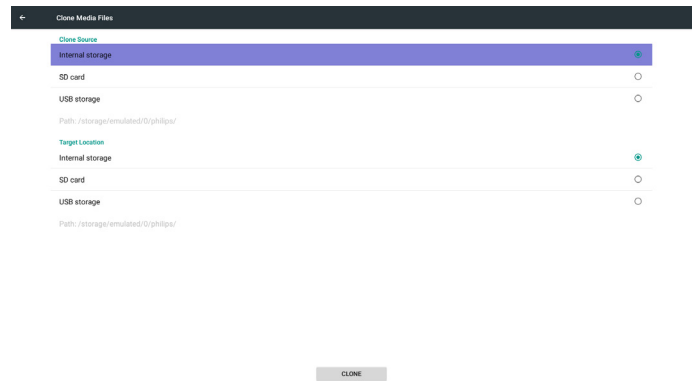
- (1) 内部ストレージ
 - (a) FTP を確認
 - (b) /Philips/ を確認

(2) SD / USB

ルート下にあるファイル

ターゲットロケーション

- (1) 内部ストレージ
/Philips/ に保存
- (2) SD / USB
ルートに保存



6.6. Display (ディスプレイ)

フォントサイズを変更できます。次から選択できます: 小 / ノーマル / 大 / 特大



6.7. Apps (アプリケーション)

アプリケーション情報を表示します。

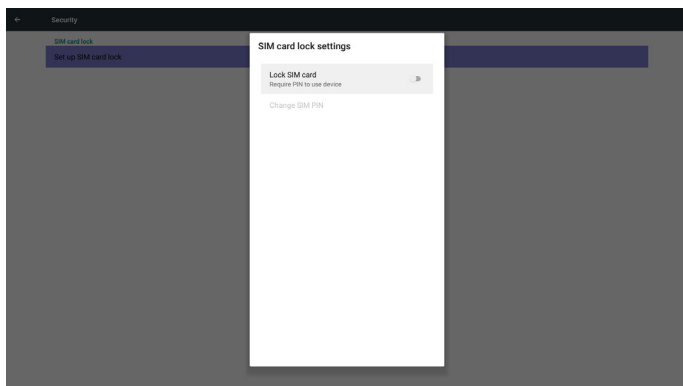
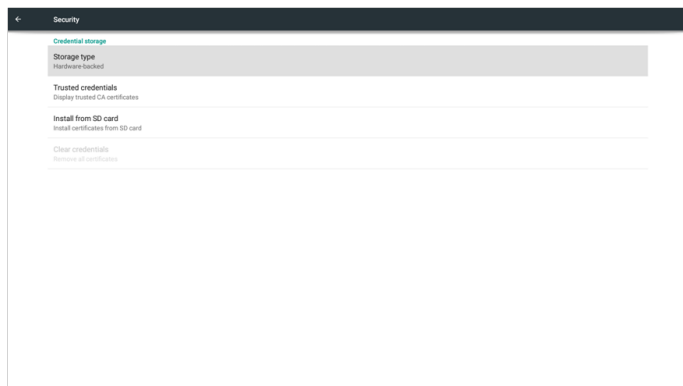
注記

- (1) RCU にあるユーザーオプションキーは設定オプションを表示します。



6.8. Security (セキュリティ)

- (1) 認証情報ストレージ
認証情報のコントロールパネル。



6.9. Date & time (日付 / 時間)

Scalar OSD メニューから自動時間オン / オフを操作します。

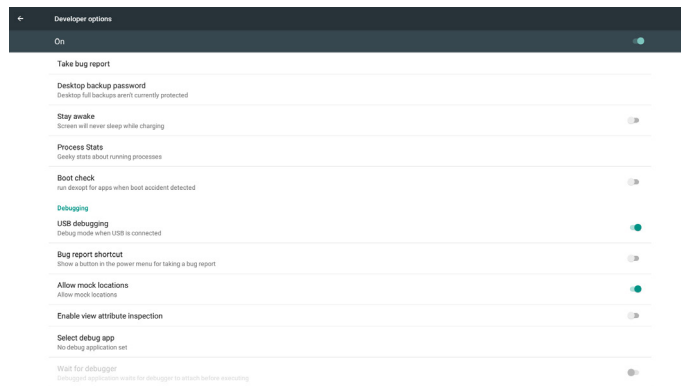
注記：

新しい NTP サーバーを追加して、現在のサーバー IP を表示します。



6.10. Developer options (デベロッパーオプション)

Android デベロッパーオプション。詳細は <https://developer.android.com/index.html> を参照してください。



6.11. About (製品について)

製品についてにある主な情報：

- (1) System updates (システムアップデート)
- (2) Android version (Android バージョン)
- (3) Kernel version (カーネルバージョン)
- (4) Build number (ビルド番号)



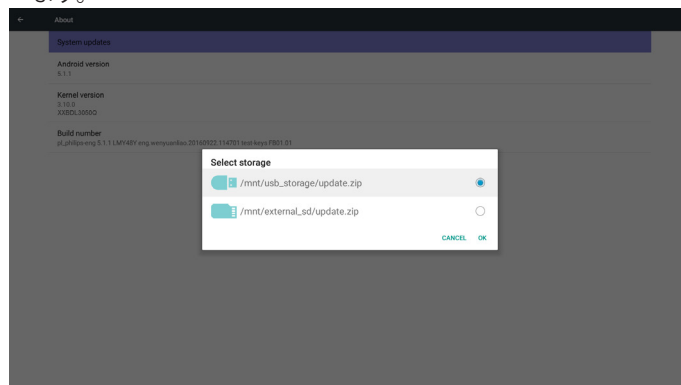
6.11.1. System updates (システムアップデート)

USB にある update.zip を自動検索します。

ファイルが見つかった場合、ユーザーが選択できるようにリストに表示します

注記：

- (1) Android フルイメージのみに対応。
- (2) ファイル名は update.zip である必要があります。
- (3) ファイルはストレージのルートに保管されている必要があります。



update.zip ファイルを選択すると、PD が再起動しアップデートが開始されます。

6.12. Supplementary (補足)

6.12.1. Quick Info (クイック情報)

「Info + 77」を押すと、クイック情報が起動します。

クイック情報には、以下のように「ネットワーク」と「モニターインフォメーション」が表示されます。

注記:

Operation hours: 1 分毎に更新されます。

温度状態: 5 秒毎に更新されます。



6.12.2. Android ブートアニメーションをカスタマイズする方法

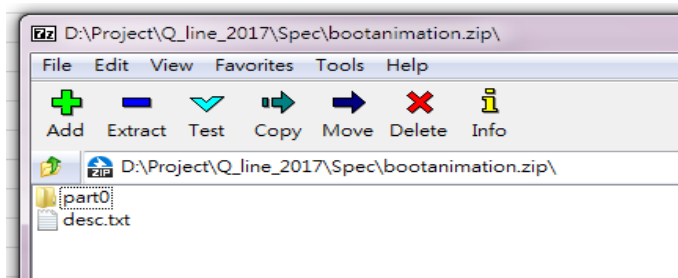
1. 概要

Android ブートアニメーションは、デバイスの起動時に PNG ファイルを読み込むために使用するスクリプトです。bootanimation.zip という名称で、非圧縮 zip ファイルに含まれています。

2. bootanimation.zip の内容

bootanimation.zip の中身は次の通りです:

- 画像フォルダ (増加する番号で名前が付けられた PNG 画像が含まれます)
- desc.txt ファイル



(1) 画像フォルダ

数字が付けられた PNG 画像が含まれており、0000.png または 0001.png などの名前から始まり、数字は 1 つずつ増えていきます。フォルダは少なくとも 1 つ必要となり、フォルダの数に既知の上限はありません。

(2) desc.txt ファイル

このファイルには、以下の形式でブートアニメーション中にフォルダ内の画像を表示する方法が定義されています:

- 幅 高さ フレーム率
- モード ループ 遅延時間 フォルダ 1
- モード ループ 遅延時間 フォルダ 2

desc.txt ファイルの一例:

- 1920 1080 30

- p 1 0 part0

- p 0 0 part1

a. 1 行目

1920 と 1080 は画面解像度の幅と高さを定義しています。

30 は fps 単位のフレーム率 (フレーム / 秒)、つまり 1 秒あたりに表示される画像の枚数です。

b. 2 行目と 3 行目は同じ形式です。

最初の「p」は再生モードを定義しており、起動が完了すると直ちに再生を中止します。

「p」の後にくる数値は繰り返しモードを定義しています

- 0 にすると、デバイスの起動が完了するまで、この部分が無限にループされます。

- 1 と指定すると、この部分が 1 回再生されます。

次の数値は遅延時間 (ms: ミリ秒) を定義しています。例えば 10 と設定した場合、すべての画像ファイルを再生した後に、システムが 10 ミリ秒の遅延時間を入れます。

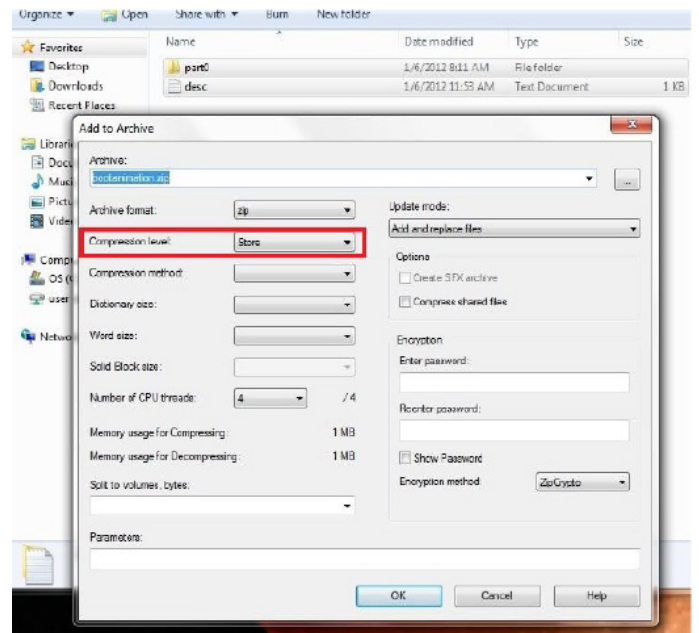
part0 および part1 は画像フォルダ名です。

上記の例では、ブートアニメーションが 30fps のフレーム率で 1920X1080 ピクセルの解像度で再生されます。コンテンツは part0 フォルダのコンテンツから開始され、1 回ループした後に part1 のコンテンツへと切り替わり、その後デバイスの起動が完了するまで継続して再生されます。

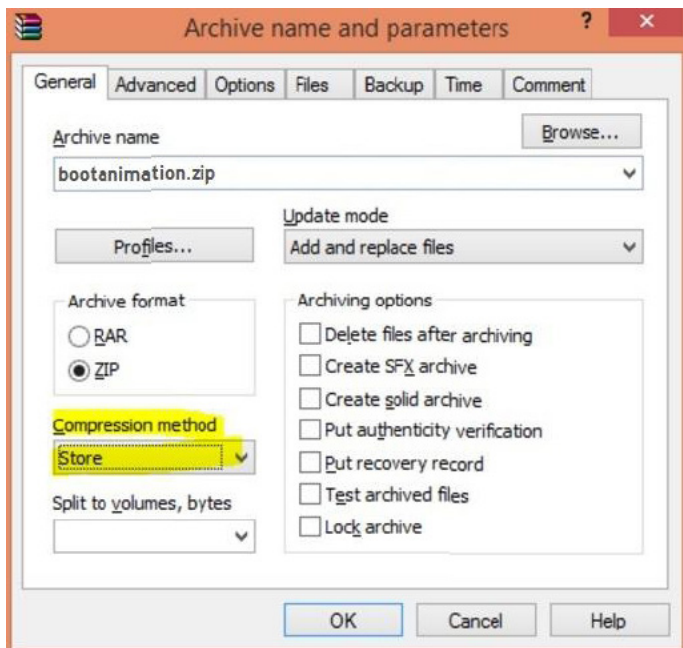
3. Zip ファイル:

Bootanimation フォルダ内のすべて (画像フォルダと desc.txt) を選択し、7zip または WinRAR などの頻繁に使用している圧縮ユーティリティを使って、新しい非圧縮 zip アーカイブに圧縮します。

7zip を使用する場合、圧縮レベルは「保存」に設定してください。



WinRAR を使用する場合、「圧縮方法」を「保存」に設定してください。



そうしなかった場合、bootanimation は動作しません。

4. カスタム bootanimation の適用

手順:

(1). カスタム bootanimztion.zip ファイルを外部 SD カードまたは USB に収めて、Phillips PD プラットフォームに差し込みます。

(2.) ログ表示オプションが有効になっているか確認してください。

RCU のホームキーを押します: OSD メニュー -> 詳細設定 2 -> ログ表示 -> 「ユーザー」に設定します。

(3.) RCU で「Home + 1888」キーを同時に押して管理モードに入ります。

設定 -> サイネージディスプレイ -> 一般設定 -> ブートロゴ表示

(4). システムが外部 SD カードまたは USB にある bootanimation.zip を自動検索し、/data/local にコピーします。

(5.) 手順 1 ~ -4 が完了したらシステムを再起動します。新しいカスタマイズされたブートアニメーションがブート時間中に表示されます。

6.12.3. Android アプリのインストール方法

所有する Android アプリをインストールする方法は 3 通りあります。

(a) 管理モードのファイルマネージャーから実行

1. すでに APK がある場合

1.1 USB ディスクまたは SD カードに APK をコピーして、Philips Android サイネージディスプレイに差し込みます。

1.2 管理モード > アプリ > ファイルマネージャーに移動します

1.3 ファイルマネージャーを使用して APK を検索すれば、インストールすることができます。選択した APK で「OK」を押すだけです。

2. Chromium ブラウザーで APK をダウンロードし、ファイルマネージャーで < 内部ストレージパス >/Download/ に移動します。

2.1 残りの手順は上記と同じです。モデルによって < 内部ストレージパス > は異なる場合がありますのでご注意ください。

(b) Adb シェルから実行

1. Adb を使って、PC を Philips Android サイネージディスプレイに接続できるか確認してください。

2. PC のフォルダ (例: C:\apkfolder) に APK を用意します。

3. コマンドラインツールを使用して以下を実行します。

```
C:\apkfolder> adb install -r apk_name.apk
```

(c) カスタマイズされたインテントで実行

1. android アプリをダウンロードできる APK を開発しているのであれば、開発した APK でカスタマイズされたインテントを実行できます。

2. APK 名と保存されている場所へのパスを指定します。プログラムを使用してインストールできるように、システムが補助しません。

説明	インテント	パラメータ	
ソフトウェア アップデート	php.intent. action. UPDATE_ APK	filePath	ファイル名を含めた絶対ファイルパス。
		Keep	アップデート後にファイルをキープするかどうかを示します。デフォルト値は false です。
		packageName	アップデート後に自動的に起動するターゲットパッケージ。
		activityName	アップデート後に自動的に起動するターゲットアクティビティ。現時点で一番上にあるアクティビティが activityName でない場合は、何も起きません。

例:

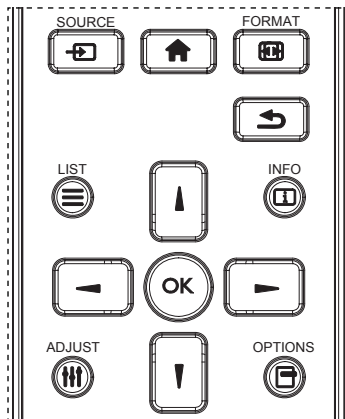
```
Intent intent = new Intent();
intent.setAction("php.intent.action.UPDATE_APK");
intent.putExtra("filePath", "/sdcard/Download/apk_name.apk");
intent.putExtra("keep", true);
intent.putExtra("packageName", "com.example.apk_name");
intent.putExtra("activityName", "com.example.apk_name.MainActivity");
sendBroadcast(intent);
```












7. OSD メニュー

オンスクリーンディスプレイ (OSD) 構造の全体図を以下に示します。この全体図は、ディスプレイをさらに調整する場合の参照として使用できます。









7.1. OSD メニューをナビゲートする

7.1.1. リモコンを使用して OSD メニューをナビゲートする



1. リモコン上の [] ボタンを押して OSD メニューを表示します。
2. [] ボタンもしくは [] ボタンを押して、調整したい項目を選択します。
3. [OK] または [] ボタンを押してサブメニューに入ります。
4. サブメニュー内では、[] ボタンまたは [] ボタンまたは項目を切り換えて、[] ボタンまたは [] ボタンを押して設定を調整します。サブメニューがある場合には、[OK] または [] ボタンを押してサブメニューに入ります。
5. [] ボタンを押して前のメニューに戻るか、[] ボタンを押して OSD メニューを終了します。

7.1.2. ディスプレイのコントロールボタンを使用して、OSD メニューをナビゲートする

1. [メニュー] ボタンを押して、OSD メニューを表示します。
2. [] ボタンもしくは [] ボタンを押して、調整したい項目を選択します。
3. [] ボタンを押して、サブメニューに入ります。
4. サブメニュー内では、[] ボタンまたは [] ボタンまたは項目を切り換えて、[] ボタンまたは [] ボタンを押して設定を調整します。サブメニューがある場合には、[] ボタンを押してサブメニューに入ります。
5. [メニュー] ボタンを押して直前のメニューに戻るか、または [メニュー] ボタンを数回押して OSD メニューを離れます。

7.2. OSD メニューの概要

7.2.1. 映像設定メニュー

映像設定	ブライツネス	90
画面設定	コントラスト	50
音質設定	シャープネス	20
詳細設定1	ブラックレベル	50
詳細設定2	色あい	50
Advanced option	色のこさ	55
	ノイズリダクション	中
	ガンマ選択	ネイティブ
	色温度	ネイティブ
	カラーコントロール	アクション
	スマートパワー	オフ
	オーバースキャン	オフ

ブライツネス (映像設定)

全体的な画像と背景画面のブライツネス (バックライト) を調節します。

コントラスト

入力信号の画像コントラスト比を調整します。

シャープネス

この機能はデジタル的に機能し、あらゆるタイミングで鮮明な画像を維持します。

好みに応じて個別の画像またはソフトな画像を取得するように調整でき、各映像モードに個別に設定できます。

ブラックレベル

背景の画像の明るさを調整します。

注記: sRGB 画像モードは標準であり、変更できません。

色あい (色相)

画像の色温度を調整します。

+ ボタンを押すと肌色が緑っぽくなります。

- ボタンを押すと肌色が紫っぽくなります。

注記: ビデオモードのみ。

色のこさ (彩度)

画像の色を調整します。

+ ボタンを押して、色深度を増やします。

+ ボタンを押して、色深度を減らします。

注記: ビデオモードのみ

ノイズリダクション

ノイズリダクションレベルを調整します。

ガンマ選択

ディスプレイガンマを選択します。信号入力の輝度性能曲線を指します。{ ネイティブ } / { 2.2 } / { 2.4 } / { S gamma } / { D-image } から選択します。

注記: sRGB 画像モードは標準であり、変更できません。

色温度

色温度の調整に使用します。

色温度が下がると画像は赤みを帯び、色温度が上がると青みを帯びます。

CCT	10000°K	9300°K	7500°K	6500°K	5000°K	4000°K	3000°K
X	0.279 ± 0.030	0.283 ± 0.030	0.299 ± 0.030	0.313 ± 0.030	0.346 ± 0.030	0.382 ± 0.030	0.440 ± 0.030
Y	0.292 ± 0.030	0.298 ± 0.030	0.315 ± 0.030	0.329 ± 0.030	0.359 ± 0.030	0.384 ± 0.030	0.403 ± 0.030

カラーコントロール

赤、緑、青のカラーレベルは、カラーバーによって調整されます。

R: 赤ゲイン、G: 緑ゲイン、B: 青ゲイン。

スマートパワー

スマートパワー制御は、輝度制御とは関係ありません。

1. 初期設定輝度

70(0～100の範囲)

最大消費電力の70%の消費電力

2. スマートパワー

オフ: 適応なし

中: 現在の設定と比較して80%の消費電力

高: 現在の設定と比較して65%の消費電力

オーバースキャン

本ディスプレイの画像領域を変更します。

オン: 表示領域を約95%に設定します。

オフ: 表示領域を約100%に設定します。

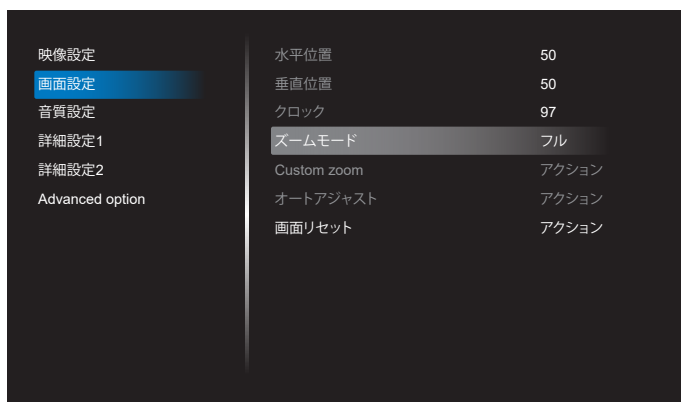
映像リセット

映像設定メニューですべての設定をリセットします。

「はい」を選択して「設定」ボタンを押すと、工場出荷時の設定データに戻ります。

「EXIT」ボタンを押してキャンセルし、前のメニューに戻ります。

7.2.2. 画面設定メニュー



水平位置

LCDの表示領域内の水平画像位置を制御します。

+ ボタンを押して画面を右に移動します。

- ボタンを押して画面を左に移動します。

注記: VGA 入力のみ。

垂直位置

LCDの表示領域内の垂直画像位置を制御します。

+ ボタンを押して画面を上を移動します。

- ボタンを押して画面を下を移動します。

注記: VGA 入力のみ。

クロック

+ ボタンを押すと、画面右側の画像の幅が広がります。

+ ボタンを押すと、画面右側の画像の幅が狭まります。

注記: VGA 入力のみ。

ズームモード

HDMI、DVI、VGA: {フル} / {4:3} / {リアル} / {21:9} / {カスタム}。
メディアプレーヤーでメディアを再生する{フル} / {4:3} / {リアル} / {21:9}

ブラウザ、CMND & Play、PDF プレーヤー、PDF プレーヤー、カスタムおよびメディアプレーヤー UI、Android UI の場合、機能はありません。

ズームモードはタイリング時に「フル」になります

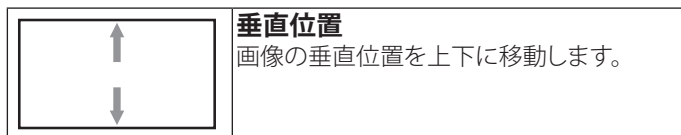
	フル このモードでは、全画面表示を使用して、16:9 で送信された映像を正しい映像比に戻します。
	4:3 この映像は 4:3 フォーマットで再現され、映像の両側には黒い部分が表示されます。
	リアル このモードでは、オリジナルの画像サイズを変えることなく、画面に画素ごとの画像を表示します。
	16:9 この映像は 16:9 フォーマットで再現され、上下には黒い部分が表示されます。
	21:9 この映像は 21:9 フォーマットで再現され、上下には黒い部分が表示されます。
	カスタム 選択すると CUSTOM ZOOM サブメニューでカスタムズーム設定を適用します。

Custom zoom (カスタムズーム)

この機能は、表示したい画像に合わせるため、ズーム設定をカスタマイズするのに使用できます。

注記: この項目は {ズームモード} が {カスタム} に設定されている時にのみ機能します。

	ズーム 画像の縦と横のサイズを同時に拡大します。
	水平ズーム 画像の水平サイズのみを拡大します。
	垂直ズーム 画像の垂直サイズのみを拡大します。
	水平位置 画像の水平位置を左右に移動します。



オートアジャスト

「設定」を押すと、水平位置、垂直位置、クロック、位相を自動的に検出して調整します。

注記：VGA 入力のみ。

画面リセット

画面設定メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

7.2.3. 音質設定メニュー

映像設定	バランス	50
画面設定	高音	50
音質設定	低音	50
詳細設定1	音量	30
詳細設定2	音声出力(ライン出力)	30
Advanced option	最大音量	100
	最小音量	0
	消音	消音オフ
	オーディオソース	デジタル
	音質リセット	アクション
	オーディオ出力同期	オフ

バランス

左右の音声出力のバランスの強弱を調整します。

高音

高音の増減を調整します。

低音

低音の増減を調整します。

音量

音声出力レベルの増減を調整します。

音声出力(ライン出力)

ライン出力の出力レベルの増減を調整します。

最大音量

最大音量設定に独自の制限を付けて調整します。こうすることで、高すぎるレベルでの音量再生が制限されます。

最小音量

最小音量設定に独自の制限を付けて調整します。

消音

消音機能のオン/オフを切り替えます。

オーディオソース

オーディオ入力ソースを選択します。ビデオ信号がない場合、オーディオ出力はありません。

アナログ：オーディオ入力からのオーディオ

デジタル：HDMI / DVI オーディオからのオーディオ。

音質リセット

音質設定メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

オーディオ出力同期

音声出力(ライン出力)の音量調整機能を有効または無効にして、内部スピーカーと同期します。

7.2.4. 詳細設定1メニュー

映像設定	スイッチオン状態	強制オン
画面設定	Panel saving	アクション
音質設定	RS232ルーティング	RS232
詳細設定1	ソース起動	アクション
詳細設定2	WOL	オフ
Advanced option	詳細設定リセット	アクション
	オールリセット	アクション

スイッチオン状態

次に電源コードを接続するときには使用されるディスプレイ状態を選択します。

- ・ {電源オフ} - 電源コードが壁コンセントに接続されているとき、ディスプレイはオフのままになります。
- ・ {強制オン} - 電源コードが壁コンセントに接続されているとき、ディスプレイはオンのままになります。
- ・ {最後のステータス} - 電源コードを外して再び取り付けると、ディスプレイは前の電源ステータス(オン/オフ/スタンバイ)に戻ります。

Panel saving

Panel saving 機能で有効を選択することにより、「焼き付き」または「ゴースト像」が発生するリスクが低減されます。

- ・ {ブライツネス} - {オン} を選択すると、画像の輝度が適切なレベルに減少されます。選択されているとき、映像設定メニューのブライツネス設定は使用できなくなります。
- ・ {ピクセルシフト} - 本製品をわずかに画像サイズを拡大し、四方向(上、下、左、右)にその位置をずらすには時間間隔({自動} / {10 ~ 900} 秒 / {オフ}) を選択します。モーションをアクティブにすると、画面設定メニューで水平位置、垂直位置、ズームモードが無効になります。

注記：外部入力ソース(HDMI、VGA、DVI)のみをサポートします。

RS232 ルーティング

ネットワーク制御ポートを選択します。

選択オプション{RS232} / {LAN -> RS232} / {CardOPSR232(OPSMモデルのみ)}。

ソース起動

選択して起動した時のソースを選択します。

入力：起動時に入力ソースを選択します。

再生一覧：メディアプレーヤー、ブラウザー、PDF プレーヤーのプレイリストインデックスを選択します。

0：プレイリストなし。OSD.1-7からのスイッチソースと同じ：プレイリスト番号。

フェイルオーバー機能はありません。ソースが信号入力されていなくても、システムはソースを保持します。

Wake on LAN (WOL)

Wake on LAN 機能をオンまたはオフを選択します。

選択オプション:{ オフ } / { オン }:

詳細設定リセット

詳細設定 1 メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

オールリセット

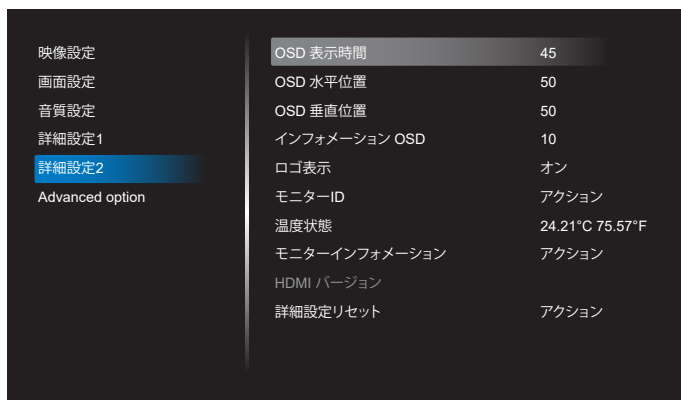
OSD メニューの中のすべての設定、{ 映像設定 }、{ 画面設定 }、{ 音質設定 }、{ 詳細設定 1 }、{ 詳細設定 2 }、{ Advanced option } を工場出荷時の値にリセットします。

工場出荷時の設定にリセットすると、Android 設定もリセットされます。

[←] または [▶] ボタンを押して { リセット } を選択し、[OK] ボタンを押してリセットします。



7.2.5. 詳細設定 2 メニュー



OSD 表示時間

OSD (オンスクリーンディスプレイ) メニューが画面に表示される時間を設定します。

オプションは次の通りです。{ オフ、5 ~ 120 } 秒。

* { オフ } は自動的に消えません。

OSD 水平位置

OSD メニューの水平位置を調整します。

OSD 垂直位置

OSD メニューの垂直位置を調整します。

インフォメーション OSD

インフォメーション OSD が画面の右上隅に表示される時間を設定します。インフォメーション OSD は入力信号が変更されると表示されます。

インフォメーション OSD は { オフ } を選択すると画面に残ります。オプションは次の通りです。{ 1 ~ 60 } 秒。

ロゴ表示

ディスプレイをオンにしたときにロゴの画像を有効または無効にすることを選択します。

オプションは次の通りです。

- { オフ }
 - { オン } (デフォルト)
 - { ユーザー }
1. ロゴをオンに設定すると、スカラーの Philips ロゴと Android アニメーション Philips ロゴの両方が表示されます。
 2. ロゴがオフに設定されている場合、スカラーの Philips ロゴも Android アニメーションロゴも表示されません。
 3. ロゴが USER に設定され、Android のカスタムロゴオプションが設定されていない場合、電源をオンにしても起動ロゴはありません。
 4. ロゴが USER に設定され、Android のカスタムロゴオプションが設定されている場合、電源をオンにするとカスタムロゴのみが表示されます。

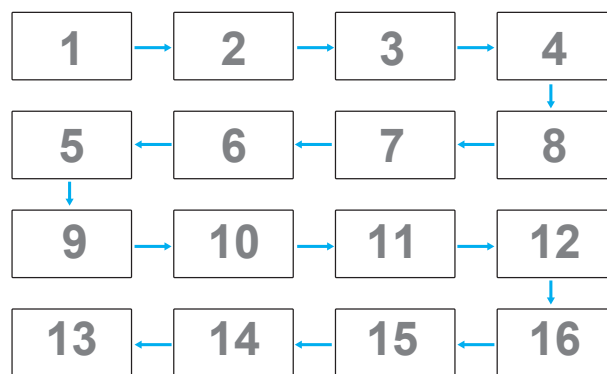
モニター ID

RS232C 接続経由で本製品を制御するための ID 番号を設定します。本製品を複数台接続する場合には、各ディスプレイに一意の ID を割り当てる必要があります。モニターの ID 番号範囲は 1 ~ 255 の間です。

オプションは次の通りです。{ モニターグループ }



- { モニターグループ }
- オプションは次の通りです。{ オフ } / { 1-254 }
- { オフ } - { モニターグループ } はサポートされません。
 - { 1-254 } - { モニターグループ } はサポートされます。デフォルト設定は 1 です。



温度状態

この機能により、いつでも温度状態を確認できます。

モニターインフォメーション

モデル番号、シリアル番号、動作時間、ソフトウェアバージョンを含め、ディスプレイに関する情報を表示します。

モニターインフォメーション

Model name	XXXX
Serial NO.	XXXX
Operation hours	XXXX
SW Version	XXXX

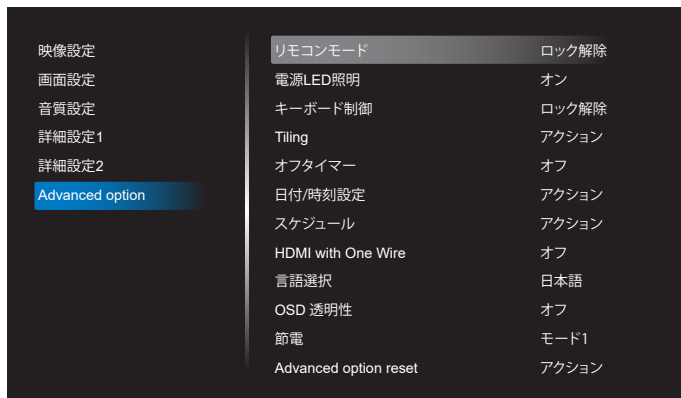
HDMI バージョン

HDMI バージョンを 1.4 または 2.0 に設定します。この設定は HDMI 入力でのみ有効です

詳細設定リセット

詳細設定 2 メニューのすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

7.2.6. Advanced option メニュー



リモコンモード

複数のディスプレイが RS232C 接続を通して接続されている場合、リモコンの動作モードを選択します。

- ・ {ロック解除} - すべてのディスプレイは、リモコンで正常に動作させることができます。
- ・ {プライマリ} - このディスプレイを、リモコン操作の1次ディスプレイとして指定します。リモコンでは、このディスプレイのみを操作できます。(プライマリモードでは、IR キーはモニター ID / グループ設定に関係なく常に処理されます)。
- ・ {セカンダリ} - このディスプレイを2次ディスプレイとして指定します。このディスプレイはリモコンでは操作できず、RS232C 接続を通して1次ディスプレイからの制御信号のみを受信します。
- ・ {すべてロック} / {音量以外すべてロック} / {電源以外すべてロック} / {電源と音量以外を全ロック} - このディスプレイのリモコン機能をロックします。ロック解除するには、リモコンの [i] INFO ボタンを 6 秒間長押しします。

電源 LED 照明

電源表示 LED のオンまたはオフの設定を選択します。

通常使用の場合は、{オン} を選択してください。

キーボード制御

このボタンを選択すると、キーボード (コントロールボタン) 機能が有効または無効になります。

- ・ {ロック解除} - キーボード機能を有効にします。
- ・ {すべてロック} / {音量以外すべてロック} / {電源以外すべてロック} / {電源と音量以外を全ロック} - キーボード機能を無効にします。

注記: 「キーボードコントロールロックモード」この機能は、すべてのキーボード制御機能へのアクセスを完全に無効にします。キーボード制御ロックの有効 / 無効を切り替えるには、[+] と [↓] の両方のボタンを 3 秒以上押し続けます。

Tiling

この機能を使うと、最大 150 台のディスプレイ (縦に最大 10 台、横に最大 15 台) からなるひとつの大型スクリーン配列 (ビデオウォール) で作成することができます。この機能にはデジチェーン接続が必要です。

- ・ パワーオンディレイ: パワーオンディスプレイ時間 (秒) を設定します。複数台のディスプレイが接続されている場合、デフォルトのオプション {自動} を使って、ID 番号に従って各ディスプレイを順番にパワーオンすることができます。オプションは次の通りです。{ オフ (0) / 自動 (1) / 2-255 }
- ・ ブライツネス: {ノーマル} / {ACS}
 - ・ {ノーマル}: 全体的な画像と背景画面のブライツネス (バックライト) を調節します。
 - ・ {ACS}: MIC ツールで調節されたブライツネス値 (バックライト) を適用します。調整する前のデフォルト値は OSD のブライツネス値と同じ 70 です。
- ・ Type (タイプ): {オフ} (デフォルト) / {SW Tool (SW ツール)} / {OSD Only (OSD のみ)}
- ・ Source resolution (ソース解像度): {Full HD (フル HD)} (デフォルト) / {4K}
- ・ 水平モニター - 水平側のディスプレイ数を選択します。
- ・ 垂直モニター - 垂直側のディスプレイ数を選択します。
- ・ 位置 - 画面マトリックス内の本製品の位置を選択します。
- ・ フレーム補正 - フレーム補正機能を ON または OFF にするか選択します。{する} を選択すると、本製品は画像を正確に表示するために、画像を調整して、本製品のベゼル幅を補正します。

注記: カスケードモードを使用した Tiling では、画面フォーマット機能に対応していません。

オフタイマー

自動的に電源を切る時間 (時間単位) を設定します。

日付 / 時刻設定

本製品の内部時計の日付 / 時刻設定を調整します。

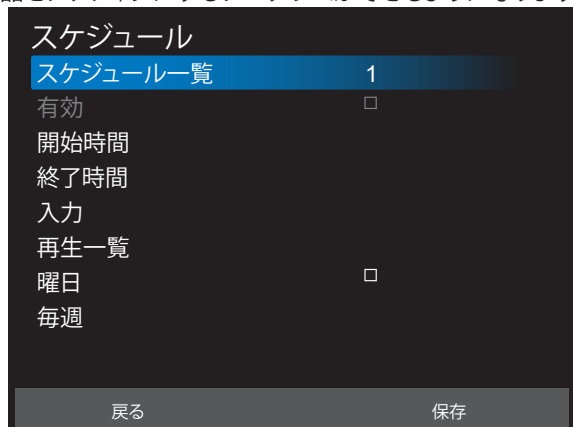


1. [OK] ボタンを押して、入力または選択します
2. [←] 戻るボタンを押して戻ります。
3. [↑] または [↓] ボタンを押して調整します。

* 2037 年以降の日付を時刻に設定することはできません。

スケジュール

この機能により、最大 7 つの異なるスケジュールされた時間間隔で本製品をアクティブにするプログラムができるようになります。



- ・ スケジュールリスト: 7 つのスケジュールを設定できます。
- ・ 有効: スケジュールを有効 / 無効にします。設定された開始時刻と終了時刻が競合または空である場合、入力が空であるか、他のスケジュールリストと時刻が競合している場合、スケジュールを有効にすることはできません。
- ・ 開始時間: 開始時間を設定します。
- ・ 終了時間: 終了時間を設定します。
- ・ 入力: プラットフォームは、スケジュール後に自動的にこの選択ソースに移動します。
- ・ 再生一覧: 1 ~ 7: プレイリストのファイル 1 ~ ファイル 7 を自動的に再生します。メディアプレーヤー、PDF プレーヤー、ブラウザのみが設定できます。
- ・ 曜日: 日曜日、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日、土曜日を設定します。
- ・ 毎週: ライフサイクルを設定します。
- ・ 戻る: スケジュールデータは変更しません。
- ・ 保存: スケジュールデータを保存します。

HDMI with One Wire

CEC 制御。

- ・ { オフ } - CEC を無効にします (デフォルト)。
- ・ { オン } - CEC を有効にします。

言語選択

OSD メニューで使用する言語を選択します。

オプションは次の通りです。English/Deutsch/ 简体中文 / Français/Italiano/Español/Русский/PolSKI/Türkçe/ 繁體中文 / 日本語 /Português/ العربية /Danish/Svenska/Finnish/ Norsk/Nederlands.

OSD 透明性

OSD 透明性を調整します。

- ・ { オフ } - 透明性オフ。
- ・ {1-100} - 透明性レベル 1 ~ 100。

節電

モード 1 [TCP オフ、WOL オン、自動オフ]

モード 2 [TCP オフ、WOL オン、自動オン / オフ]

モード 3 [TCP オン、WOL オフ、自動オン / オフ]

モード 4 [TCP オン、WOL オフ、自動オン / オフなし]

パワーセーブモード

モード 1: DC オフ -> 電源オフ。LED: 赤。

パワーセーブ -> 電源オフ、LED: 赤

モード 2: DC オフ -> 電源オフ、LED: 赤。

パワーセーブ -> 省電力。LED: オレンジ。ウェイクアップ可能。

モード 3: DC オフ -> バックライトオフ、LED: 赤

パワーセーブ -> バックライトオフ、LED: オレンジ。ウェイクアップ可能。

モード 4: DC オフ -> バックライトオフ、LED: 赤

節電 -> パワーセーブモードに入りません。「信号なし」のみを表示します。

	RCU 電源ボタンオフ	信号なし	WoL	Android (ARM)
モード 1 [TCP オフ、WOL オン、自動オフ]	DC オフ	DC オフ	V	ARM オフ
モード 2 [TCP オフ、WOL オン、自動オン / オフ] (グレー表示)	DC オフ	信号が戻ると、システムがウェイクアップします	V	ARM オフ
モード 3 [TCP オフ、WOL オフ、自動オン / オフ]	バックライトオフ	バックライトオフ	X	ARM オフ
モード 4 [TCP オフ、WOL オフ、自動オン / オフなし]	バックライトオフ	バックライトオン、信号表示なし	X	ARM オフ

* この製品はモード 2 をサポートしていません

次の表は、電源モードが異なる Android ボードのアクションです。
DC オフ / オン: RC で電源ボタンを押す

OSD の電源モード	モード 1/2	モード 3/4
DC オフ	シャットダウン	1. 現在のソース APK (メディアプレーヤー、ブラウザ、PDF、SmartCMS など) は閉じられます。 2. Android システムはデフォルトの黒いランチャーに移動します。
DC オン	起動する	1. Android システムが再起動する

Advanced option reset

Advanced option メニューの { 日付 / 時刻設定 } 以外のすべての設定を工場出荷時の値にリセットします。

1. [OK] または [▶] ボタンを押してサブメニューに入ります。
2. [◀] または [▶] ボタンを押して {リセット} を選択し、次に [OK] ボタンを押して設定を工場出荷時の値に戻します。
3. [↶] ボタンを押すか {キャンセル} を選択し、次に [OK] ボタンを押してキャンセルしてから前のメニューに戻ります。

8. 対応するメディア形式

USB マルチメディアのコーデック形式

ビデオデコード						
タイプ	ビデオコーデック	コンテナ	デコード	エンコード	チャンネル	備考
MPEG1/2	MPEG1/2	MPEG プログラムストリーム (.DAT, .VOB, .MPG, .MPEG) MPEG トランスポートストリーム (.ts) MP4 (.mp4) AVI (.avi) MKV (.mkv)	V			最大解像度:1080P@60fps 最大ビットレート:40Mbps
MPEG-4	MPEG4	MP4 (.mp4) AVI (.avi) MKV (.mkv)	V			最大解像度:1080P@60fps 最大ビットレート:40Mbps
H.263	H.263	FLV (.flv) AVI (.avi)	V			最大解像度:1080P@60fps 最大ビットレート:40Mbps
H.264	H.264	FLV (.flv) MP4 (.mp4) MPEG トランスポートストリーム (.ts) ASF (.asf) WMV (.wmv) AVI (.avi) MKV (.mkv)	V			最大解像度:1080P@60fps 最大ビットレート:135Mbps 4k2k@30fps
H.265	H.265	MP4 (.mp4) MPEG トランスポートストリーム (.ts) MKV (.mkv)	V			最大解像度:4K2K@60fps 最大ビットレート:100Mbps
GOOGLE VP8	VP8	MKV (.mkv) WebM (.webm)	V			最大解像度:1080P@30fps 最大ビットレート:20Mbps
Motion JPEG	MJPEG	AVI (.avi) MP4 (.mp4) MKV (.mkv)	V			最大解像度:1920*1080 @30fps 最大ビットレート:40Mbps

オーディオデコード

タイプ	オーディオコーデック	コンテナ	デコード	エンコード	チャンネル	備考
MPEG オーディオ	MPEG1/2/2.5 オーディオ Layer1/2/3	MP3	V		2	ビットレート:8Kbps-320Kbps サンプリングレート:16KHz ~ 48KHz
Windows Media Audio	WMA バージョン 7、8、9、10 pro M0、10 Pro M1、M10 Pro M2	デコード:WMA	V		2	ビットレート:8Kbps ~ 768Kbps サンプリングレート:8KHz ~ 96(M10)KHz 非対応 LBR
AAC オーディオ	MAIN、ADIF、ATDS ヘッダー AAC-LC、AAC-HE	ファイル形式:AAC、M4A	V		5.1	ビットレート:該当なし サンプリングレート:8KHz ~ 48KHz

画像デコード

Type	画像コーデック	写真	デコード	エンコード	チャンネル	備考
JPEG	JFIF ファイル形式 1.02	ファイル形式:JPG、JPEG	V			最大解像度:7000 x 7000 最大解像度の限度は DRAM によって異なります。
BMP	BMP	ファイル形式:BMP	V			最大解像度:15360 x 8640 最大解像度の限度は DRAM によって異なります。
PNG	PNG	ファイル形式:PNG	V			最大解像度:15360 x 8640 最大解像度の限度は DRAM によって異なります。

メモ:

- コンテンツが上記のテーブルに記された対応フレーム / 秒以上の標準ビットレート / フレーム率である場合、音声や動画が作動しない可能性があります。
- コンテンツが上記のテーブルに記述された比率以上のビットレートやフレーム率である場合、再生すると途切れがちな映像になる可能性があります。

9. 入力モード

VGA 解像度 :

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	画素レート	縦横比	モードの標準
	水平画素	垂直線				
VGA	640	480	60 Hz	25.175 MHz	4:3	ビデオグラフィックアレイ
			72 Hz	31.5 MHz		
			75 Hz	31.5 MHz		
WVGA	720	400	70 Hz	33.75 MHz	16:9	ワイドビデオグラフィックアレイ
SVGA	800	600	60 Hz	40 MHz	4:3	スーパー VGA
			75 Hz	49.5 MHz		
XGA	1024	768	60 Hz	65 MHz	4:3	拡張グラフィックアレイ
			75 Hz	78.75 MHz		
WXGA	1280	768	60 Hz	79.5 MHz	5:3	ワイド XGA
WXGA	1280	800	60 Hz	79.5 MHz	16:10	ワイド XGA
SXGA	1280	1024	60 Hz	108 MHz	5:4	スーパー XGA
WXGA	1360	768	60 Hz	85.5 MHz	16:9	ワイド XGA
HD1080	1920	1080	60 Hz	148.5 MHz	16:9	HD1080

注記 : 1280x768/60Hz はサポートできますが、EDID テーブルには表示されません。

SD 解像度 :

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	画素レート	縦横比
	水平画素	垂直線			
480i	720	480	29.97 Hz	13.5 MHz	4:3
480p			59.94 Hz	27 MHz	
576i	720	576	25 Hz	13.5 MHz	4:3
576p			50 Hz	27 MHz	

HD 解像度 :

標準解像度	アクティブ解像度		リフレッシュレート	画素レート	縦横比
	水平画素	垂直線			
720p	1280	720	50 Hz	74.25 MHz	16:9
			60 Hz		
1080i	1920	1080	25 Hz	74.25 MHz	16:9
			30 Hz		
1080p	1920	1080	50 Hz	148.5 MHz	16:9
			60 Hz		
2160p (HDMI のみ)	3840	2160	30 Hz	297 MHz	16:9
			50 Hz	594 MHz	
			60 Hz		

注記 : OPS/DisplayPort は 3840x2160@30Hz に対応。

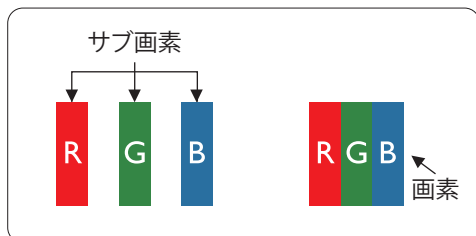
- PC のテキスト品質は、HD 1080 モード (1920 × 1080、60Hz) で最適です。
- お使いの PC ディスプレイ画面は、メーカー（および Windows の特定のバージョン）により異なって表示されることがあります。
- PC をディスプレイに接続する情報については、お使いの PC の取扱説明書を確認してください。
- 垂直と水平の周波数選択モードが存在する場合、60 Hz（垂直）と 31.5 KHz（水平）を選択します。場合によって、PC の電源がオフの場合（または PC が接続されていない場合）に異常な信号（筋など）が画面に表示されることがあります。その場合は [入力] ボタンを押してビデオモードに入ります。また、PC が接続されていることを確認してください。
- 水平同期信号が RGB モードで不規則に見えるときは、PC の省電力モードまたはケーブル接続を確認してください。
- 本ディスプレイの設定表は IBM/VESA 規格に準拠しており、アナログ入力に基づいています。
- DVI サポートモードは PC サポートモードと同じと見なされます。
- 各モードの最適な垂直周波数は 60 Hz です。

10. 画素欠陥ポリシー

当社は最高品質の製品をお届けすることを目指して、業界でもっとも進んだ製造プロセスと可能な限りもっとも厳しい品質管理を採用しています。しかしながら、プラズマおよび LCD ディスプレイで使用される PDP/TFT パネルの画素またはサブ画素に欠陥が生じるのはやむを得ない場合があります。すべてのパネルに画素欠陥がないことを保証できるメーカーはありませんが、Philips では保証期間中であれば、地域の保証条件と一致して、受け入れられない数の欠陥があるプラズマおよび LCD ディスプレイを修理または交換することを保証します。

この通知はさまざまな種類の画素欠陥を説明し、LCD 画面について受け入れられる欠陥レベルを定義するものです。保証に基づき修理の資格を得るには、欠陥画素の数が参照表で示した特定のレベルを超えている必要があります。LCD 画面が仕様の範囲内である場合、保証による交換 / 返金はお断りいたします。また、ある種類または組み合わせの画素欠陥が他のものより顕著であることもあるため、Philips ではこれらのもので対してより高い品質規格を設定しています。

10.1. 画素とサブ画素



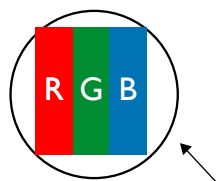
画素、または画像要素は赤、緑、青の原色の 3 つのサブ画素で構成されています。多くの画素が集まって画像を形成します。画素のすべてのサブ画素が明るいと、3 つの色の付いたサブ画素が 1 つの白い画素として一緒に表示されます。すべての画素が暗くなると、3 つの色の付いたサブ画素は 1 つの黒い画素として集まって表示されます。点灯するサブ画素と暗いサブ画素のその他の組み合わせは、他の色の 1 つの画素として表示されます。

10.2. 画素欠陥の種類 + ドット定義

画素とサブ画素の欠陥は、さまざまな方法で画面に表示されます。画素欠陥には 3 つのカテゴリーがあり、各カテゴリーにはいくつかの種類の子画素欠陥があります。

ドット定義 = 欠陥のある「ドット」とは何か？

1 つ以上の欠陥、隣接するサブ画素は 1 つの「ドット」として定義されます。欠陥のあるサブ画素の数は、欠陥ドットの定義に関連しません。つまり、欠陥ドットは 1、2 または 3 つの暗いまたは点灯する、欠陥サブ画素で構成されることがあります。



1 つのドット = 赤、緑、青の 3 つのサブ画素で構成される 1 つの画素。

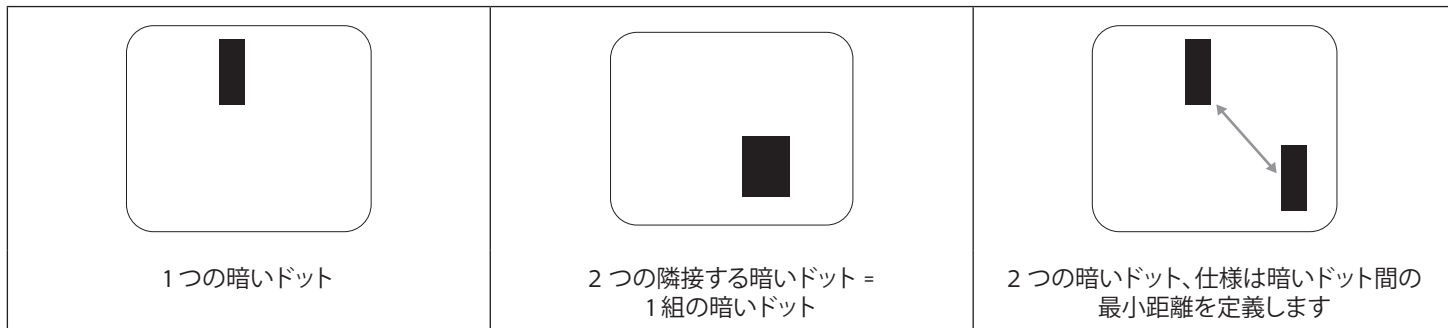
10.3. 明るいドット欠陥

明るいドット欠陥は、常時点灯または「オン」になっている画素またはサブ画素として表されます。以下に、明るいドット欠陥の例を紹介します。

<p>1 つの点灯する赤、緑または青いサブ画素。</p>	<p>2 つの隣接する点灯サブ画素： 赤 + 青 = 紫 赤 + 緑 = 黄 緑 + 青 = 青緑 (ライトブルー)</p>	<p>3 つの隣接する点灯サブ画素 (1 つの白い画素)。</p>

10.4. 暗いドット欠陥

暗いドット欠陥は、常に暗いかまたは「オフ」になっている画素またはサブ画素として表されます。以下に、暗いドット欠陥の例を紹介します。



10.5. 画素欠陥の近接

互いに近くにある同じ種類の画素とサブ画素欠陥はととも目立つため、Philips では画素欠陥の近接の許容範囲についても指定しています。以下の表で、その仕様をご確認ください。

- ・ 許容される量の隣接する暗いドット = (隣接する暗いドット = 1組の暗いドット)
- ・ 暗いドット間の最小距離
- ・ すべての欠陥ドットの総数

10.6. 画素欠陥の許容範囲

保証期間中に画素欠陥による修理または交換の資格を得るには、Philips プラズマ /LCD ディスプレイの PDP/TFT モニタパネルに、次の表に一覧された許容範囲を超えた画素またはサブ画素欠陥がある必要があります。

明るいドット効果	受け入れられるレベル
1つの明るいサブ画素	2
黒いドット欠陥	受け入れられるレベル
1つの暗いサブ画素	10
すべての種類の総ドット欠陥	12

注記：* 1つまたは2つの隣接するサブ画素欠陥 = 1つのドット欠陥

10.7. MURA

一部の LCD (液晶ディスプレイ) パネルには、暗い点またはパッチがときどき現れることがあります。この現象は、日本語の「ムラ」という用語である Mura として業界では知られています。これは、均一でない画面均一性が特定の条件下で現れる領域の様なパターンを説明するために使用されます。Mura は液晶配向層の劣化の結果で、高い周辺温度下での長期間の操作が原因でもっとも一般的に引き起こされます。これは業界全体の現象で、Mura は修理できません。これも、当社の保証条件の対象外です。

Mura は LCD 技術の導入から、画面が大きくなり1日 24 時間休みなしに稼働するようになり、多くのディスプレイが低い低光量の条件下で動作されるようになってからずっとつきまっています。こういったことすべてが、ディスプレイに影響を与える Mura の可能性を高めています。

Mura を見分ける方法

Mura には多くの症状と、複数の原因があります。これらのいくつかを、以下に一覧します。

- ・ 結晶マトリックスの混入物または異物
- ・ 製造中の液晶マトリックスの不均等な分布
- ・ バックライトの付近位置な輝度分布
- ・ パネル部品誘発ストレス
- ・ LCD セル内部の傷
- ・ 熱誘発ストレス - 長期間にわたる高温での操作

Mura を避ける方法

毎回 Mura を完全に根絶する保証はできませんが、一般に Mura の出現は以下の方法により最小限に抑えることができます。

- ・ バックライトの明るさを下げる
- ・ スクリーンセーバーを使用する
- ・ 装置周囲の空気温度を下げる

11. 清掃とトラブルシューティング

11.1. 清掃

本ディスプレイを使用する際の注意

- ・ 手や顔、物を本ディスプレイの通気口に近づけないでください。本ディスプレイの上部は、通気口から放出される高温の排気のため、通常は高温となっています。身体の一部を近づけすぎると、火傷や怪我をすることがあります。本ディスプレイの上部近くになんらかの物を置くと、この物およびディスプレイ自体に熱関連の損傷が起こることがあります。
- ・ 本ディスプレイを移動する際は、必ずすべてのケーブルを抜いてください。ケーブルが接続されたままディスプレイを移動させると、ケーブルが損傷し、その結果、火事や感電の恐れがあります。
- ・ あらゆる種類の清掃や保守作業を行う前に、安全対策として電源プラグをコンセントから抜いてください。

前面パネル清掃手順

- ・ 本ディスプレイの前面には特別な処理が施されています。表面は布巾または柔らかい糸くずの出ない布で優しく拭いてください。
- ・ 表面が汚れてきた場合には、中性洗剤の溶液に柔らかい、糸くずの出ない布を浸します。布を堅く絞り、余分な水分を除きます。本ディスプレイの表面を拭き、埃を除いてください。その後、同じ種類の乾いた布で拭いてください。
- ・ 爪やあらゆる種類の堅い物でパネル表面を引っ掻いたり、ぶつけないでください。
- ・ 殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないでください。

キャビネット清掃手順

- ・ キャビネットが汚れたら、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- ・ キャビネットがひどく汚れている場合には、中性洗剤の溶液に柔らかい、糸くずの出ない布を浸します。布を絞り、できるだけ水分を除きます。キャビネットを拭き取ります。表面が乾くまで、別の乾いた布で拭きます。
- ・ 本ディスプレイの表面には、水や洗剤が触れないようにしてください。水や水分が本ディスプレイ内部に入り込むと、動作上の問題、電氣的障害、および感電事故が起こる恐れがあります。
- ・ 爪やあらゆる種類の堅い物でキャビネットを引っ掻いたり、ぶつけないでください。
- ・ キャビネットには殺虫剤、溶剤、シンナーのような揮発性物質を使用しないでください。
- ・ 長期間ゴムまたはポリ塩化ビニル製の物をキャビネット近くに置かないでください。

11.2. トラブルシューティング

症状	想定される原因	対処
画像が表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードが抜けています。 2. 本ディスプレイの背面にある主電源スイッチが ON になっていません。 3. 選択された入力が接続されていません。 4. ディスプレイがスタンバイモード中です。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードをコンセントに差し込みます。 2. 電源スイッチが ON であることを確認します。 3. 本ディスプレイに信号接続を接続します。
本ディスプレイで表示される画像が乱れる、または音声にノイズが聞こえる	周囲の電子機器や蛍光灯が原因です。	干渉が少なくなるような別の場所に本製品を移動させます。
色がおかしい	信号ケーブルが正しく接続されていません。	本ディスプレイの背面に信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。
画像が異常なパターンで歪んでいる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが正しく接続されていません。 2. 入力信号が本ディスプレイの能力を超えています。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信号ケーブルが確実に接続されていることを確認します。 2. 本ディスプレイの範囲を超えていないか、ビデオ信号ソースを確認します。本ディスプレイの仕様のセクションで、仕様を確認してください。
表示画像が画面サイズいっぱいに表示されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ズームモードが正しく設定されていません。 2. スキャンモードが間違っアンダースキャンに設定されています。 3. 画像が画面サイズを超える場合、スキャンモードをアンダースキャンに設定する必要があります。 	画面設定メニューのズームモードまたはカスタムズーム機能を使用して、ディスプレイのジオメトリと周波数パラメータを微調整します。
音声は聞こえるが、画像が表示されない	ソースの信号ケーブルが正しく接続されていません。	ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。
画像は表示されるが、音声が聞こえない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ソースの信号ケーブルが正しく接続されていません。 2. 音量が一番低く設定されています。 3. { 消音 } がオンになっている。 4. 外部スピーカーが接続されていません。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオ入力と音声入力の両方が正しく接続されていることを確認します。 2. [+] または [-] ボタンを押して音声が聞こえるか確認します。 3. [] ボタンを使って消音をオフにします。 4. 外部スピーカーを接続し、適切なレベルに音量を調整します。
一部の画素が光らない	本製品の一部の画素は点灯しない場合があります。	本ディスプレイは超ハイレベルな精密技術で製造されています。しかし、画面の一部に画素欠けが存在する場合があります。これは故障ではありません。
電源をオフにした後も残像が表示されています。(例: ロゴ、ビデオゲーム、コンピュータ画像、4:3 のノーマルモードで表示された画像を含む静止画像)	静止画像が時間より長く表示されていました。	長期間静止画像を表示しないようにしてください。本ディスプレイ上に永続的な残像が残る原因となるためです。

<p>すべてのモニターを RC から同時におよび個別に操作するために、メニューの設定をセットアップする方法は？</p>	<p>RS232 でデイジーチェーン接続し、IR ケーブルを使用しない</p>	<p>1. 最初のディスプレイを OSD で「Primary」に設定し (ADVANCED OPTION (アドバンスドオプション) / リモコンモード項目)、他のディスプレイは「Secondary」に設定します。</p> <p>2. セットアップ OSD がディスプレイの左上に表示されます (表示が消える場合は MENU を切り替えると再び表示されます)。</p> <p>3. デフォルト設定: ID 番号: 0、GP 番号: 0、この設定で IR からすべてのディスプレイを操作できます。</p> <p>「+」、「-」を「ID 番号」に変更すれば、「モニター ID」で信号ディスプレイを操作できます。</p> <p>「UP (上)」、「DOWN (下)」を「GP 番号」に変更すれば、「モニター ID」でマルチディスプレイを操作できます。</p> <p>* 最初のディスプレイは常に IR で操作します。</p>
<p>RC の仕組みとは？</p>	<p>デイジーチェーン: RS232 を接続せずに、IR ケーブルを使用</p>	<p>設定する必要はありません。IR ケーブルに接続すれば IR で操作されます。</p> <p>* この方法は非同期現象になります。RS-232 ケーブルを使用する上記の設定を推奨します。</p>

12. 技術仕様

ディスプレイ:

項目	仕様
画面サイズ (アクティブ領域)	125.7 cm / 49.5 インチ
縦横比	16:9
画素数	3840 (水平) x 2160 (垂直)
画素ピッチ	0.315 (横) x 0.3152 (縦) [mm]
表示可能色	10 ビット (D)、10 億 7 千万色
明るさ (標準)	350 cd/m ²
コントラスト比 (標準)	4000:1
表示角度	178 度

入 / 出力端子:

項目	仕様
スピーカー出力	内部スピーカー 10W (左) + 10W (右) [RMS]/8 Ω 82 dB/W/M/160 Hz ~ 13 KHz
音声出力	RCA R/L x 1 0.5V [rms](通常)/2 チャンネル (L+R)
音声入力	3.5mm フォンジャック x 1 0.5V [rms](通常)/2 チャンネル (L+R)
RS232C	2.5mm フォンジャック x 2 RS232C 入力 /RS232C 出力
RJ-45	RJ-45 ジャック x 1 (8 ピン) 10/100 LAN ポート
HDMI 入力	HDMI ジャック x 2 (タイプ A) (19 ピン) デジタル RGB: TMDS (ビデオ + 音声) 最大: 動画 - 720p, 1080p, 3840 x 2160/60 Hz 音声 - 48 KHz / 2 チャンネル (L+R) LPCM のみサポート
VGA 入力	D-Sub ジャック (15 ピン) デジタル RGB: TMDS (ビデオ) アナログ RGB: 0.7V [p-p] (75 Ω)、H/CS/V: TTL (2.2k Ω)、 最大: 1920 x 1080/60 Hz (WUXGA)
DVI-D 入力	DVI-D ジャック デジタル RGB: TMDS (ビデオ + 音声)

一般:

項目	仕様
電源入力	100 - 240V AC、50 - 60Hz
消費電力 (最大)	180 W
消費電力 (標準)	140 W
消費電力 (スタンバイ & オフ)	0.5 W 以下
寸法 (スタンドなし) [幅 x 高さ x 奥行き]	1123.6 x 646.7 x 67.8 mm
重量 (スタンドなし)	12.80 Kg
総重量 (スタンドなし)	17.00 Kg

製品概要:

項目	仕様
エネルギー効率クラス	B
可視画面サイズ	125.7 cm / 49.5 インチ
オンモード時の電力消費量 (W)	128 W
年間エネルギー消費量 (kWh)	187 kWh
スタンバイ時の電力消費量 (W)	0.50 W
オフモード時の電力消費量 (W)	0.50 W
ディスプレイ解像度 (ピクセル)	3840 x 2160
ネットワークスタンバイ (W)	0.45 W

環境条件:

項目	仕様	
温度	操作時	0 ~ 40° C
	保管時	-20 ~ 60° C
湿度	操作時	20 ~ 80% RH (結露なし)
	保管時	5 ~ 95% RH (結露なし)
高度	操作時	0 ~ 3,000 m
	保管時 / 輸送中	0 ~ 9,000 m



2018 © Koninklijke Philips N.V. All rights reserved.

PhilipsとPhilips Shield EmblemはKoninklijke Philips N.V.の登録商標で、Koninklijke Philips N.V.からライセンスを受けて使用されています。

仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。